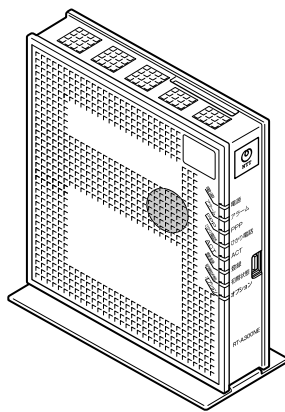
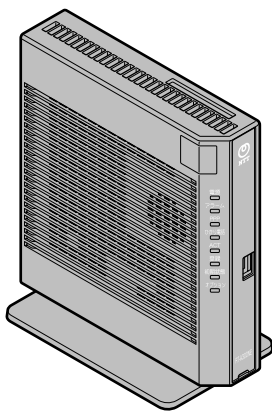
RT-A300NE

取扱説明書

このたびは、RT-A300NEをご利用いただきまして、まことにありがとうございます。

●ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
●お読みになったあとも、本商品のそばなどいつも手もとに置いてお使いください。

技術基準適合認証品

安全にお使いいただくために必ずお読みください

この取扱説明書には、あなたや他の人々への危険や財産への損害を未然に防ぎ、本商品を安全にお使いいただくために、守っていただきたい事項を示しています。
その表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。
本書を紛失または損傷したときは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

本書中のマーク説明

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
STOP お願い	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本商品の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示しています。
お知らせ	この表示は、本商品を取り扱ううえでの注意事項を示しています。

■お守りいただきたい内容を次の図記号で説明しています。

⚠記号は、注意事項を示しています。

注　意

発火注意

感電注意

⃠記号は、してはいけない内容を示しています。

禁　止

火気禁止

風呂等での使用禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

ぬれ手禁止

●記号は、実行しなければならない内容を示しています。

電源プラグを抜け

ご使用にあたって

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。
- 本商品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用になれません。
  This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本商品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本商品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。本商品に登録された情報内容は、別にメモをとるなどして保管くださるようお願いします。
- 本商品を設置するための配線工事および修理には、工事担任者資格を必要とします。無資格者の工事は、違法となり、また事故のもととなりますので絶対におやめください。
- 本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載商品の使用を強制するものではありません。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社のサービス取扱所へお申し付けください。
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予告なしに変更することがあります。
- 本商品の電話機ポートは、加入電話の仕様とは完全に一致していないため、接続される通信機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- 停電時には本商品は使用できません。電源が復旧したあとは、動作を確実にするため、一度電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たってからもう一度差し込んでください。
- 本商品に搭載されているソフトウェアの解析（逆コンパイル、逆アセンブル、リバースエンジニアリングなど）、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

【返却される場合の留意事項】
本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータ流出などによる不測の損害を回避するために、本商品を返却される際には、取扱説明書をご覧のうえ、本商品内に登録または保持されたデータを消去くださいますようお願いいたします。

⚠ 警　告

設置場所

- **風呂、シャワー室への設置禁止**
  風呂場やシャワー室などでは使用しないでください。
  漏電して、火災・感電の原因となります。

- **水のかかる場所への設置禁止**
  水のかかる場所で使用したり、水にぬらすなどして使用しないでください。
  漏電して、火災・感電の原因となります。

- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、USBケーブルのそばに、水や液体の入った花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬用品などの容器、または小さな金属類を置かないでください。本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コードのモジュラープラグ、USBケーブルに水や液体がこぼれたり、小さな金属類が中に入った場合、火災・感電の原因となることがあります。**

- **本商品や電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、USBケーブルを次のような環境に置かないでください。火災・感電・故障の原因となることがあります。**
  - ・屋外、直射日光が当たる場所、暖房設備やボイラーの近くなどの温度が上がる場所
  - ・調理台のそばなど、油飛びや湯気の当たるような場所
  - ・湿気の多い場所や水・油・薬品などのかかる恐れがある場所
  - ・ごみやほこりの多い場所、鉄粉、有毒ガスなどが発生する場所
  - ・製氷倉庫など、特に温度が下がる場所

- **自動ドア、火災報知機などの自動制御機器の近くに置かないでください。**
  本商品で無線LANをご利用の場合は、自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くに置かないでください。本商品からの電波が自動制御機器に影響を及ぼすことがあり、誤動作による事故の原因となることがあります。

こんなときは

- **発煙した場合**
  万一、煙が出ている、変なにおいがするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。電源アダプタ（電源プラグ）、電話機コード、USBポートに接続している機器をそれぞれ抜いて、煙が出なくなるのを確認し、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

⚠ 警　告

● **水が装置内部に入った場合**
万一、本商品やケーブル、モジュラージャックの内部に水などが入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると漏電して、火災・感電の原因となります。

● **異常音がしたり、本商品が熱くなっている場合**
本商品から異常音がしたり、本商品本体が熱くなっている状態のまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

● **異物が装置内部に入った場合**
本商品の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。万一、異物が入った場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。
特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

● **破損した場合**
万一、落としたり、破損した場合は、すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所にご連絡ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源アダプタの取り扱い注意**
付属の電源アダプタ以外を使用したり、付属の電源アダプタを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源アダプタに物を載せたり、掛けたりしないでください。過熱し、火災・感電の原因となることがあります。

● **電源アダプタの設置の注意**
電源アダプタは風通しの悪い狭い場所（収納棚や本棚の後ろなど）に設置しないでください。過熱し、火災や破損の原因となることがあります。
また、電源アダプタ本体を宙吊りに設置しないでください。電源プラグと電源コンセント間に隙間が発生し、ほこりによる火災が発生する可能性があります。
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントの近くに設置し、容易に抜き差し可能な状態でご使用ください。

● **電源コードが傷んだ場合**
電源コードが傷んだ（芯線の露出・断線など）状態のまま使用すると火災・感電の原因となります。すぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

⚠ 警　告

● **電源コードの取り扱い注意**

付属の電源コード以外を使用したり、付属の電源コードを他の製品に使用したりしないでください。火災・感電の原因となることがあります。
また、電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたりしないでください。火災・感電の原因となります。
重い物を載せたり、加熱したりしないでください。電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

禁止事項

● **延長コード利用の禁止**

電源アダプタ（電源プラグ）のコードには、延長コードは使わないでください。火災の原因となることがあります。

● **たこ足配線の禁止**

本商品の電源コードは、たこ足配線にしないでください。たこ足配線にするとテーブルタップなどが過熱・劣化し、火災の原因となります。

● **商用電源以外の使用禁止**

AC100±10V（50/60Hz）の商用電源以外では絶対に使用しないでください。火災・感電の原因となります。
差込口が2つ以上ある壁などの電源コンセントに他の電気製品の電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む場合は、合計の電流値が電源コンセントの最大値を超えないように注意してください。火災・感電の原因となります。

● **本商品は家庭用の電子機器として設計されております。人命に直接かかわる医療機器や、極めて高い信頼性を要求されるシステム（幹線通信機器や電算機システムなど）では使用しないでください。**

● **分解改造の禁止**

本商品を分解・改造しないでください。火災・感電の原因となります。

● **ぬらすことの禁止**

本商品の電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、USBケーブル、モジュラージャックに水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。漏電して火災・感電の原因となります。
また、電話機コードのモジュラープラグがぬれた場合は、乾いても、その電話機コードを使わないでください。

警　告

● **ぬれた手での操作禁止**
ぬれた手で本商品の電源アダプタ（電源プラグ）、ケーブル、USB ケーブル、モジュラージャックを操作したり、接続したりしないでください。感電の原因となります。

● **本商品の内部や周囲でエアダスターやスプレーなど、可燃性ガスを使用したスプレーを使用しないでください。引火による爆発、火災の原因となる場合があります。**

その他のご注意

● **本商品の上部にあるカードスロットには PC カードなどを取り付けないでください。もし誤って取り付けてしまった場合は、本商品の電源を切った状態でカードの取り外しを行ってください。本商品および取り付けたカードが故障することがあります。**

● **異物を入れないための注意**
本商品やケーブル、モジュラージャックの上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな貴金属を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

● **本商品の上部にコインなどの小さな物を置かないでください。本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。**

● **航空機内や病院内などの無線機器の使用を禁止された区域では、本商品の電源を切ってください。電子機器や医療機器に影響を与え、事故の原因となります。**

● **本商品は、高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器や心臓ペースメーカなどの近くに設置したり、近くで使用したりしないでください。電子機器や心臓ペースメーカなどが誤動作するなどの原因となることがあります。**
また、医療用電子機器の近くや病院内など、使用を制限された場所では使用しないでください。

● **本商品を医療機器や高い安全性が要求される用途では使用しないでください。**
人が死亡または重傷を負う可能性があり、社会的に大きな混乱が発生する恐れがあります。

⚠注　意

設置場所

- **火気のそばへの設置禁止**
  本商品やケーブル類、電話機コード、電源アダプタを熱器具に近づけないでください。ケースやケーブルの被覆などが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

- **温度の高い場所への設置禁止**
  直射日光の当たるところや、温度の高いところ（40℃以上）、発熱する装置のそばに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因となることがあります。

- **温度の低い場所への設置禁止**
  本商品を製氷倉庫など特に温度が下がるところに置かないでください。本商品が正常に動作しないことがあります。

- **湿度の高い場所への設置禁止**
  風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところ（湿度85%以上）では設置および使用はしないでください。火災、感電、故障の原因となることがあります。

- **油飛びや湯気の当たる場所への設置禁止**
  調理台のそばなど油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。

- **不安定な場所への設置禁止**
  ぐらついた台の上や傾いた所、振動、衝撃の多い場所など、不安定な場所に置かないでください。
  また、本商品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

- **本商品を逆さまに置かないでください。**

⚠ 注　意

● **通風孔をふさぐことの禁止**
本商品の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような使いかたはしないでください。
・横向きに寝かせる
・収納棚や本棚、箱などの風通しの悪い狭い場所に押し込む
・じゅうたんや布団の上に置く
・テーブルクロスなどを掛ける
・毛布や布団をかぶせる

● **横置き・重ね置きの禁止**
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

● **温度変化の激しい場所（クーラーや暖房機のそばなど）に置かないでください。本商品やケーブルの内部に結露が発生し、火災・感電の原因となります。**

● **屋外には設置しないでください。屋外に設置した場合の動作保証はいたしません。**

● **塩水がかかる場所、亜硫酸ガス、アンモニアなどの腐食性ガスが発生する場所で使用しないでください。故障の原因となることがあります。**

● **本商品を壁に取り付けるときは、本商品の重みにより落下しないようしっかりと取り付け設置してください。落下して、けが・破損の原因となることがあります。**

禁止事項

● **乗ることの禁止**
本商品に乗らないでください。特に小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。壊れてけがの原因となることがあります。

電源

● **プラグの取り扱い注意**
電源アダプタ（電源プラグ）は電源コンセントに確実に差し込んでください。抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
電源アダプタ（電源プラグ）の金属部に金属などが触れると火災、感電の原因となります。

⚠注　意

● **本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を抜き差しをする場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたら、10 秒以上あけてから差し込んでください。**

● **電源アダプタ（電源プラグ）の清掃**
電源アダプタ（電源プラグ）と電源コンセントの間のほこりは、定期的（半年に 1 回程度）に取り除いてください。火災の原因となることがあります。
清掃の際は、必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。火災・感電の原因となることがあります。

● **長期不在時の注意**
長期間ご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてください。

その他のご注意

● **移動させるときの注意**
移動させる場合は、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、外部の接続線を外したことを確認のうえ、行ってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

● **雷のときの注意**
落雷の恐れのあるときは、電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いてご使用をお控えください。
落雷時に、火災、感電、故障の原因となることがあります。
雷が鳴りだしたら、電源コードに触れたり、周辺機器の接続をしたりしないでください。落雷による感電の原因となります。

● **火災・地震などが発生した場合、本商品の状態を確認し、異常が認められた場合には当社のサービス取扱所までご連絡ください。装置故障の恐れがあります。**

● **本書にしたがって接続してください。**
間違えると接続機器や回線設備が故障することがあります。

お願い

設置場所

● **本商品を安全に正しくお使いいただくために、次のような所への設置は避けてください。**
・ほこりや振動が多い場所
・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
・特定無線局や移動通信体のある屋内
・盗難防止装置など2.4GHz周波数帯域を利用している装置のある屋内
・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所

● **本商品は、縦置きの場合は縦置き／壁掛け共用スタンドを取り付けて設置してください。**
また、壁掛け設置をする場合には、付属の壁掛け設置用ネジを使用して、縦置き／壁掛け共用スタンドの底面が壁側になるように固定し、本商品の背面が下になるように設置してください。転倒、落下により、けが、故障の原因となることがあります。

● **本商品を電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。（電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）**
・磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通話ができなくなることがあります。（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。）
・テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
・放送局や無線局などが近く、雑音が大きいときは、本商品の設置場所を移動してみてください。

● **本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。**

● **無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエラーが発生する場合があります。1m以上離してお使いください。**

● **本商品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近すぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コードレス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合があります。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。**

STOP お願い

- 本商品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
  ・厨房や台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。

禁止事項

- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れないでください。
- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 本商品は家庭用の電子機器として設計されております。本商品にパソコンなどの電子機器を非常に多く接続し、通信が集中した場合に、本商品が正常に動作できない場合がありますのでご注意ください。

日頃のお手入れ

- 本商品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いて行ってください。
- 汚れたら、乾いた柔らかい布でふき取ってください。汚れのひどいときは、中性洗剤を含ませた布でふいたあと、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきんの使用は避けてください。
  ただし、コネクタ部分はよくしぼった場合でもぬれた布では、絶対にふかないでください。
  ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- 本商品に殺虫剤などの揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。

ご利用前の注意事項

通信に関する注意事項

- お客様宅内での接続環境により、最大通信速度が得られない場合や、通信速度が変動する状態または通信が利用できない状態となる場合があります。
- インターネット常時接続をご利用の場合、ネットワークを介して外部からの不正侵入および情報搾取などの危険が増えます。必要に応じて、お客様のパソコンにファイアウォールのソフトウェアをインストールするなどの対応をお願いいたします。

電話機能に関する注意事項

- ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 本商品の電源が入っていない場合は、ひかり電話をご利用いただくことはできません。
- ひかり電話でファクスやアナログモデム通信を行った場合、あるいは音声ガイドなどで通話中にプッシュ信号の入力が必要な場合は、通信に失敗することがあります。通信が失敗した場合でも、失敗するまでの通信に対して使用料金がかかります。
- ひかり電話や映像コンテンツの視聴などを同時に行い、本商品に負荷がかかった場合に、映像コンテンツの視聴に影響を及ぼす可能性があります。
- お客様のご利用環境によっては、ひかり電話の通話が安定しない可能性があります。
- ひかり電話使用中に本商品の電源が切れた場合、通話が切断されます。また、再起動中、バージョンアップ中は通話ができません。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。
  ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- 「Web 設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定、電話機からの設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。

● 「Web設定」、電話機からの設定により、ひかり電話に対応したIP端末やパソコンなどの通信が切断される場合があります。LAN側の設定や無線設定を変更する場合は、通信を終了してから行ってください。

● 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。(設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。)

● 本商品は、ファームウェアを常に最新の状態に保つため、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯にあわせて、自動的にファームウェアの更新を行います。ファームウェアの更新機能の詳細については、本書の「9章　本商品のバージョンアップ」よりご確認ください。なお、ファームウェアの自動更新について、以下の点にご注意ください。
  ・ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のファームウェアの更新が行われない場合があります。その場合は、使用後一定時間たってからファームウェアの更新を行なってください。
  ・ファームウェアの更新中（1～2分程度）は、ひかり電話がご利用になれません。緊急通報などもご利用になれませんのでご注意ください。
  ・ファームウェアの更新中（1～2分程度）は、すべての接続が切断されます。インターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスをご利用中に、ファームウェアの更新が実行される場合がありますので、ご注意ください。
  ・ファームウェアの自動更新が実行されると、ご利用中のインターネットや映像コンテンツ視聴などの各サービスが中断される場合があります。ファームウェアの更新が終了するまでしばらくお待ちください。

お客様情報に関する注意事項

● 本商品は、お客様固有のデータを登録または保持可能な商品です。本商品内のデータが流出すると不測の損害を受ける恐れがありますので、データの管理には十分ご注意ください。

● 本商品を返却される場合は、本商品を初期化することにより、本商品内のデータを必ず消去してください。

● 本商品の初期化は、本書に記載された初期化方法の手順にしたがって実施してください。

有線LANに関する注意事項

- 有線LANの規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

無線LANに関する注意事項

- 無線LANの規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 無線LANの伝送距離や伝送速度は、周囲の環境条件（通信距離、障害物・電子レンジなどの電波環境要素、使用するパソコンの性能、ネットワークの使用状況など）により大きく変動します。
- 本商品をIEEE802.11a（W52、W53）で使用する場合、屋外での使用は法令により禁止されています。
- IEEE802.11a（W53）またはIEEE802.11a（W56）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS機能により自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
  - ・DFS機能により自動的にチャネルを変更した場合はW52のチャネルに再設定します。
- IEEE802.11a（W52）は5.2GHz帯、IEEE802.11a（W53）は5.3GHz帯の周波数を使用しています。IEEE802.11a（W56）は5.6GHz帯の周波数を使用しています。
- IEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11nを使用する機器が混在している場合は、使用する機器のスループットが著しく下がることがあります。
- IEEE802.11n通信を行うためには、無線LAN端末の暗号化を「なし」、「WPA-PSK（AES)」または「WPA2-PSK（AES)」（推奨）に設定する必要があります。

USBポートに関する注意事項

- USBポートに接続したUSBデバイス内のファイルへアクセス中に、USBデバイスやパソコンを本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。

緊急地震速報サービスに関する注意事項

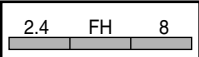
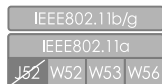
- 緊急地震速報とは、地震の発生直後に、震源に近い地震計でとらえた観測データを解析して、震源や地震の規模（マグニチュード）を直ちに推定し、これに基づいて各地での主要動の到達猶予時間や震度を推定し、可能な限りすばやく知らせる情報です。
- 緊急地震速報は技術的限界があり、十分に理解したうえで利用する必要があります。詳細に関しては気象庁のホームページをご確認ください。
  （http://www.seisvol.kishou.go.jp/eq/EEW/kaisetsu/index.html）
  - ・直下型地震の場合など、緊急地震速報が主要動の到達に間に合わない、もしくは猶予時間が極端に短い場合があります。
  - ・震度、到達猶予時間などの予測に誤差が生じる場合があります。
  - ・地震以外の要因（事故、落雷など）による誤報が生じる場合があります。
- 緊急地震速報サービスを利用するには別途ご契約が必要です。
- 通信回線の品質や本商品の利用状況によっては、緊急地震速報の伝達に遅延が発生する場合があります。
- 本サービスは、通知する予測震度や到達猶予時間の正確性や確実性を保証するものではありません。
- 本サービスは地震による被害の軽減を保証するものではありません。
- 地震やその他の災害に伴う事故や障害で生じた損害などにつきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本商品の故障、誤動作、不具合、または設定誤りによって、緊急地震速報が間に合わない、予測に誤差が生じるなどの事態が発生し、本商品を利用することで生じた損害などにつきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 停電などの外部要因によって、緊急地震速報が間に合わない、予測に誤差が生じるなどの事態が発生し、本商品を利用することで生じた損害などにつきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本サービスをご利用の前に、「6-1　緊急地震速報サービスの紹介」（☛6-2 ページ）を必ずお読みいただき、ご理解したうえでご利用ください。
- 本商品が正しく設定されていない場合や地震速報を受信できない場合、正しく地震速報を通知できません。
- 緊急地震速報サービスが利用できる状態になっていても本商品の再起動中、バージョンアップ中は、地震速報の通知を受けることができません。
- 緊急地震速報は他の音声ガイダンスより優先されます。
- 緊急地震速報サービス起動中は、定期的に地震速報配信サーバと通信しておりますので、電源を切らないでください。
- システムの負荷により、地震速報の通知が著しく遅くなる場合があります。

電波に関するご注意

無線LAN製品の電波に関するご注意

本商品をIEEE802.11b、IEEE802.11gおよびIEEE802.11nで利用時は、2.4GHz帯域の電波を利用しており、この周波数帯では電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用構内無線局、および免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。

1.本商品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2.万一、本商品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに本商品の使用チャネルを変更するか、使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3.その他、電波干渉の事例が発生し、何かお困りのことが起きた場合には、取扱説明書巻末記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

本商品をIEEE802.11a（W52、W53）で利用する場合は、電波法により屋外での使用が禁止されています。

- 本商品は、日本国内でのみ使用できます。
- IEEE802.11aで使用するチャネルは36,40,44,48ch（W52）と52,56,60,64ch（W53）と100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch（W56）です。無線LANアクセスポイントとしては、従来のIEEE802.11aで使用の34,38,42,46ch（J52）の装置とIEEE802.11aモードでの通信はできません。
無線LAN端末として利用する機器は、以下のマークがついたものを推奨します。

・W52（5.2GHz帯/36,40,44,48ch）、
W53（5.3GHz帯/52,56,60,64ch）、
W56（5.6GHz帯/100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch）が利用できます。

- 次の場所では、電波が反射して通信できない場合があります。
  ・強い磁界、静電気、電波障害が発生するところ（電子レンジ付近など）
  ・金属製の壁（金属補強材が中に埋め込まれているコンクリートの壁も含む）の部屋
  ・異なる階の部屋同士
- 本商品と同じ無線周波数帯の無線機器が、本商品の通信可能エリアに存在する場合、データ転送速度の低下や通信エラーが生じ、正常に通信できない可能性があります。
- 本商品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- 本商品は、技術基準適合認証を受けていますので、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
  ・本商品を分解／改造すること
- 本商品は、他社無線LANカードやパソコン内蔵の無線との動作を保証するものではありません。

● 本商品は 2.4GHz 全帯域を使用する無線設備であり、移動体識別装置の帯域が回避可能です。変調方式として FH-SS 方式、DS-SS 方式および OFDM 方式を採用しています。本商品が使用する FH-SS 方式の想定干渉距離は 80m です。また、本商品が使用する DS-SS 方式および OFDM 方式の想定干渉距離は 40m です。

本商品に表示した 2.4 FH 8 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
FH	変調方式	FH-SS 方式
8	想定干渉距離	80m 以下
▭▭▭	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避不可であること

本商品に表示した 2.4 DS/OF 4 は、次の内容を示します。

2.4	使用周波数帯域	2.4GHz 帯
DS/OF	変調方式	DS-SS および OFDM 方式
4	想定干渉距離	40m 以下
▬ ▬ ▬	周波数変更の可否	全帯域を使用し、かつ、移動体識別装置の帯域を回避可能であること

無線LAN製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁等）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる
悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード番号等の個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される
悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）、傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線LAN製品は、セキュリティの仕組みを持っていますので、その設定を行って製品を使用することで、上記問題が発生する可能性は少なくなります。

無線LAN製品は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われていない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN製品のセキュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもありえますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、ご不明な点があれば、裏表紙に記載のお問い合わせ先へご連絡ください。

セキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

目次

11 章　付録

「機能詳細ガイド」目次

付属の「RT-A300NE 機能詳細ガイド」には、本商品の詳細な機能について説明した「機能詳細ガイド」がHTMLファイルで収録されています。ここではその概要を示します。電子マニュアルの見かたについては、27ページをご覧ください。

マニュアルの読み進めかた

本商品のマニュアルは下記のように構成されています。ご利用の目的にあわせてお読みください。

●**最初にお読みください**
本商品の接続、ひかり電話を使えるようにするまでの手順をわかりやすく説明しています。

●**取扱説明書（本書）**
本商品の接続のしかた、インターネット接続の設定方法、お問い合わせ先などを記載しています。ご使用前に必ずお読みください。
※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

●**機能詳細ガイド（ CD-ROM ：HTML ファイル）**
本商品の機能や設定方法をより詳しく記載しています。より高度な機能をご使用になる場合にお読みください。

■取扱説明書（本書）の読み進めかた

本商品を使用してひかり電話をご利用になり、インターネットに接続するまでの流れは、下記のようになります。
無線 LAN を利用する場合は「5 章　無線 LAN のご利用について」を参照してください。

付属品の確認をします
「1-1　セットを確認してください」

▼

取り付けます
「2 章　本商品を設置する」

▼

ひかり電話を利用します
「3 章　ひかり電話の使いかた」

▼

インターネットに接続します
「4 章　インターネット接続の設定をする」

▼

無線 LAN の設定をします
「5 章　無線 LAN のご利用について」

※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
※本書での ! の記載は設定中などに特に確認していただきたい注意事項です。
※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

「RT-A300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）に収録された電子マニュアルの見かた

1. 「RT-A300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）をパソコンにセットする

2. Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動して「機能詳細ガイド」や、「設定記入シート」のファイルを開く

Windows®、Windows Vista® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
Windows Vista® はオペレーティングシステムです。
Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
Mac OS、OS X、Safari は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
らくらく無線スタートは、NEC アクセステクニカ株式会社の登録商標です。
Xpress™は、Broadcom 社の登録商標です。
Bluetooth® とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、東日本電信電話株式会社はライセンスを受けて使用しています。
IrSimple™、IrSS™または IrSimpleShot™は、Infrared Data Association の商標です。
「IrSS」とは、IrSimple 1.0 準拠の片方向通信機能（Home Appliance Profile）を表します。
Oracle と Java は、Oracle Corporation およびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。
Myriad and Jbed are trademarks or registered trademarks of Myriad Group AG.
その他、各会社名、各製品名およびサービス名などは各社の商標または登録商標です。
付属品の「RT-A300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）は日本語版 OS 以外の動作保証はしていません。
付属品の「RT-A300NE 機能詳細ガイド」（CD-ROM）はソフトウェアのバックアップとして保有する場合に限り、複製することができます。また、ソフトウェアについてのいかなる改変も禁止とし、それに起因する障害について当社は一切の責任を負いません。

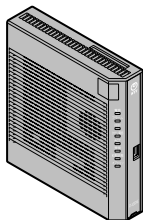
1 最初に確認する

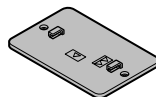
この章では、付属品や各部の名前、お使いになる前に確認していただきたいことを説明します。

1-1 セットを確認してください

■本商品に同梱されているもの

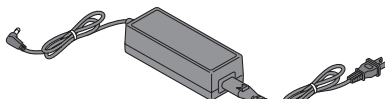
RT-A300NE（本体が黒色）の場合

<本体>

RT-A300NE（1 台）

※本書では、RT-A300NE（本体が黒色）の場合を例にして説明しています。RT-A300NE（本体が白色）の場合も設定手順などは同様です。

縦置き／壁掛け共用スタンド（1 台）

※当社工事により取り付け済みの場合があります。

<付属品>

LAN ケーブル（1 本／約 2m ／緑色）

電源アダプタ（1 式）

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

取扱説明書
（本書 1 冊）

最初にお読みください
（1 枚）

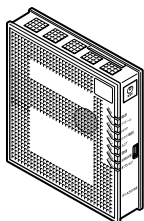
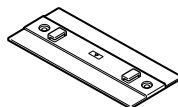
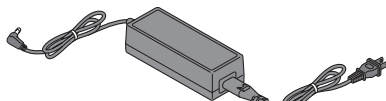
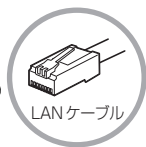
RT-A300NE
機能詳細ガイド（1 枚）

壁掛け設置用ネジ
（2 本／ 16mm）

無線注意ラベル（1 枚）

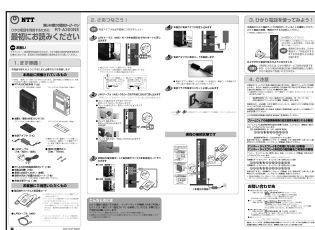
- ●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●実際の装置の形状と色はイラストと異なる場合があります。

RT-A300NE（本体が白色）の場合

＜本体＞

RT-A300NE（1 台）

縦置き／壁掛け共用スタンド（1 台）

＜付属品＞

LAN ケーブル（1 本／約 2m ／緑色）

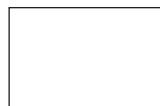
電源アダプタ（1 式）

※電源アダプタと電源コードが分離している場合は、電源コードを電源アダプタに奥まで確実に差し込んでお使いください。

取扱説明書
（本書 1 冊）

最初にお読みください
（1 枚）

RT-A300NE
機能詳細ガイド（1 枚）

壁掛け設置用ネジ
（2 本／ 16mm）

壁掛け用ネジ位置合わせシート
（1 枚）

無線注意ラベル（1 枚）

- ●セットに足りないものがあったり、取扱説明書に乱丁・落丁があった場合などは、当社のサービス取扱所にご連絡ください。
- ●実際の装置の形状と色はイラストと異なる場合があります。

■お客様にご用意いただくもの

＜ひかり電話のご利用に必要なもの＞

●電話機

※電話機の電話回線ダイヤル種別は、「PB」に設定してご使用ください。電話回線ダイヤル種別が「DP」の場合、通常の発信や通話は問題なく行うことができますが、「＊」や「＃」を用いた電話機からの設定やいくつかの付加機能をご利用いただけません。
※ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
※電話機コードもご準備ください。

●開通のご案内
●回線終端装置／VDSLモデムなど当社が設置した機器

＜インターネット接続および、設定変更に必要なもの＞

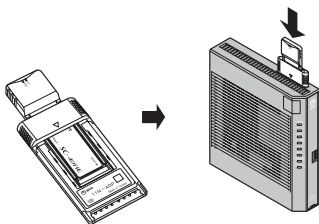
● LANポートを持ったパソコン

●プロバイダの設定情報

＜パソコンとの無線LAN接続に必要なもの＞

【本商品側に必要なもの】

［IEEE802.11b/g/nをご利用の場合］

●専用無線LANカード
（「SC-40NE」※）
※本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、「11N-ADP」の装着が必要となります。詳しくは、「5-2　本商品への無線LANカードの取り付け」を参照してください。

※本商品の拡張カードスロットに取り付けて使用します。

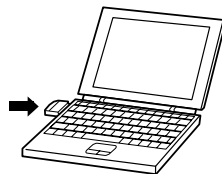
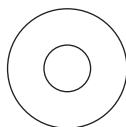
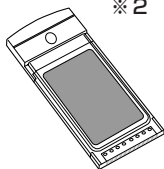
［IEEE802.11a/b/gをご利用の場合］

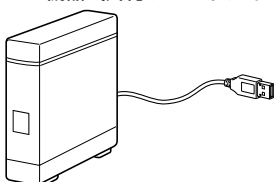
※本商品に内蔵の無線機能をご利用になる場合は専用無線LANカードは必要ありません。
※本商品に内蔵の無線機能ではIEEE802.11nはご利用になれません。

【パソコン側に必要なもの】

●専用無線LANカード
（「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」または「SC-32HI」）※1
※2

●専用無線LANカード付属のCD-ROM（橙）
（「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」または「SC-32HI」）※3

●CardBus対応のPCカードスロットを持ったパソコン

＜ファイル／メディアサーバ／プリントサーバ機能に必要なもの＞

●USB 機器（外付けハードディスクなど）※4　　●プリンタ

※ USB ケーブルもご準備ください。

※1　無線 LAN 端末として使用するパソコンなどに取り付けて使用します。OS は、Windows® 7（SP1 を含む）、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版に対応しています。64 ビット（x64）版 OS、Mac OS には対応しておりません。
専用無線 LAN カード（SC-32NE、SC-32SE、SC-32KI または SC-32HI）は IEEE802.11g/b（2.4GHz 帯域）、IEEE802.11a（W52）に対応しています。IEEE802.11a（W53、W56）ではご利用になれません。

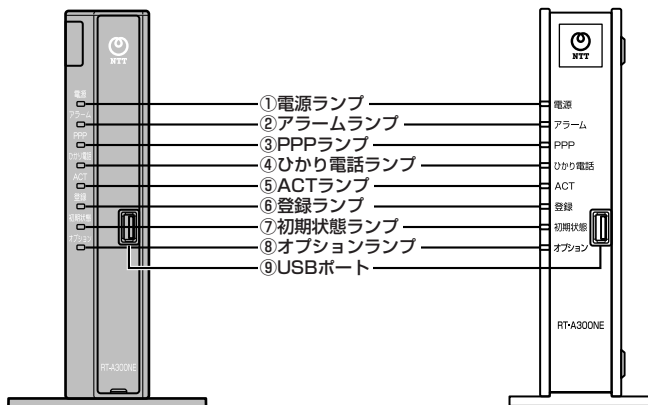
※2　最新のプログラムは「フレッツ簡単セットアップツール」にて取得してください。

※3　動作確認済みの USB 機器（外付けハードディスクなど）は、当社ホームページでご確認ください。
http://flets.com/hikaridenwa/index.html

1-2 各部の名前

本商品各部の名前および機能を説明します。

●前面図

＜RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞　＜RT-A300NE（本体が白色）の場合＞

【ランプ表示】

名称	表示（色）		状態
①電源ランプ	－	消灯	電源が入っていません。
	緑	点灯	電源が入っています。
②アラームランプ ※「無線LAN簡単セットアップ」実行中のランプ表示については1-7ページを参照してください。 ※「データ自動コピー機能」実行中のランプ表示については1-7ページを参照してください。	－	消灯	正常な状態です。
	赤	点灯	装置障害です。 （「10章　故障かな？と思ったら」（☛10-3ページ）を参照してください。※1）
		点滅(最大10秒間)	USBポートの異常を検出しました。
③PPPランプ	－	消灯	オフライン状態です。
	緑	点灯	1セッション接続中です。
	橙	点灯	2セッション以上接続中です。
④ひかり電話ランプ	－	消灯	ひかり電話が利用できません。
	緑	点灯	ひかり電話が利用できます。
		点滅	ひかり電話で通話中／着信中／呼び出し中です。
⑤ACTランプ	－	消灯	WAN回線が利用できません。
	緑	点灯	WAN回線が利用できます。
		点滅	WAN回線でデータ通信中です。
⑥登録ランプ ※「無線LAN簡単セットアップ」実行中のランプ表示については1-7ページを参照してください。	－	消灯	ひかり電話の設定がされていません。
	緑	点灯	ひかり電話の設定が完了しています。
		点滅	ひかり電話の設定中です。
	赤	点灯	ひかり電話の設定に失敗しました。（認証エラー）
		点滅	ひかり電話の設定に失敗しました。（その他のエラー）

名称	表示（色）		状態
⑦ 初期状態ランプ	ー	消灯	通常の状態です。
	橙	点灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。※１※２
		点滅	IP アドレスが重複しています。 （「10-2　ご利用開始後のトラブル」（☛10-9 ページ）を参照してください。）
⑧オプションランプ	ー	消灯	緊急地震速報サービスの設定がされていません。※３※４
	紫	点灯→消灯	電源投入時の状態です。
	緑	点滅→消灯	工場出荷状態（初期化された状態）です。
	橙	点灯	緊急地震速報サービスが利用できます。※３
		速い点滅	地震速報を通知中です。※３ （0.25 秒間隔）
		遅い点滅	緊急地震速報サービスが利用できません。※３ （0.5 秒間隔）
	青	３回点滅 →２秒点灯	USB ポートに機器が接続されました。

【ポート名など】

名称	表示	状態
⑨ USB ポート	ー	ＵＳＢ機器を接続するためのポートです。 （☛7-2 ページ）

※　本商品に電源を入れた際、全ランプが一度点灯します。
※　節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－［高度な設定］－［節電機能］を参照してください。
※１ ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）はアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。
※２ 本商品が工場出荷状態（初期状態ランプ橙点灯）でも、電源を入れたあと、ひかり電話ランプが緑点灯すればひかり電話が利用できます。「Web 設定」を行うと初期状態ランプは消灯します。
※３ NTT コミュニケーションズが提供する「緊急地震速報 フレッツタイプ」の契約が必要です。
※４ 回線を接続しない状態で緊急地震速報サービスの設定をした場合はオプションランプは消灯したままになります。

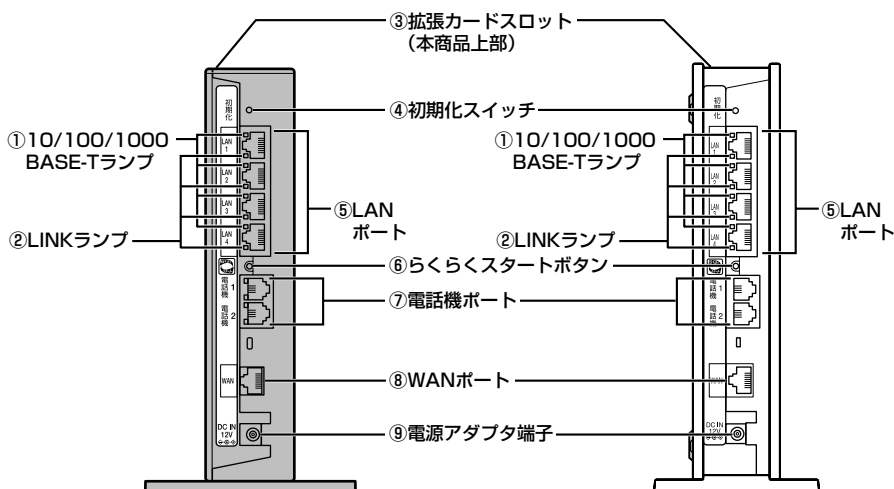
【「無線 LAN 簡単セットアップ」実行中のランプ表示】

名称	表示（色）	状態
登録ランプ	緑点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定準備中です。
	橙点滅	「無線 LAN 簡単セットアップ」で設定のため通信中です。
	橙点灯（最大 10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が完了しました。
アラームランプ	赤点滅（最大 10 秒間）	「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定に失敗しました。

【「データ自動コピー機能」実行中のランプ表示】

名称	表示（色）	状態
アラームランプ	赤点滅（10 秒間）	データ自動コピーに失敗しました。
オプションランプ	青点滅（速い）	データ自動コピー実行中です。（0.25 秒間隔）

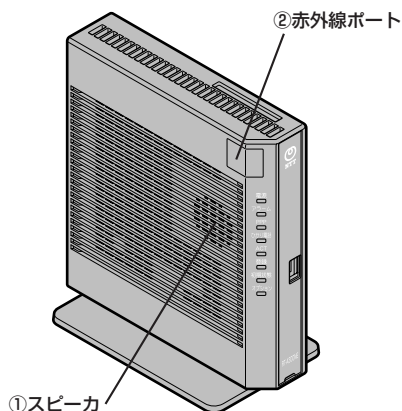
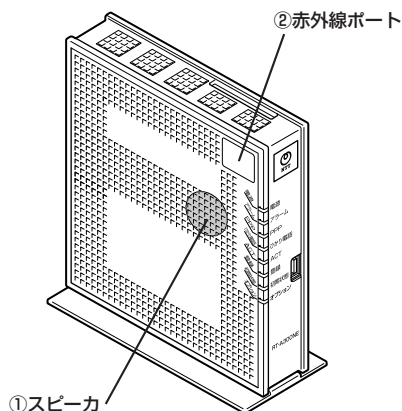
●背面図

＜RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞　＜RT-A300NE（本体が白色）の場合＞

【ランプ表示】

名称	表示（色）		状態
① 10/100/1000 BASE-T ランプ（4 個）	―	消灯	10Mbps でデータ送受信できます。
	橙	点灯	1Gbps/100Mbps でデータ送受信できます。
② LINK ランプ（4 個）	―	消灯	LAN が利用できません。
	緑	点灯	LAN が利用できます。
		点滅	LAN でデータ通信中です。

【ポート名など】

名称	表示	機能説明
③ 拡張カードスロット	―	「SC-40NE」を取り付けます。（☛5-6 ページ）
④ 初期化スイッチ	初期化	設定を初期化するために使用するスイッチです。
⑤ LAN ポート	LAN1 ～ LAN4	LAN ケーブル（付属品など）を使用してパソコンなどと接続するためのポートです。
⑥ らくらくスタートボタン	らくらくスタート	「無線 LAN 簡単セットアップ」などの諸設定を起動するためのボタンです。
⑦ 電話機ポート	電話機 1 電話機 2	電話機コードを使用して電話機を接続するためのポートです。（電話機コードは付属していません。）
⑧ WAN ポート	WAN	LAN ケーブルを使用して回線終端装置／ VDSL モデムなどの LAN ポートと接続するためのポートです。
⑨ 電源アダプタ端子	DC IN	電源アダプタのコードを差し込みます。

●側面図

＜RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞

名称	表示	機能説明
① スピーカ	―	気象庁からの地震速報（別途契約が必要です。）や設定中のエラーなどを音声でお知らせします。
② 赤外線ポート	―	本商品と携帯電話などで赤外線通信を利用したデータの受信をするためのポートです。

1-3 あらかじめ確認してください

パソコンの準備

●LAN ポートの準備
本商品と接続する端末機器（パソコンなど）には、LAN ポート（1000BASE-T または 100BASE-TX、10BASE-T）が必要です。お使いのパソコンなどに LAN ポートがない場合は、1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T 対応の LAN ボードまたは LAN カードをあらかじめご準備ください。LAN ボードまたは LAN カードの取り付けとドライバのインストールは、LAN ボードまたは LAN カードの取扱説明書などにしたがって正しく行ってください。

●ファイアウォールなど、すべてのソフトウェアの終了
本商品設定の前にファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアは終了させてください。動作させたままでいると、本商品の設定ができなかったり、通信が正常に行えない場合があります。本商品の設定が終了したら、いったん終了させたファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアをもとに戻してください。

●無線 LAN をご利用になるには
本商品は無線 LAN 機能が内蔵されています。
本商品に無線 LAN カードを取り付ける場合は「SC-40NE」が必要です。
パソコンに取り付ける無線 LAN カードとしては「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」または「SC-32HI」が必要です。

対応 OS の確認と Web ブラウザの準備

本商品は下記の OS に対応しています。（2012 年 11 月現在）

・本商品の LAN ポートに接続する場合
Windows® 7（SP1 を含む）、Windows Vista®（SP2）、Windows® XP（SP3）および Mac OS X

・パソコンに専用無線 LAN カード（「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」または「SC-32HI」）を取り付けて本商品に接続する場合
Windows® 7（SP1 を含む）、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版

・本商品のファイルサーバ機能を利用する場合
Windows® 7（SP1 を含む）、Windows Vista®（SP2）、Windows® XP（SP3）および Mac OS X 10.5、10.6

・本商品のプリントサーバ機能を利用する場合
Windows® 7（SP1 を含む）、Windows Vista®（SP2）および Windows® XP（SP3）

本書では、Web ブラウザでの設定方法を説明します。
Web ブラウザによる設定では、以降の点に注意してください。

● Web ブラウザは、下記のバージョンに対応しています。（2012 年 11 月現在）
　Windows® 7（SP1 を含む）の場合
　・Internet Explorer® 8.0/9.0 に対応
　Windows Vista®（SP2）の場合
　・Internet Explorer® 7.0/8.0/9.0 に対応
　Windows® XP（SP3）の場合
　・Internet Explorer® 6.0（SP3）/7.0/8.0 に対応
　Mac OS X （10.7 以下）の場合
　・Safari 5.1 以下に対応
※各 OS に準拠したブラウザをご利用ください。
※本書では、Windows® 7 は、Windows® 7 Starter の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版、Windows® 7 Home Premium、Windows® 7 Professional、Windows® 7 Enterprise および Windows® 7 Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版または 64 ビット（x64）版の略として使用しています。
※本書では、Windows Vista® は、Windows Vista® Home Basic、Windows Vista® Home Premium、Windows Vista® Business および Windows Vista® Ultimate の各日本語版かつ 32 ビット（x86）版の略として使用しています。

● Windows® をご利用の場合、Web ブラウザや OS の設定でプロキシサーバを使用する設定になっていると正しく表示や操作ができないことがあります。（☛4-5 ページ）

● お使いの Web ブラウザの設定で「JavaScript™」を有効にしてください。
（Windows® の場合 ☛4-6 ページ、Mac OS の場合 ☛11-6 ページ）

● ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で「ダイヤルしない」を選択してください。（☛4-5 ページ）

● お使いの Web ブラウザや Web ブラウザの設定により、説明されている操作を行った際に、Web ブラウザが以前に保存していた内容を表示する場合があります。

● Web ブラウザの「戻る」、「進む」、「更新」ボタンは使用しないでください。本商品への操作が正しく行われない場合があります。

● Mac OS で Safari をご利用の場合、「テキストのみ拡大/縮小」にチェックを入れないと正しく表示ができないことがあります。

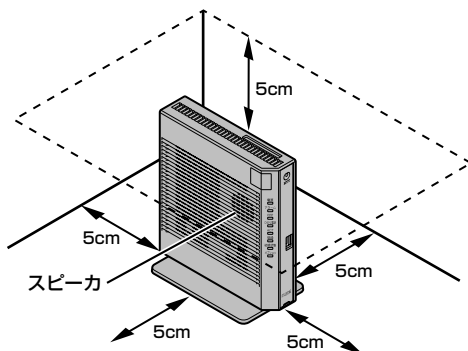
※本書で説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS バージョンによって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。

2 本商品を設置する

本商品の設置・接続をします。

2-1 設置・接続

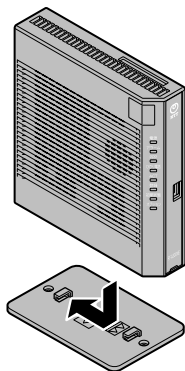
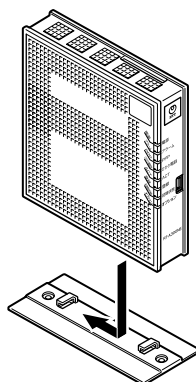
本商品を設置する

本商品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置してください。
壁掛けの場合は壁掛け面を除きます。
※本商品のスピーカのある側面には無線のアンテナが内蔵されています。壁などで遮断しないよう注意してご利用ください。

⚠ 注 意
換気が悪くなると本商品内部の温度が上がり、故障の原因になります。

※ RT-A300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。
緊急地震速報サービスや音声ガイダンスをご利用の場合は、スピーカの向きに注意してご利用ください。
冷蔵庫やテレビなど、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。
本商品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

スタンドを付けて縦置きにする

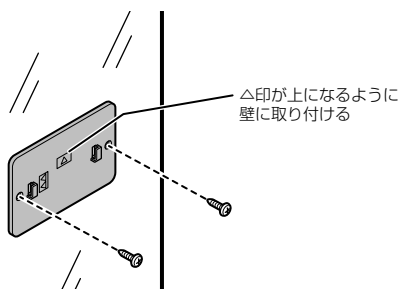
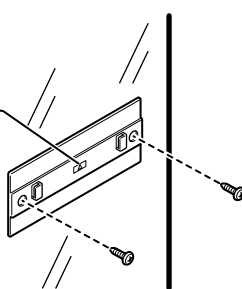
図のように、本商品に付属の縦置き／壁掛け共用スタンドを付けて縦置きでご使用ください。

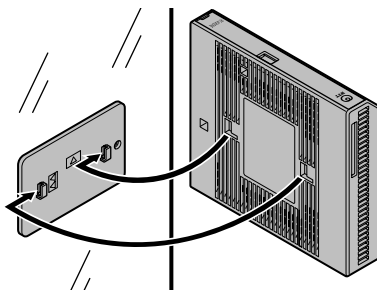
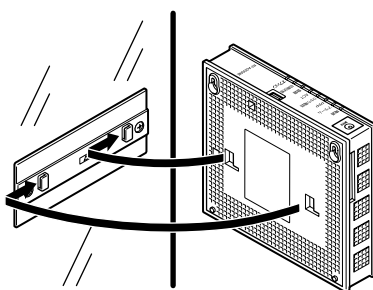
< RT-A300NE（本体が黒色）の場合 >

< RT-A300NE（本体が白色）の場合 >

⚠ 注意	本商品は横置きでのご使用はできません。

スタンドを用いて壁掛けにする

■取り付けかた

あらかじめ縦置き／壁掛け共用スタンドを本商品に取り付けて設置方向および設置スペースを確認してから縦置き／壁掛け共用スタンドを取り付けてください。

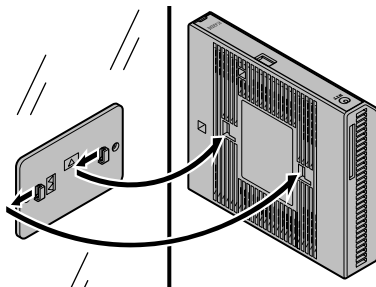
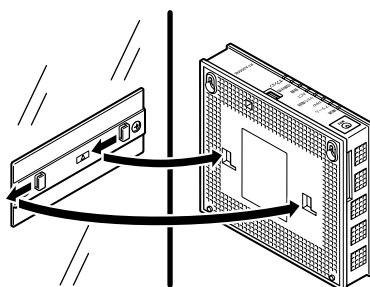
①付属の縦置き／壁掛け共用スタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。

＜RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞　＜RT-A300NE（本体が白色）の場合＞

②本商品をスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。

＜RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞

＜RT-A300NE（本体が白色）の場合＞

お願い

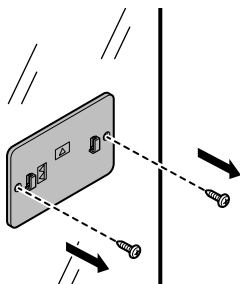
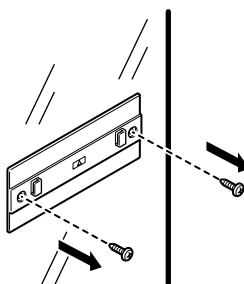
- ●本商品は、無線のアンテナが内蔵されています。設置場所や家具、什器などにより十分な通信品質が得られない場合があります。
- ●壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。（☛2-2 ページ）
- ●壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- ●壁掛け設置されている状態でケーブルの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- ●本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- ●本商品の上部にコインなどの小さな物を置かないでください。
  本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■取り外しかた

①本商品をスライドして取り外します。このとき、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますのでご注意ください。

＜ RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞

＜ RT-A300NE（本体が白色）の場合＞

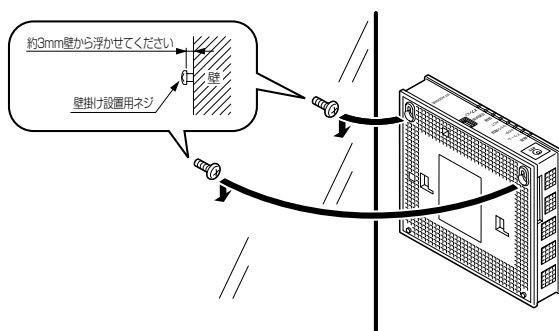
②付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属の縦置き／壁掛け共用スタンドを取り外します。

＜ RT-A300NE（本体が黒色）の場合＞

＜ RT-A300NE（本体が白色）の場合＞

スタンドを用いずに壁掛けにする

※本体が白色の場合のみです。

■取り付けかた

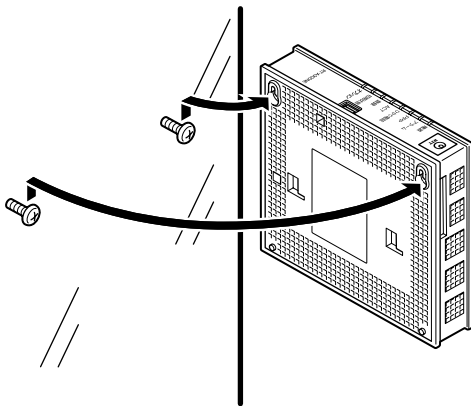
①あらかじめ付属の壁掛け用ネジ位置合わせシートに合わせて、付属の壁掛け設置用ネジを壁2か所に取り付けます。このときネジは最後まで締め付けないで壁から約3mmの隙間を空けて締め付けます。

②壁に途中まで締め付けたネジに本商品を背面が下になるように取り付けます。本商品側面にある取り付け穴をはめ込み、上側から下側に向けてスライドさせて固定させます。この時、力をかけすぎると本商品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。
壁掛け後に本商品がガタつくようでしたら、本商品を壁から外して壁に取り付けた2か所ネジの高さを再度調整し、本商品がガタつかないように設置してください。

お願い

- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に空間を作って設置してください。（☛2-2ページ）
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルの接続などを行う際には、落下すると危険ですので必ず本商品本体を手で支えながら行ってください。
- 本商品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などのやわらかい壁への壁掛け設置は避け、確実に固定できる場所に設置してください。
- 本商品の上部にコインなどの小さな物を置かないでください。
本商品の中に入った場合、火災・感電の原因となります。

■取り外しかた

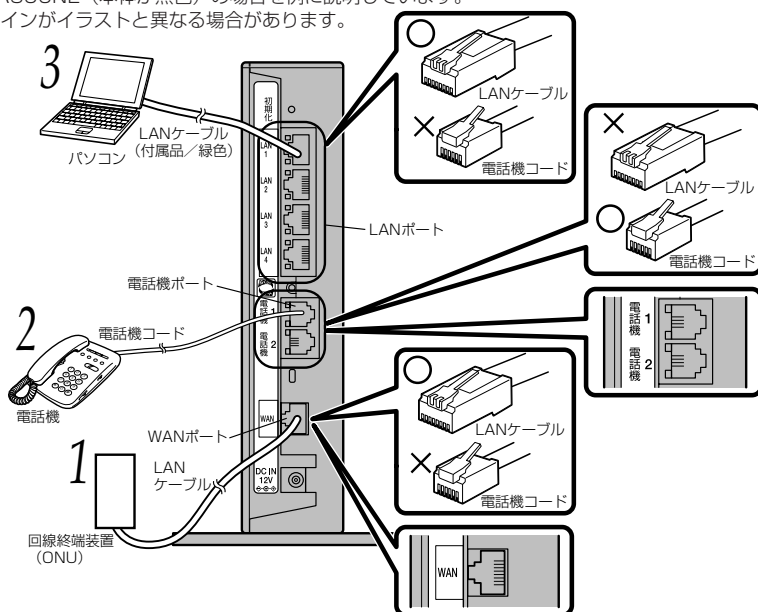
①壁に途中まで締め付けたネジから本体を取り外します。下側から上側に向けてスライドさせて取り外します。
この時、力をかけすぎると本商品及び壁が破損する恐れがありますので注意してください。

②付属の壁掛け設置用ネジを取り外し、付属の壁掛け用ネジ位置合わせシートを取り外します。

回線に接続する

本商品を回線に接続します。
ご契約の内容によって接続方法が異なります。ご契約内容にあわせて接続してください。

- ●フレッツ 光ネクストファミリータイプ／Bフレッツ ハイパーファミリータイプ、フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ光配線方式（NTT東日本）をご契約の場合（☛下記）
- ●フレッツ 光ネクスト／B フレッツ マンションタイプ VDSL方式をご契約の場合（☛2-10ページ）
- ●フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプLAN配線方式をご契約の場合（☛2-13ページ）

フレッツ 光ネクストファミリータイプ／Bフレッツ ハイパーファミリータイプ、フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ光配線方式（NTT東日本）をご契約の場合

※ RT-A300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。

（次ページに続く）

1 本商品のWANポートと回線終端装置（ONU）をLANケーブルで接続する

※本商品と回線終端装置（ONU）を直接接続していただくようお願いします。

回線終端装置（ONU）とひかり電話ルータの間にハブやルータを接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブル（付属品／緑色）で接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

4 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 「ひかり電話が利用できます。」と音声ガイダンスが流れ、ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

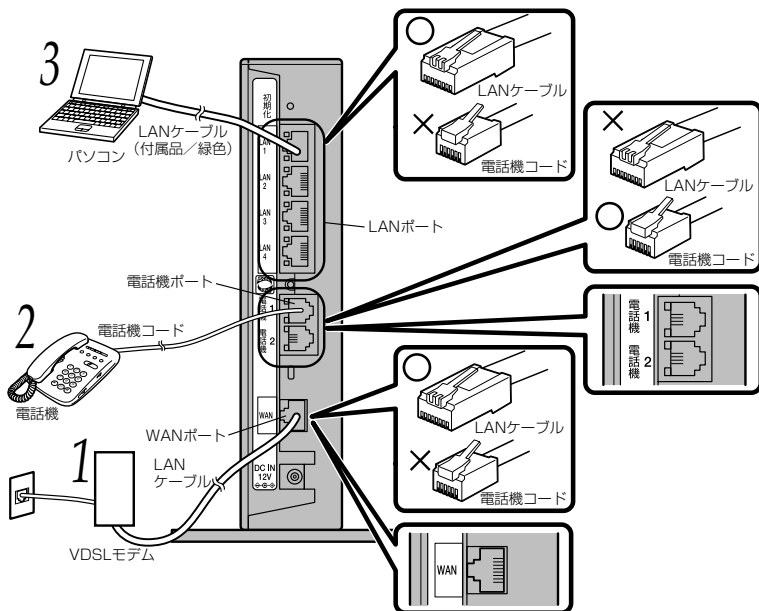
ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））
※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、ひかり電話ランプは消灯のままとなります。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「9-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛9-3ページ）を参照してください。）

お知らせ

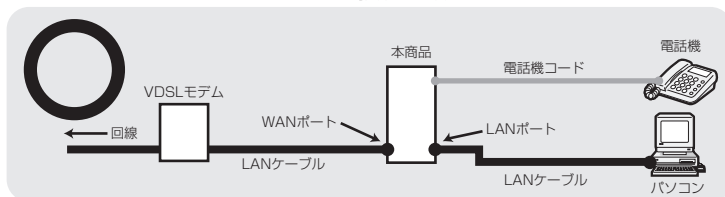
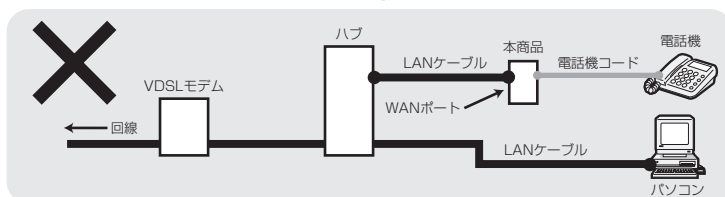
- ●「Web設定」の［詳細設定］－［内蔵スピーカ音量設定］で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。
- ●使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ●ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「Ⓣ」がついているものをご使用ください。
- ●ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
- ●電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- ●お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- ●パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ●ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「10章　故障かな？と思ったら」（☛10-1ページ）をご覧ください。

フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ VDSL方式をご契約の場合

※ RT-A300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。

1 本商品のWANポートとVDSLモデムをLANケーブルで接続する

※ VDSLモデムの設定方法は各VDSLモデムの取扱説明書などを参照してください。
※本商品とVDSLモデムを直接接続していただくようお願いします。

!

VDSLモデムとひかり電話ルータの間にハブやルータを接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブル（付属品／緑色）で接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

（次ページに続く）

4 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 「ひかり電話が利用できます。」と音声ガイダンスが流れ、ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））
※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、ひかり電話ランプは消灯のままとなります。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「9-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛9-3ページ）を参照してください。）

お知らせ

- 「Web設定」の［詳細設定］－［内蔵スピーカ音量設定］で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㊢」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「10章　故障かな？と思ったら」（☛10-1ページ）をご覧ください。

フレッツ 光ネクスト／Bフレッツ マンションタイプ LAN 配線方式をご契約の場合

※ RT-A300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。

（次ページに続く）

1 本商品のWANポートとRJ-45モジュラージャック（LAN用）をLANケーブルで接続する

※本商品とお客様のお部屋にあるRJ-45モジュラージャックを直接接続していただくようお願いします。

壁のLANポートとひかり電話ルータの間にハブやルータを接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。

2 電話機を接続する

本商品の電話機ポートと電話機を接続します。
※ご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3 パソコンを接続する

本商品のLANポートとパソコンをLANケーブル（付属品／緑色）で接続します。
パソコン、本商品ともに電源を切った状態で取り付けてください。
※ひかり電話の設定を変更せず、ひかり電話のみをご利用になる場合はパソコンの接続は必要ありません。

4 電源アダプタのコードを接続する

このときはまだ、電源アダプタ（電源プラグ）は壁などの電源コンセントに接続しないでください。

⚠ 警告	付属の電源アダプタ以外は使用しないでください。また、付属の電源アダプタは他の製品に使用しないでください。

5 電源アダプタ（電源プラグ）を壁などの電源コンセントに接続する

本商品前面のランプが一度全点灯します。

6 「ひかり電話が利用できます。」と音声ガイダンスが流れ、ひかり電話ランプが緑点灯することを確認する

ひかり電話ランプが緑点灯して、ひかり電話の設定が完了します。
電話機が使えることを確認してください。（「3-1　ひかり電話の使いかた」（☛3-2ページ））
※ひかり電話サービス契約がお済みでない場合は、ひかり電話ランプは消灯のままとなります。

最新のファームウェアが公開されている場合は、本商品の電源を入れると自動的にバージョンアップを行います。
バージョンアップ中は本商品の電源を切らないでください。
（詳しくは「9-2　バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする」（☛9-3ページ）を参照してください。）

お知らせ

- 「Web設定」の［詳細設定］－［内蔵スピーカ音量設定］で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。
- 使用する機器や設置する場所などの使用状況に合わせる必要があるため、接続図と異なる場合があります。
- ご使用になる電話機は電気通信端末機器適合マーク「Ⓣ」または「㋢」がついているものをご使用ください。
- ホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などはご利用になれません。
- 電話機ポートには、電話機を並列接続しないでください。
- お客様でLANケーブルをご用意いただく場合、LANポートで1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは1Gbps（1000Mbps）に対応したLANケーブルをご用意ください。1Gbps（1000Mbps）に対応していないLANケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。
- パソコンの電源を入れ、本商品背面のパソコンを接続したLANポートのLINKランプが緑点灯することを確認してください。
- ひかり電話の設定が完了すると本商品前面の電源ランプ、ひかり電話ランプ、ACTランプ、登録ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。
  ランプの状態が異なる場合は、本書の「10章　故障かな？と思ったら」（☛10-1ページ）をご覧ください。

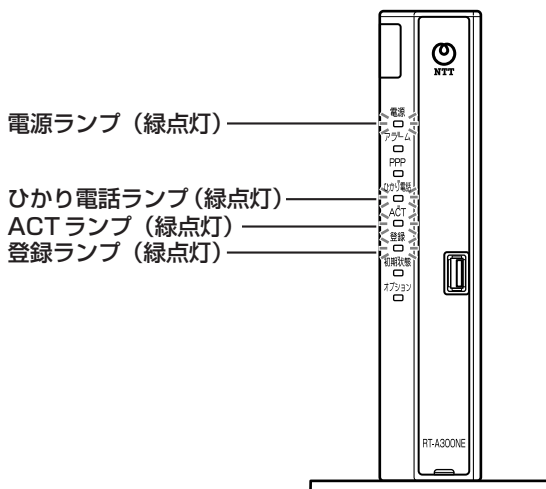
3 ひかり電話の使いかた

ひかり電話をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

※本章にてご案内する各機能や設定をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

3-1 ひかり電話の使いかた

■ランプの確認

本商品のランプ表示が下記のようになっていることを確認してください。

ご注意

本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話のご利用はできません。

※ RT-A300NE（本体が黒色）の場合を例に説明しています。
　デザインがイラストと異なる場合があります。

※ 節電機能動作時は、アラームランプ、PPP ランプ、ひかり電話ランプ、登録ランプ、初期状態ランプ、オプションランプが消灯します。節電機能の詳細については、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」－［高度な設定］－［節電機能］を参照してください。

電話のかけかた

①本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していることを確認します。
②ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
③相手の電話番号をダイヤルします。
　通常どおり電話番号をダイヤルすると発信します。
④通話が終わったらハンドセットを置きます。

●指定着信番号を指定して電話をかけるには

相手の方が指定着信番号を設定している場合は、手順③で相手の方の電話番号をダイヤルしたあとに、㊀、指定着信番号（最大 19 桁）をダイヤルします。

指定着信番号の設定方法については、「指定着信機能」（☛3-16 ページ）を参照してください。

お知らせ

- 本商品前面のひかり電話ランプが消灯している場合は、ひかり電話がご利用になれません。（「10章　故障かな？と思ったら」（☛10-1ページ）を参照してください。）
- 本商品に接続した電話機のACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能がオンの場合、ひかり電話が発信できない場合があります。ACR機能・LCR機能または0036、0039など付与機能をオフにしてご利用ください。（設定方法などはお使いの電話機の取扱説明書などをご確認ください。）
- お使いになっている電話機の環境やオンフックダイヤル（ハンドセットを置いたままダイヤルする機能）を用いるなどの操作方法によっては、ダイヤルする際に正しく発信できないことがあります。
- 最後の番号を押してから少したつと、電話番号の終了と判断し発信します。すぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
- 指定着信番号を指定して電話をかける場合や、番号に続けて「#」（シャープ）を押して発信する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。
  「PB」にできない電話機からは、これらの機能をご利用になれません。電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 通話切断後、続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを置いて2秒以上待ってください。再度ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認してから、ダイヤルしてください。
- 左記手順②で「ツー」という音のかわりに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえた場合は、最新のファームウェアが公開されています。「＊＊＊11」をダイヤルして本商品のバージョンアップを行ってください。（詳しくは「9章　本商品のバージョンアップ」（☛9-1ページ）を参照してください。）

電話の受けかた

①相手から電話がかかってくると着信音が鳴りますので、ハンドセットを取りあげて通話します。

②通話が終わったらハンドセットを置きます。

お知らせ

- 「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定、電話機からの設定により、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用後一定時間たってから、設定を行ってください。

ひかり電話で発着信できるサービス

ひかり電話では、以下の電話サービスとの発着信が可能です。

・NTT 東日本／西日本の加入電話および ISDN
・国際電話（世界約 200 の国と地域）
・携帯電話、PHS
・IP 電話サービス（050IP 電話サービス）
・他社の提供する 0AB ～ J 電話サービス

接続可否番号一覧

ひかり電話で接続できる番号は以下のとおりです。（2012 年 11 月現在）

電話番号	サービス名など	接続可否
0120	フリーアクセス／フリーダイヤルなど ※1	○
0170	伝言ダイヤル	×
0180	テレゴング／データドーム	×
0180	テレドーム	○
0570	ナビダイヤル	○ ※2
0800	フリーアクセスなど ※1	○
0910	公専接続	×
0990	ダイヤルQ2	×
0990	義援金募集番組 ※3	○
010	国際通話 ※4	○
020	ポケベルなど	○ ※8
050	IP電話	○
070	PHS ※5	○
080	携帯電話	○
090	携帯電話	○
100	100番通話 ※6	×
104	番号案内 ※7	○
106	コレクトコール（コミュニケータ扱い）※6	×
108	自動コレクトコール ※6	×
110	警察（緊急通報）	○
113	故障受付	○
114	お話し中調べ	×
115	電報受付	○
116	営業受付	○

電話番号	サービス名など	接続可否
117	時報	○
118	海上保安（緊急通報）	○
119	消防（緊急通報）	○
134	ダイヤルQ2パスワード	×
135	特定番号通知機能	○
136	ナンバー・アナウンス／ナンバーお知らせ136	×
141	でんわばん／二重番号サービス	×
142	ボイスワープ	○
144	迷惑電話おことわりサービス	○
145	キャッチホンⅡ	×
146	キャッチホンⅡ	×
147	ボイスワープ（ボイスワープセレクト機能）	○
148	ナンバー・リクエスト	○
151	メンバーズネット	×
152	メンバーズネット	×
159	空いたらお知らせ159	×
161	ファクシミリ通信網	×
162	ファクシミリ通信網	×
165	メール送受信	×
171	災害用伝言ダイヤル	○
177	天気予報	○
184	発信者番号非通知	○
186	発信者番号通知	○

※1 フリーダイヤルなどのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※2 NTTコミュニケーションズ株式会社が提供する「ナビダイヤル」のみ接続できます。ただし、ナビダイヤルのご契約者がひかり電話を着信させない契約内容にしている場合、接続できません。
※3 大規模災害発生時に株式会社テレビ朝日が提供する「テレビ朝日ドラえもん募金」、株式会社東京放送ホールディングスが提供する「JNN・JRN共同災害募金」、株式会社フジテレビジョンが提供する「FNSチャリティキャンペーン」をご利用いただけます。
　*「ドラえもん」は株式会社小学館集英社プロダクションの登録商標です。
　*「JNN」「JRN」は株式会社東京放送ホールディングスの登録商標です。
　*「FNS」は株式会社フジテレビジョンの登録商標です。
※4 国際フリーダイヤルなど（「010-800」などで始まる番号）には接続できません。
※5 発信先（相手側）のPHS 端末が圏外、または電源が入っていない場合は、その旨をお知らせするガイダンスではなく、話中音が聞こえます。
※6 「100 番通話（100）」、「コレクトコール（106・108）」は、着信もご利用いただけません。
※7 ひかり電話から発信した場合、DIAL104 サービス（案内された電話番号にそのまま接続できるサービス）はご利用いただけません。
なお、加入電話・ISDN から発信して、DIAL104 サービスにて案内された番号がひかり電話の場合は着信可能です。
※8 東京テレメッセージ株式会社が提供する020番号を用いたサービス（無線呼出し）にのみ接続可能です。

ひかり電話で以下の操作はできません
・電気通信事業者を指定した発信（0036 など番号の頭に「00XY」を付与する番号）

通信機器の種類によっては、ひかり電話の付加サービスをご利用いただけない、または設定の変更が必要となる場合があります。
「#ABCD」（#+4桁の番号サービス）は、フレッツ 光ライトおよびフレッツ 光ネクストでご利用のひかり電話から接続できます。
Bフレッツでご利用のひかり電話については、接続が可能となるよう順次対応しております。

内線通話

他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線IP端末など、LANポートに接続されたIP端末などを呼び出して、通話することができます。

①ハンドセットを取りあげ、「ツー」という音を確認します。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-23ページ、IP端末 ☛3-26ページ）
③通話が終わったら、ハンドセットを置きます。

内線転送

外の相手との電話を他の電話機ポートに接続された電話機、ひかり電話用無線IP端末など、LANポートに接続されたIP端末などに取りつぎます。

①通話中の外の相手の方に待っていただくように伝え、フッキングします。
②呼び出す電話機などの内線番号（「1～9」、「10～99」の1～2桁）をダイヤルします。
　※内線番号は変更できます。（アナログ端末 ☛3-23ページ、IP端末 ☛3-26ページ）
③呼び出された方が応答したら、転送することを伝えます。
④ハンドセットを置いて転送を実行します。

お知らせ

●同時に利用できる内線通話・内線転送はどちらか1通話です。
●内線番号を押してすぐに発信させたい場合は、番号に続けて「#」（シャープ）を押してください。
●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
●フッキングとは
　電話機のフックスイッチを押すことです。1秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレス電話機や多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

●ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

3-2 ひかり電話の付加サービスを利用する

キャッチホン

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。ご使用になるには事前にキャッチホンのご契約が必要となります。

1 お話し中に「プップッ･･･」という割込音が聞こえる

2 相手の方に伝え、フッキングする

最初に話していた方との通話は保留されます。

3 あとからかけてきた方とお話しする

最初に話していた方には保留音が流れます。

4 通話終了後にハンドセットを置く

着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげて最初に話していた方とお話しをしてください。

※フッキングでも切り替えができます。

■キャッチホンサービスおよび通話中の着信について

ご契約の有無	着信者側	発信者側
キャッチホンのご契約がある場合	上記のキャッチホン動作をします。（注１）	呼び出し音が聞こえます。
キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネル（☛3-9ページ）の両方のご契約がある場合	２チャネルとも通話中のとき、上記のキャッチホン動作をします。（注１） なお、１チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※１）してください。（注２）	呼び出し音が聞こえます。（注３）
ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がある場合	１チャネルのみ通話中の状態で、新たにかかってきた電話を通話中端末で出たい場合は、割込音通知を「使用する」に設定（※１）してください。（注２）	呼び出し音が聞こえます。（注３）
キャッチホン、ダブルチャネル／複数チャネルのご契約がない場合	通話中の通話を継続します。（注４）	お話し中音が聞こえます。（注４）

（※１）割込音通知は、パソコンまたは電話機から設定できます。
（パソコンから設定 ☛3-24 ページ、電話機から設定 ☛3-31 ページ）

（注１）キャッチホン契約の場合、「割込音通知」設定にかかわらず、キャッチホンの「プップッ…」という割込音が聞こえます。

（注２）１チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきた場合、本商品に接続された別の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。

（注３）１チャネルのみ通話中の状態で、新たに電話がかかってきて、本商品に接続された別の電話機で着信しないとき、お話し中の電話機が割込音通知を「使用しない」に設定されていると、発信者側にお話し中音が聞こえます。

（注４）内線で通話中の場合は、お話し中の電話機が割込音通知を「使用する」に設定されていると、「プップッ…」という割込音が聞こえます。このとき、発信者側には呼び出し音が聞こえます。

お知らせ

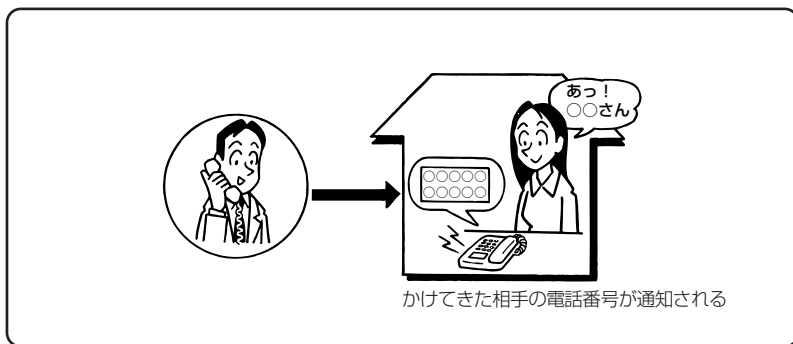
●キャッチホンをご利用いただくにはキャッチホンのご契約が必要です。
●ひかり電話をBフレッツでご利用の場合は、キャッチホンとダブルチャネル／複数チャネルのサービスを同時にご契約いただくことはできない場合があります。
●キャッチホンやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置くと、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
●フッキングとは
電話機のフックスイッチを押すことです。1 秒以上押し続けると電話が切れることがあります。コードレス電話機や多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。

フックスイッチ

●ファクス通信中はキャッチホンの動作はしません。ファクス通信中に着信があった場合、発信側にはお話し中音が聞こえます。
●ダブルチャネル／複数チャネルで割込音通知を「使用する」に設定していても、ファクス通信中の電話機には割込音通知は動作しません。
別の電話機で着信しない場合、発信者側にはお話し中音が聞こえます。

ナンバー・ディスプレイ

着信があった場合、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前にナンバー・ディスプレイのご契約と下記の設定が必要になります。

かけてきた相手の電話番号が通知される

●必要な設定

①本商品にナンバー・ディスプレイを使用する設定を行います。
（パソコンから設定 ☛3-24 ページ、電話機から設定 ☛3-31 ページ）
※初期値は「使用する」に設定されています。ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用しない」に設定してください。
②電話機ポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機を接続します。
③接続した電話機のナンバー・ディスプレイの設定を行います。

 お知らせ

●ナンバー・ディスプレイの機能をご利用になるには、iD マーク、ciD マーク、NiD マークのついたナンバー・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●ナンバー・ディスプレイサービスをご利用になる場合は、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。
●電話機によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
●電話機の表示内容は、お使いの機器によって異なります。

発信者情報（番号）の通知について

発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号を通知する機能です。
発信者情報（番号）を通知するかどうかは、以下のような条件になります。

●発信時のダイヤル操作
相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）をつけて、通知するかしないかを通話ごとに指定できます。
●ひかり電話ご契約時の内容
ひかり電話のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

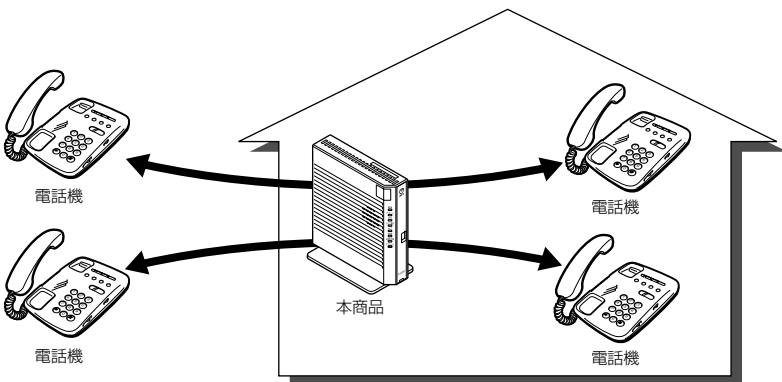
ご契約	ダイヤル操作		
	相手先電話番号（通常の操作）	184+相手先電話番号	186+相手先電話番号
通常通知（通話ごと非通知）	○	×	○
通常非通知（回線ごと非通知）	×	×	○

○：通知する　×：通知しない

お知らせ

●指定着信機能を指定したポートの電話機から発信しても、相手先に指定着信番号は通知されません。

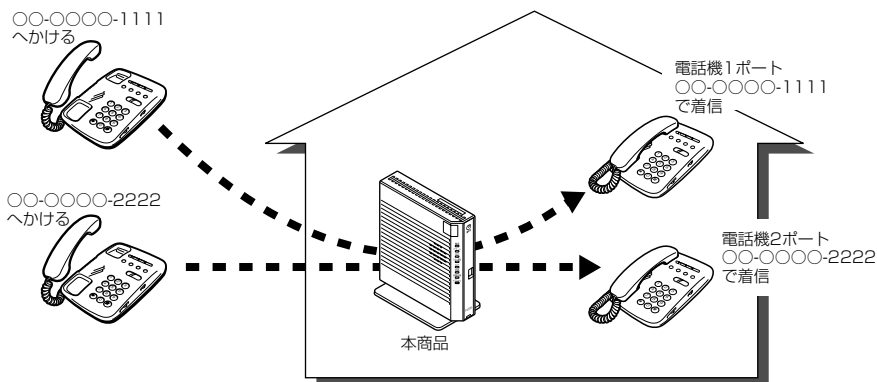
ダブルチャネル／複数チャネルを利用する

1台の電話でお話し中の場合でも本商品に接続された別の電話機で通話することができます。
ご使用になるには事前にダブルチャネル／複数チャネルのご契約が必要となります。
※お話し中の電話機でも、かかってきた電話に出ることができます。
「■キャッチホンサービスおよび通話中の着信について」（☛3-6ページ）をご覧ください。

3 ひかり電話の使いかた

マイナンバー／追加番号を利用する

本商品に接続された電話機を別々の電話番号で受けたいときなど、複数の電話番号を持つことができます。

ご使用になるには事前にマイナンバー／追加番号のご契約が必要となります。

※鳴り分け（☛3-36 ページ）にはパソコンまたは電話機からの設定が必要です。
（パソコンから設定（☛3-25 ページ）、電話機から設定（☛3-31、3-32 ページ））

3-3 ひかり電話のいろいろな使いかた

内線番号設定

使用する内線番号を「1～9」、「10～99」の1～2桁で設定できます。
内線番号の初期値は、次のとおり設定されています。
<初期値>

内線番号	内線設定画面
1～2	アナログ端末
3～7	IP端末

●設定方法

① 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］―［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③ ［内線設定］画面で設定する
（アナログ端末 ☛3-23ページ、IP端末 ☛3-26ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-32ページ）

お知らせ

●本商品に接続可能な端末は最大7台までですので、同時に使用できる内線番号は最大7つまでです。

ひかり電話の電話番号

ご契約のひかり電話の契約者回線番号および、追加した電話番号を確認できます。

●確認方法

① 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］―［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③ ［内線設定］画面の［電話番号設定］で確認する
（アナログ端末 ☛3-24ページ、IP端末 ☛3-27ページ）

キャッチホン・ディスプレイ

お話し中に着信があった場合、発信者の電話番号をキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
あとからかけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。
ご使用になるには事前に下記のご契約と設定が必要になります。

	必要なご契約	必要な設定
ナンバー・ディスプレイとキャッチホンを組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・キャッチホン	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-24 ページ、電話機から設定 ☛3-31 ページ）
ナンバー・ディスプレイと割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル	・ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイを「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-24 ページ、電話機から設定 ☛3-31 ページ） ・割込音通知を「使用する」に設定する（パソコンから設定 ☛3-24 ページ、電話機から設定 ☛3-31 ページ）
ナンバー・ディスプレイとキャッチホン、割込音通知を組み合わせてご利用になる場合	・ナンバー・ディスプレイ ・ダブルチャネル／複数チャネル ・キャッチホン	

※ナンバー・ディスプレイ、割込音通知の初期値は「使用する」に設定されています。キャッチホン・ディスプレイの初期値は「使用しない」に設定されています。

お知らせ

●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、iD マークのついたキャッチホン・ディスプレイ対応の電話機が必要です。
●キャッチホン・ディスプレイの機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイとキャッチホン・ディスプレイの両方を「使用する」に設定してください。
ナンバー・ディスプレイが「使用しない」になっているとご利用になれません。

割込音通知

ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中や、内線通話中に、かかってきた電話に出ることができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［ひかり電話設定］－［割込音通知］で設定する
（アナログ端末 ☛3-24 ページ）
設定は電話機からも行えます。（☛3-31 ページ）

お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。

個別着信

内線番号ごとに着信する電話番号を設定することができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信番号］で設定する
（アナログ端末 ☛3-25 ページ、IP 端末 ☛3-27 ページ）
設定は電話機からも行えます。（☛3-31 ページ）

一斉着信

1 つのひかり電話の電話番号にすべての内線番号で着信するように設定できます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信番号］で着信する電話番号にチェックする（アナログ端末 ☛3-25 ページ、IP 端末 ☛3-27 ページ）
④ 着信させたいすべての内線番号について手順②、③を繰り返して同様に設定する

設定は電話機からも行えます。（☛3-31 ページ）

着信鳴り分け

内線用と外線用で着信音を変えたい場合や電話番号によって着信音を変えたい場合に着信音を変更することができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［電話番号設定］－［着信音選択］で着信音を選択する（アナログ端末 ☛3-25 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-32 ページ）

お知らせ

●着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

モデムダイヤルイン

モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1 台の電話機で複数の電話番号を使い分けることができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する
② 編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする
③［内線設定］画面の［ひかり電話設定］－［モデムダイヤルイン］で設定する（アナログ端末 ☛3-24 ページ）

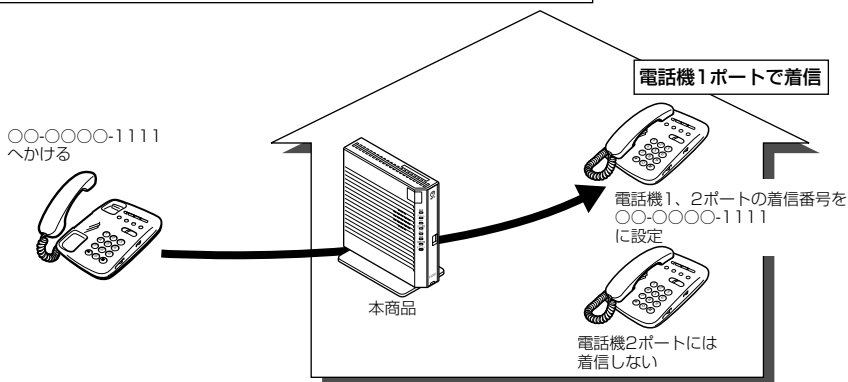
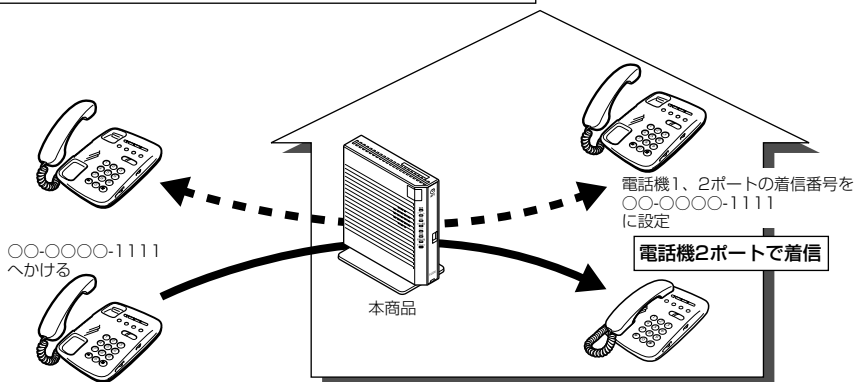
設定は電話機からも行えます。（☛3-31 ページ）

お知らせ

●モデムダイヤルイン対応の電話機などが必要です。操作方法は、ご利用される機器の取扱説明書などをご参照ください。
●アナログ端末のみで利用できる機能です。

優先着信ポート

本商品の２つの電話機ポートにそれぞれアナログ端末を接続している場合、優先して着信する電話機ポートを設定することができます。
優先着信ポートをご利用になる場合、IP 端末はご利用になれません。

【電話機１ポートを優先着信ポートに設定した場合】

※ダブルチャネル／複数チャネルをご利用の場合、電話機１ポートが通話中にかかってきた電話は、電話機２ポートにのみ着信します。
※キャッチホンサービスをご利用の場合は、電話機１ポートが通話中であっても電話機２ポートには着信しません。通話中の電話機１ポートにキャッチホンの「プップッ・・・」という割込音が聞こえます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する

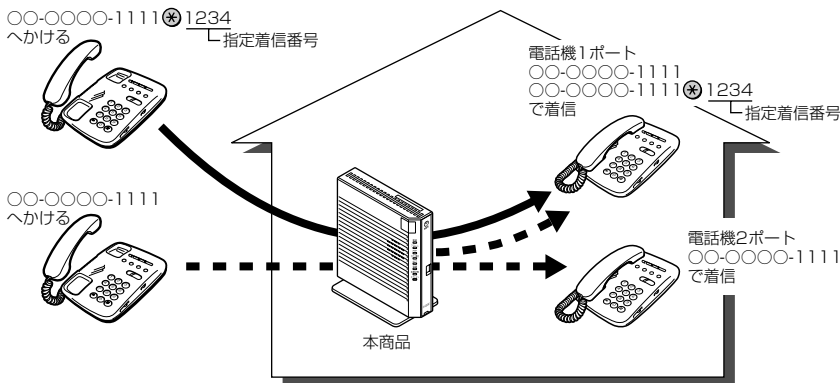
②［優先着信ポート］で優先する電話機ポートを選択する（☛3-20 ページ）

設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）

お知らせ

- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、電話機 1、2 ポートを無効に設定できません。電話機 1、2 ポートを無効に設定する場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、優先着信ポートと指定着信機能を合わせてご利用になるには、先に指定着信機能の設定を行ってください。指定着信機能の設定では、「指定なし着信」にチェックしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、IP 端末はご利用になれません。IP 端末をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。
- ●優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知はご利用になれません。割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

指定着信機能

指定着信機能を利用すると、相手の方が電話をかけるとき、電話番号に続けて指定着信番号をダイヤルすることにより、特定のアナログポートに接続された端末を呼び出すことができます。

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する

②編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする

③［内線設定］画面の［電話番号設定］で指定着信機能を使用する電話番号の［指定着信機能］－［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に使用する指定着信番号を入力する（☛3-25 ページ）

④指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、［指定なし着信］にチェックする

設定は電話機からも行えます。（☛3-31 ページ）

お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。

●指定着信番号で着信した場合には、キャッチホン（☛3-6 ページ）はご利用いただけません。

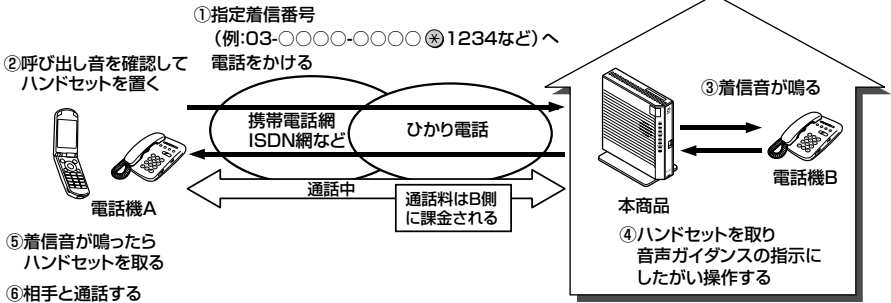
●マイナンバー／追加番号をご利用の場合でも、指定着信機能をご利用いただける番号は 1 つだけです。

●指定着信番号は 0 ～ 9 の任意の数字で、最大 19 桁となります。

●指定着信番号が発信可能な電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話となります。なお、携帯電話からの指定着信番号発信の可否は、各事業者により異なります。

●ひかり電話から指定着信番号を発信した場合は、ひかり電話以外の回線や NTT 東日本のひかり電話提供エリア外へ指定着信させることはできません。

コールバック機能

あらかじめ本商品に登録した電話番号から着信した場合に、コールバックの操作を行うことで、着信した番号へ本商品から発信し直す機能です。

●利用手順

①本商品に登録してある電話番号（電話機 A）から本商品に登録されている電話番号＋指定着信番号（例： 03 －○○○○ー○○○○㊀ 1234 など）をダイヤルする
②呼び出し音が聞こえたら電話機 A のハンドセットを置く
③指定着信機能が設定されている電話機（電話機 B）の着信音が鳴る
※このときナンバーディスプレイには「0」が表示されます。
④電話機 B のハンドセットを取りあげて音声ガイダンスの指示にしたがい操作する
※ハンドセットを取りあげると「コールバック対象着信がありました。許可する場合はシャープを、許可しない場合はそのままお切りください。」と音声ガイダンスが流れます。
⑤電話機 A の着信音が鳴るので、ハンドセットを取りあげる
⑥相手の方とお話しする

●設定方法

①「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する
②［コールバック機能］の［使用する］にチェックを入れる
③［OK］をクリックする
④［設定］をクリックする
⑤［コールバック着信許可番号］の［編集］をクリックする
⑥コールバック着信許可番号を設定する
設定は電話機からも行えます。（☛3-30 ページ）

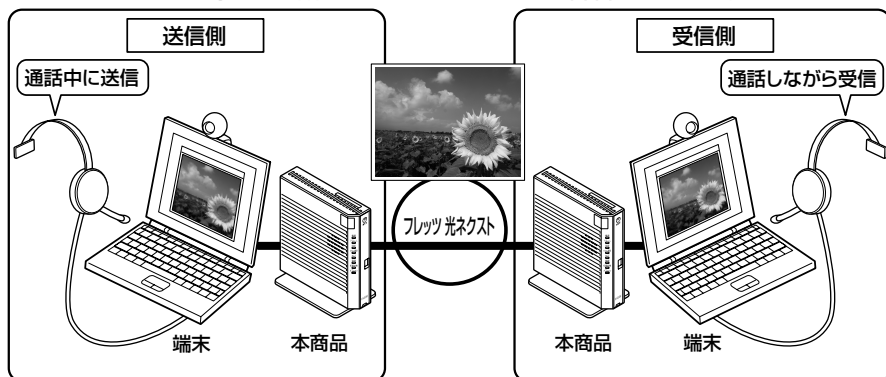
お知らせ

●アナログ端末のみで利用できる機能です。
●コールバック機能をご利用になるには、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。（☛3-8 ページ）
●コールバック機能をご利用になるには、指定着信機能を「使用する」に設定する必要があります。（☛3-16 ページ）
●コールバック機能をご利用になるには、指定着信番号をダイヤルして発信することができる電話回線が必要です。
指定着信番号をダイヤルして発信することができる電話回線は、ISDN、ひかり電話、携帯電話です。なお携帯電話から指定着信番号付きの発信が可能かどうかは、携帯電話事業者により異なります。
●コールバック機能をご利用になるには、発信者側の携帯電話などの発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法は、ご利用になる機器の取扱説明書などをご参照ください。
●コールバック機能をご利用になるには、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」に設定できない電話機からは、ご利用になれません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。

通話中の相手先からのメディア変更機能

フレッツ 光ネクストのひかり電話同士で、本商品に接続された端末を用いて通話している場合には、通話しながら専用の帯域を確保して、画像ファイルなどさまざまな形式のデータを送受信できるようになっています。（端末側でデータの送受信機能に対応している必要があります。）

このお客様がひかり電話同士で通話中に、各種データ送受信を開始する処理のことを、「メディア変更」と呼びます。
本機能では、通話相手からメディア変更の要求を受けたときにそれを許容するか・許容しないかを設定することができます。また、メディア変更を許容しないに設定した場合でも、あらかじめ登録した電話番号は、メディア変更を許容するように設定できます。

●設定方法

①「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［ひかり電話共通設定］を選択する
②「メディア変更機能」のプルダウンから、下記のいずれかを選択する
・常に許容する：自分が発信者／着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます
・発信時のみ許容しない：自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します
・常に許容しない：自分が発信者／受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します
③［設定］をクリックする
④「メディア変更を許容する電話番号」の［編集］をクリックする
※手順②で「常に許容する」を選択している場合は、［編集］は使用できません。
⑤データの受信を許容する電話番号を設定する

お知らせ

●あらかじめ登録した電話番号に対するメディア変更を許容するためには、ナンバー・ディスプレイサービスのご契約が必要です。（☛3-8ページ）
●「メディア変更を許容する電話番号」に登録した電話番号からメディア変更機能をご利用になる場合は、発信者側の発信者番号を「通知する」に設定してください。設定方法は、ご利用になる機器の取扱説明書などをご覧ください。
●通話中の相手からのメディア変更を許容する場合、別途通話料がかかることがあります。

3-4 パソコンからひかり電話の設定をする

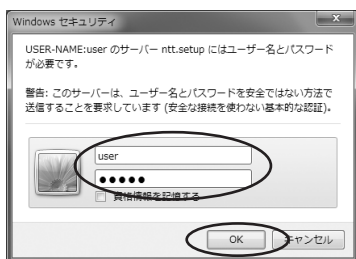
ひかり電話の設定は、パソコンまたは電話機で行います。パソコンで設定する場合は、本商品に接続されたパソコンのWebブラウザで本商品の「Web設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時))を開き、メニューの[電話設定]－[ひかり電話共通設定]、または[内線設定]から行います。

ひかり電話の設定を変更しない場合は、設定の必要はありません。

※初めて本商品の「Web設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時))を開いた場合は、本商品の初期設定を行ってください。(☛4-8ページ)

■ [ひかり電話共通設定]画面で設定する

1. Webブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時)と入力し、「Web設定」ページを開く

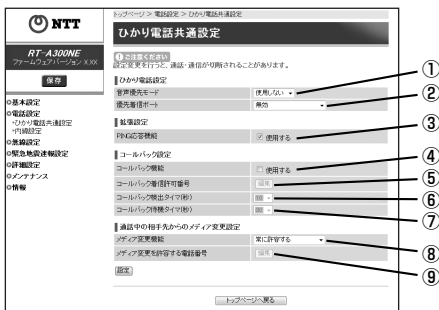
2. ユーザー名に「user」を、パスワードに「4-3 本商品の設定をする」(☛4-8ページ)手順2で入力した機器設定用パスワードを入力し[OK]をクリックする

!

認証に失敗すると、下記の画面が表示されます。[トップページへ戻る]をクリックし、再度ユーザー名、パスワードを入力してください。

※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

3. メニューの[電話設定]－[ひかり電話共通設定]を選択する

(次ページに続く)

4 [ひかり電話共通設定] 画面で設定する

【ひかり電話設定】

①音声優先モード

インターネットとひかり電話を同時にご使用になっている場合に、音声品質を改善するため音声パケットを優先的に送出する設定をします。

※マンションタイプ（VDSL 方式）でご利用いただく場合のみ音声品質が改善する場合があります。
また、音声パケットの優先処理に伴い、データ通信速度が低下する場合があります。

・「使用しない」　音声優先制御を行いません。
・「優先」　音声パケットを優先処理します。
・「最優先」　音声パケットを最優先で処理します。

（初期値：使用しない）

②優先着信ポート

優先的に着信する電話機ポートを選択します。

・「アナログ端末（電話機 1）」　電話機 1 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
・「アナログ端末（電話機 2）」　電話機 2 ポートに接続したアナログ端末を優先的に呼び出します。
・「無効」　優先着信を行いません。

（初期値：無効）

※優先着信ポートを設定する場合は［内線設定］画面で次の設定が必要です。

・「Web 設定」の［電話設定］－［内線設定］の［内線番号エントリ］で［アナログ端末（電話機 1)］と［アナログ端末（電話機 2)］の［利用有無］にチェックしてください。(☛3-22 ページ)
・「Web 設定」の［電話設定］－［内線設定］の［内線番号エントリ］で［IP 端末 1］～［IP 端末 5］の［利用有無］のチェックをすべて外してください。(☛3-22 ページ)
・「Web 設定」の［電話設定］－［内線設定（アナログ端末)］の［アナログ端末（電話機 1)］と［アナログ端末（電話機 2)］で同一の着信番号を 1 つ以上選択し、［割込音通知］を「使用しない」に設定してください。(☛3-24 ページ)

【拡張設定】

③ PING 応答機能

ひかり電話網からの PING に応答する機能を使用する場合にチェックします。

（初期値：使用する）

【コールバック設定】

④コールバック機能	コールバック機能を使用する場合にチェックします。指定着信機能を「使用する」に設定している場合のみ設定できます。 ※設定後、［OK］、［設定］をクリックしてください。 （初期値：使用しない）
⑤コールバック着信許可番号	コールバックの着信を許可する番号を設定します。 ［編集］をクリックしてください。
⑥コールバック検出タイマ（秒）	本商品に着信したときに、コールバック着信から通常の着信に切り替わるまでの時間を設定します。 発信者側から本商品に電話をかけて、設定した時間内にハンドセットを置いた場合に、コールバック機能が起動します。 「5」「10」「30」秒から選択します。 （初期値 10 秒）
⑦コールバック待機タイマ（秒）	本商品で指定着信番号を設定した電話機を呼び出す時間を設定します。コールバック機能が起動すると電話機が鳴り始めます。設定した時間内にこの電話機のハンドセットを取りあげると、「コールバック対象着信がありました。許可する場合はシャープを、許可しない場合はそのままお切りください。」と音声ガイダンスが流れます。 「15」「30」「60」秒から選択します。 （初期値 30 秒）

【通話中の相手先からのメディア変更設定】

※Ｂフレッツをご利用の場合、「通話中の相手先からのメディア変更設定」は表示されない場合があります。

⑧メディア変更機能	通話中の相手からのデータ受信の可否を選択します。 ・常に許容する： 自分が発信者／着信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を受け付けます ・発信時のみ許容しない： 自分が発信者の場合は通話中の相手からのデータの受信を拒否します ・常に許容しない： 自分が発信者／受信者いずれでも、通話中の相手からのデータの受信を拒否します ※選択後、［設定］をクリックしてください。 （初期値：常に許容する）
⑨メディア変更を許容する電話番号	データの受信を許容する電話番号を設定します。 ※［メディア変更機能］を「常に許容する」に設定している場合は設定ができません。

5 **［設定］をクリックする**

6 **［保存］をクリックする**

■［内線設定］画面で設定する

1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開き、メニューの［電話設定］－［内線設定］を選択する

2 ［内線番号エントリ］の中から編集する内線番号の行末の［編集］をクリックする

内線番号を有効にするには、［内線番号エントリ］で使用する内線番号の［利用有無］にチェックして、［設定］をクリックします。同時に使用できる内線番号は最大 7 つまでです。

※初期値は下記の内線番号でアナログ端末／ IP 端末の内線設定画面が割り当てられています。内線番号は、内線設定画面で設定した番号に変わります。

＜初期値＞

内線番号	内線設定画面
1 ～ 2	アナログ端末
3 ～ 7	IP 端末

＜「アナログ端末」の内線番号を選択した場合＞

［内線設定（アナログ端末）］の編集画面で、編集・設定します。（☛3-23 ページ）

＜「IP 端末」の内線番号を選択した場合＞

［内線設定（IP 端末）］の編集画面で、編集・設定します。（☛3-26 ページ）

3 ［内線設定］画面で設定する

【内線設定（アナログ端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、画面左上の［編集する内線番号］で内線番号を選択し、［選択］をクリックします。画面表示が切り替わり、続けて設定できます。

【内線設定】

①内線番号　　内線番号を入力します。
「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁を設定できます。
※重複した内線番号は設定できません。
（初期値：下記の表を参照）

②ニックネーム　　ニックネームを入力します。
キーボードから入力可能な文字で、全角または半角で最大 64 文字まで入力できます。
（初期値：下記の表を参照）

＜初期値＞

内線番号	ニックネーム
1	アナログ端末（電話機 1 ）
2	アナログ端末（電話機 2 ）

（次ページに続く）

【ひかり電話設定】

③ナンバー・ディスプレイ	ナンバー・ディスプレイを使用する場合にチェックします。 （ナンバー・ディスプレイについては ☛3-8 ページ ） （初期値：使用する） ※ナンバー・ディスプレイをご契約でない場合やナンバー・ディスプレイに対応していない電話機を接続する場合は「使用する」のチェックを外してください。
④キャッチホン・ディスプレイ	キャッチホン・ディスプレイを使用する場合にチェックします。 ナンバー・ディスプレイを「使用する」に設定している場合のみ設定できます。 （キャッチホン・ディスプレイについては ☛3-12 ページ） （初期値：使用しない）
⑤モデムダイヤルイン	モデムダイヤルインを使用する場合にチェックします。 （初期値：使用しない）（☛3-13 ページ）
⑥割込音通知	ダブルチャネル／複数チャネルでのお話し中の電話機や、内線通話中の電話機に、電話がかかってきたことを通知する割込音を使用する場合にチェックします。 （ダブルチャネル／複数チャネルについては ☛3-9 ページ） （初期値：使用する）
⑦ダイヤル桁間タイマ（秒）	電話機からのダイヤルを受け付ける間隔を設定します。設定できる値は「4 ～ 8」（秒）です。ダイヤル桁間タイマの設定値を長めに設定すると、電話機からダイヤル操作を行った際に発信するまでの時間が長くなります。 （初期値： 4 秒）
⑧エコーキャンセラ	エコーやハウリングを防止する機能を使用する場合にチェックします。 （初期値：使用する）

【電話番号設定】

⑨電話番号	ご契約された電話番号（外線）が表示されます。
⑩通知番号	発信時、電話をかけた相手先に通知する発信者番号にチェックします。 ※［通知番号］に設定した電話番号は［着信番号］に設定されます。 ※［通知番号］に設定した電話番号に［指定着信機能］を設定しても相手先に［指定着信番号］は通知されません。 （初期値：契約者回線番号）

⑪着信番号	各電話番号あてにかかってきた電話を着信させる場合にチェックします。着信番号は複数選択できます。 （初期値：すべての電話番号）
⑫指定着信機能	指定着信機能を使用する場合は、指定着信機能を使用する電話番号の［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に使用する指定着信番号を入力します。（1 〜 19 桁の数字を入力してください。）指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は［指定なし着信］にチェックします。 ※指定着信機能は電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。他のポートや電話番号で指定着信機能を使用する場合は、いったん［使用する］のチェックを外してください。 （初期値：使用しない）
⑬着信音選択	電話番号ごとに着信音を設定できます。「IR」「SIR」から選択します。 ・「IR」 着信音が「1 秒あり＋2 秒なし」を繰り返します。（「プルルルー、プルルルー・・・」と鳴動します。） ・「SIR」 着信音が「0.3 秒あり＋0.3 秒なし＋0.3 秒あり＋2.1 秒なし」を繰り返します。 （「プルルッ、プルルッ・・・」と鳴動します。） （初期値：外線用「IR」、内線用「SIR」）

お知らせ

- 着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。
- 着信音「IR」「SIR」で実際に鳴る音は、接続する電話機の仕様に依存します。

【内線設定（IP 端末）】

※複数の内線番号を編集する場合は、 画面左上の［編集する内線番号］で内線番号を選択し、［選択］をクリックします。画面表示が切り替わり、続けて設定できます。

①内線番号	内線番号を入力します。 「1 ～ 9」、「10 ～ 99」の 1 ～ 2 桁を設定できます。 ※重複した内線番号は設定できません。 （初期値：次ページの表を参照）
②ニックネーム	ニックネームを入力します。 キーボードから入力可能な文字で、全角または半角で最大 64 文字まで入力できます。 （初期値：次ページの表を参照）
③端末属性	端末属性を「音声専用端末」、「通常端末」から選択します。 ※接続した端末の機能と異なる設定をした場合、正しく動作しません。接続した端末の機能に合わせて設定してください。 （初期値：通常端末）
④ MAC アドレス	IP 端末の MAC アドレスを入力します。 （初期値：空欄）
⑤ダイジェスト認証	IP 端末とのダイジェスト認証を行うかどうか選択します。 （初期値：行う）
⑥ユーザ ID	任意のユーザ ID を入力します。 使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大 32 文字です。 ※ここで設定したユーザ ID と同じユーザ ID を、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。IP 端末によっては、空欄に設定する場合もあります。 （初期値：次ページの表を参照）

⑦パスワード

任意のパスワードを入力します。
使用できるのは、半角英数字と記号（スペース除く）で最大 32 文字です。（入力文字列の前後の半角スペースは除いて設定されます。）
※ここで設定したパスワードと同じパスワードを、接続する IP 端末にも設定します。IP 端末で対応していない記号などを使用すると、接続できませんのでご注意ください。ユーザ ID が空欄の場合は、パスワードは不要です。
（初期値：自動生成（半角８桁））

<初期値>

内線番号	ニックネーム	ユーザ ID
3	IP 端末１	0003
4	IP 端末２	0004
5	IP 端末３	0005
6	IP 端末４	0006
7	IP 端末５	0007

【電話番号設定】

⑧電話番号

ご契約された電話番号（外線）が表示されます。

⑨通知番号

発信時、電話をかけた相手先に通知する発信者番号にチェックします。
※［通知番号］に設定した電話番号は［着信番号］に設定されます。
（初期値：契約者回線番号）

⑩着信番号

各電話番号あてにかかってきた電話を着信させる場合にチェックします。着信番号は複数選択できます。
（初期値：すべての電話番号）

4 **［設定］をクリックする**

5 **［前のページへ戻る］をクリックする**

6 **［内線番号エントリ］で［最新状態に更新］をクリックする**

7 **［内線番号エントリ］で使用する内線番号の「利用有無」にチェックして、［設定］をクリックする**

※最大７つの番号までチェックできます。

8 **［保存］をクリックする**

お知らせ

●本商品に接続する IP 端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP 端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。

3-5 電話機からひかり電話の設定をする

ひかり電話の設定は電話機ポートに接続した電話機から設定することができます。
※無効に設定されている電話機ポートに接続された電話機からは設定できません。

■設定手順

設定手順は次のとおりです。次ページの設定例も参考にしてください。
それぞれの機能を設定する際には「■設定一覧」（☛3-30ページ）を参照してください。

1 ハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

2 電話機のダイヤルボタンで設定項目の番号を押す

設定項目		
＊ ＊ ＊ 9 0	ひかり電話共通設定	➡ 手順４に進む
＊ ＊ ＊ 9 9	内線設定（アナログ端末）	➡ 手順３に進む

設定項目が「ひかり電話共通設定」の場合は、手順４に進みます。

3 設定項目が「内線設定（アナログ端末）」の場合は、「ポート番号」を押す

ポート番号	
1	電話機１
2	電話機２

4 「＊ 機能番号 ＊ 設定値 ＃」と押す

〈ひかり電話共通設定の場合〉

機能番号（例）		設定値（例）	
0 0	音声優先モード	1	使用しない
		2	優先
		3	最優先

〈内線設定（アナログ端末）の場合〉

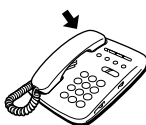
機能番号（例）		設定値（例）	
9 1	ナンバー・ディスプレイ設定	1	使用する
		2	使用しない

※〈内線設定（アナログ端末）の場合〉で複数の設定を行う場合は、手順３に戻って設定します。

※機能番号と設定値については、「■設定一覧」（☛3-30ページ）を参照してください。

5 すべての設定が終わったら、「＃」と押す

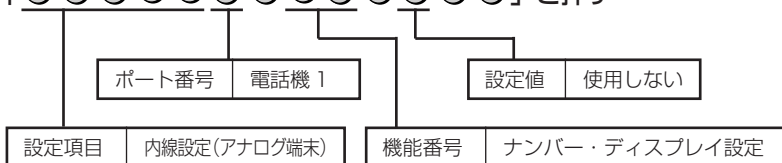
「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、すべての設定値が反映されます。

6 ハンドセットを置く

〈設定例：電話機 1 ポートの電話機を「ナンバー・ディスプレイを使用しない」に設定する〉

1 **ハンドセットを取りあげる**

「ツー」という音を確認します。

2 **電話機のダイヤルボタンを**

「⊛ ⊛ ⊛ ⑨ ⑨ ① ⊛ ⑨ ① ⊛ ② ⊕ ⊕」と押す

設定が終了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 **ハンドセットを置く**

お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。(「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると、「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 設定を間違えた場合や中止した場合は、設定が無効になります。初めから設定をやり直してください。
- 設定する電話機ポートが使用中の場合は、いったん使用が終了したあと、次の発着信から設定が有効になります。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など)、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。

■設定一覧

電話機から設定できるひかり電話の設定は次のとおりです。
「■設定手順」（☛3-28 ページ）を参考に、左から順に操作します。
※ダイヤルボタンを押す間隔が 30 秒以上あくと、設定が中止されます。

【ひかり電話共通設定】（⊛⊛⊛⑨⓪）

※下線 ＿＿＿ は、初期値です。

機能番号	開始操作	⊛	機能番号	⊛	設定値・設定内容	終了操作
00	音声優先モード（☛3-20 ページ）					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪⓪	⊛	①：使用しない ②：優先 ③：最優先	＃＃
01	優先着信ポート（☛3-14 ページ）※ 1 ※ 2					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪①	⊛	①：電話機 1 ポート ②：電話機 2 ポート ③：無効	＃＃
02	アナログポート無効化 ※ 1 ※ 2					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪②	⊛	①：無効 ②：有効	＃＃
	※無効に設定する場合は、電話機 1 ポートから操作すると、電話機 2 ポートが無効に設定されます。電話機 2 ポートから操作すると、電話機 1 ポートが無効に設定されます。 ※有効に設定する場合は、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートのどちらから操作しても、両方の電話機ポートが有効に設定されます。					
03	コールバック機能（☛3-17 ページ）					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪③	⊛	①：使用する ②：使用しない	＃＃
04	コールバック着信許可番号（☛3-17 ページ）					
	⊛⊛⊛⑨⓪	⊛	⓪④	⊛	許可する電話番号	＃＃
	※許可番号の初期化をする場合は、許可する電話番号を⑨⑨に設定します。 ※許可番号の初期化を実施した場合は、［コールバック着信許可番号］に登録されているすべての電話番号がクリアされます。					

※ 1　設定する場合は、3-33 ページの「お知らせ」を参照してください。
※ 2　優先着信ポートとアナログポート無効化は連続して設定できません。

【内線設定（アナログ端末)】(＊ ＊ ＊ ⑨ ⑨)

●「内線設定（アナログ端末)」では、電話機 1 ポート、電話機 2 ポートごとに設定が必要です。
　電話機 1 ポートの設定→ポート番号 ① を押す
　電話機 2 ポートの設定→ポート番号 ② を押す

機能番号	開始操作	ポート番号	＊	機能番号	＊	設定値・設定内容	終了操作
91	ナンバー・ディスプレイ（☛3-8 ページ）						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨①	＊	①：使用する ②：使用しない	＃＃
92	モデムダイヤルイン（☛3-13 ページ）						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨②	＊	①：使用する ②：使用しない	＃＃
93	割込音通知（☛3-12 ページ）※ 1						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨③	＊	①：使用する ②：使用しない	＃＃
94	着信番号（☛3-25 ページ）※ 1						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨④	＊	（着信番号）	＃＃
	※複数の電話番号のうち、着信番号を 1 つの電話番号（通知番号）に設定する場合は、通知番号の設定を先に行ってください。 ※複数の番号を設定する場合は、「＊（着信番号)」を繰り返して設定します。3-33 ページの「お知らせ」を参照してください。						
95	指定着信機能（☛3-16 ページ）※ 1						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨⑤	＊	（着信番号）＊（指定着信番号）	＃＃
96	キャッチホン・ディスプレイ（☛3-12 ページ）※ 2						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨⑥	＊	①：使用する ②：使用しない	＃＃
97	ダイヤル桁間タイマ（☛3-24 ページ）						
	＊＊＊⑨⑨	① または ②	＊	⑨⑦	＊	④：４秒 ⑤：５秒 ⑥：６秒 ⑦：７秒 ⑧：８秒	＃＃

機能番号	開始操作	ポート番号 ＊	機能番号 ＊	設定値・設定内容	終了操作
98	エコーキャンセラ（☛3-24 ページ）				
	＊＊＊９９	① または ②	＊ ９８ ＊	①：使用する ②：使用しない	＃＃
00	通知番号（☛3-24 ページ）※３				
	＊＊＊９９	① または ②	＊ ００ ＊	（通知番号）	＃＃
01	内線番号（☛3-11 ページ）※４				
	＊＊＊９９	① または ②	＊ ０１ ＊	（内線番号）	＃＃
	※初期値は、電話機１ポート：１、電話機２ポート：２です。				
02	着信音選択（☛3-25 ページ）				
	＊＊＊９９	① または ②	＊ ０２ ＊	（着信番号）＊ ①：IR ②：SIR	＃＃
	※初期値は、外線用：IR、内線用：SIR です。 内線用の着信音は電話機から設定できません。 パソコンから設定してください。（☛3-25 ページ）				

※１　設定する場合は、3-33 ページの「お知らせ」を参照してください。
※２　ナンバー・ディスプレイが「使用する」に設定されている場合に設定できます。
※３　通知番号に設定した電話番号は、着信番号に設定されます。
※４　内線番号の設定は既存の内線番号には設定できません。（初期値：１～７）

お知らせ

※「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れた場合は、設定に失敗しています。ハンドセットを置いて設定内容を確認して、初めから設定をやり直してください。

●優先着信ポート

・優先着信ポートを設定すると、自動的に次のように設定されます。

電話機 1、2 ポート ： 「有効」に設定されます。
「割込音通知」は「使用しない」に設定されます。

すべての IP 端末 ： 「無効」に設定されます。

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、優先着信ポートの設定ができません。

①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が設定されていない場合

②電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、指定着信番号が設定されていて、「指定なし着信」が「無効」に設定されている場合

●アナログポート無効化

優先着信ポートを有効に設定した場合、アナログポート無効化は設定できません。アナログポート無効化の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。

アナログポート無効化の設定を行う場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

●割込音通知

優先着信ポートを有効に設定した場合、割込音通知は設定できません。割込音通知の設定を行うと「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れます。

割込音通知をご利用になる場合は、優先着信ポートの設定を無効にしてください。

●着信番号

・着信番号を設定すると、着信番号に設定された電話番号と通知番号に設定されている電話番号が着信する設定になります。それ以外の電話番号は、着信しない設定になります。

<複数の電話番号を着信番号として設定するには>

複数の電話番号を着信番号として設定する場合は、「＊（着信番号）」を繰り返して設定してください。

（例）電話機 1 ポートに着信番号「03 ○○○○ 1111」「03 ○○○○ 2222」を設定する場合

 ＊ ＊ ＊ 9 9 1 ＊ 9 4 ＊ 03 ○○○○ 1111

＊ 03 ○○○○ 2222 # #

・通知番号に設定されていない着信番号に指定着信番号が設定されている場合、着信番号を設定すると、「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、着信番号の設定ができません。

・着信番号の設定で着信番号を設定しなかった場合は、通知番号に指定された電話番号以外は着信しない設定になります。

（例）ダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 9 9 1 ＊ 9 4 ＊ # #」と押した場合

●指定着信機能

・指定着信番号を設定すると、指定着信機能は「使用する」に設定されます。「指定なし着信」は「無効」（指定着信番号なしの着信は着信しない）に設定されます。

・指定着信番号は、電話機 1、2 ポートで 1 つの番号でのみ使用できます。

・指定着信番号を設定すると、その前に設定された指定着信番号は無効になります。

・次の場合は「設定に失敗しました。再度設定してください。」とガイダンスが流れ、指定着信番号の設定ができません。

①電話機 1、2 ポートで同じ着信番号が 1 つであり、優先着信ポートが設定されている場合

②着信番号に設定していない電話番号に指定着信番号を設定した場合

・指定着信の設定で指定着信番号を設定しなかった場合は、指定着信機能は「使用しない」に設定されます。

（例）ダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 9 9 1 ＊ 9 5 ＊（着信番号）＊ # #」と押した場合

3-6 複数の電話機での同時着信や使い分けを設定する

ひかり電話の着信は、ご利用の環境に合わせて同時着信や鳴り分けを設定することができます。
ここでは、ひかり電話の付加サービスを利用する場合と、指定着信機能を利用して特定のアナログ端末に着信する設定方法について記載します。
設定はパソコンまたは電話機から行います。
設定例を確認後、それぞれの設定方法を参照してください。

●パソコンから設定する場合
「Web 設定」の［電話設定］－［内線設定］で［通知番号］［着信番号］［着信音選択］を設定します。「3-4　パソコンからひかり電話の設定をする」（☛3-19 ページ）を参照してください。

●電話機から設定する場合
「3-5　電話機からひかり電話の設定をする」（☛3-28 ページ）を参照してください。

ファクスと電話で使い分けたいときには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】

● マイナンバー／追加番号（2 番号）

● ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	―

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	―
03-○○○○-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR

事務所（店舗）の電話を自宅でも受けるには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】
●マイナンバー／追加番号（2 番号）
●ダブルチャネル／複数チャネル
　※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】
アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	☐ 着信しない	―
03-○○○○-2222	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

2 世帯で電話を鳴り分けて使うには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】

● マイナンバー／追加番号（2 番号）

● ダブルチャネル／複数チャネル

※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

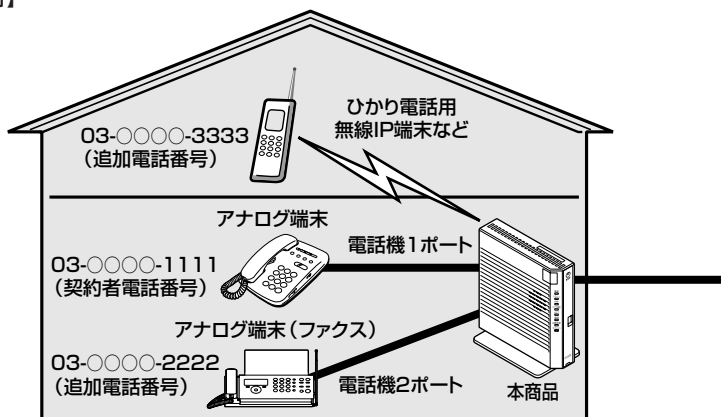
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	☑ 着信する	SIR
03-○○○○-2222	⦿ 通知する	☑ 着信する	IR

※着信音選択で「SIR」を選択した場合、電話機のメロディ着信機能が正常に動作しない場合があります。その場合は、本商品の着信音選択を「IR」に設定するか、電話機を通常の着信音に設定してください。

ひかり電話用無線IP端末などを利用したいときには

【利用例】

【ひかり電話の付加サービスの利用】
- マイナンバー／追加番号（3 番号）
- ダブルチャネル／複数チャネル
  ※同時に 2 回線をご利用になるにはご契約が必要です。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	―
03-○○○○-3333	○ 通知しない	□ 着信しない	―

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	―
03-○○○○-2222	◉ 通知する	☑ 着信する	IR
03-○○○○-3333	○ 通知しない	□ 着信しない	―

IP 端末 1

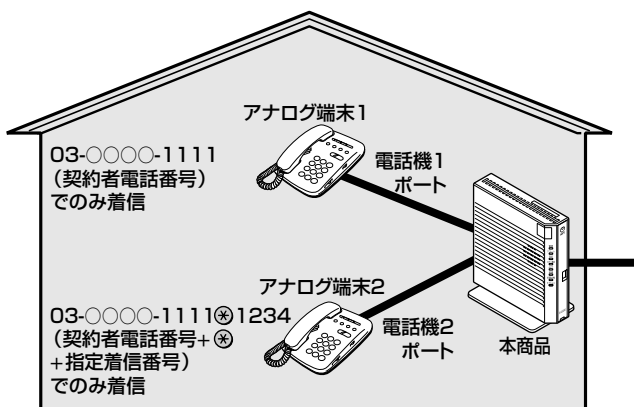
電話番号	通知番号	着信番号	着信音選択
03-○○○○-1111	○ 通知しない	□ 着信しない	―
03-○○○○-2222	○ 通知しない	□ 着信しない	―
03-○○○○-3333	◉ 通知する	☑ 着信する	―

※ IP 端末の詳細な設定については、別途ご利用の IP 端末の取扱説明書などをご参照ください。
※ IP 端末の設定は電話機からは行えません。パソコンから設定してください。

指定着信機能を利用して、特定のアナログポートに着信させたいときには

【利用例】

「03-○○○○-1111」でかかってきた場合は、アナログ端末１のみ着信させる。
「03-○○○○-1111 ✽ 1234」でかかってきた場合は、アナログ端末２のみ着信させる。

【設定例】

アナログ端末（電話機 1）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-○○○○-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	□ 使用しない	−	−	IR

アナログ端末（電話機 2）

電話番号	通知番号	着信番号	指定着信機能			着信音選択
			使用する	指定着信番号	指定なし着信	
03-○○○○-1111	◉ 通知する	☑ 着信する	☑ 使用する	1234	□ 着信しない	IR

※「Web 設定」の［電話設定］ー［内線設定（アナログ端末）］画面の［電話番号設定］で［指定着信機能］ー［使用する］にチェックし、［指定着信番号］に「1234」（指定着信番号）を入力します。
指定着信番号あり／なしの両方の着信を受ける場合は、［指定なし着信］にチェックします。
（電話機からは設定できません。パソコンから設定を行ってください。）

 お知らせ

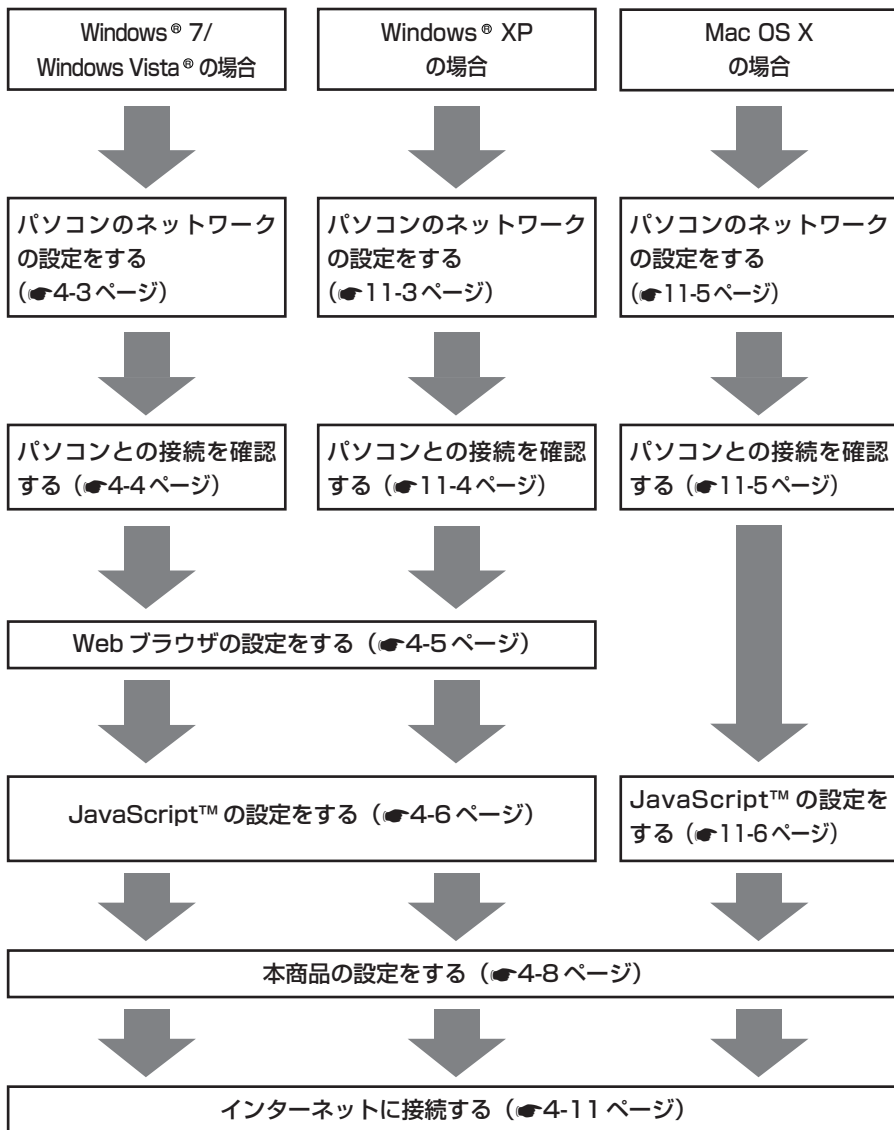
- アナログ端末のみで利用できる機能です。
- 指定着信番号で着信した場合は、キャッチホンはご利用いただけません。
- ガスの遠隔検針などでご利用いただけます。

4 インターネット接続の設定をする

この章では、インターネットへの接続方法を説明しています。

※本章に記載しております、「インターネット接続の設定（プロバイダの資料にしたがった設定)」は、インターネット（IPv4）接続に関するご案内となります。

4-1 設定の流れ

本商品のインターネット接続は次の手順で行います。
パソコンのOS によってそれぞれのページを参照して行ってください。

4-2 パソコンのネットワーク設定（Windows® 7/Windows Vista®）

本商品に接続するパソコンのネットワークの設定をします。
パソコンのネットワークの設定が初期状態の場合は、パソコンの設定は必要ありません。
「4-3　本商品の設定をする」（☛4-8ページ）へお進みください。

パソコンのネットワークの設定をする（Windows® 7/Windows Vista®）

Windows® 7/Windows Vista® の設定により表示内容が異なる場合があります。

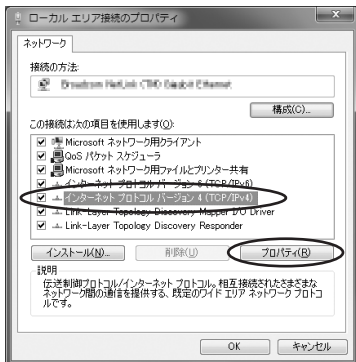
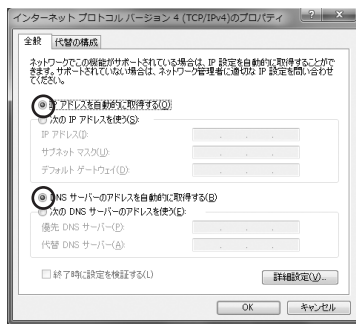
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［ネットワークと共有センター］をクリックする

3 ［アダプターの設定の変更］または［タスク］欄の［ネットワーク接続の管理］をクリックする

4 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

※［ユーザーアカウント制御］画面が表示された場合は、［はい］または［続行］をクリックします。

5 ［インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）］を選択し、［プロパティ］をクリックする

6 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

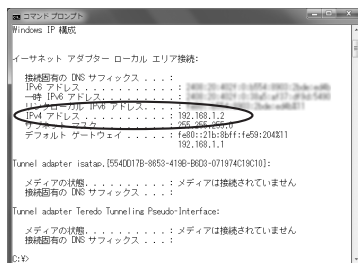
●本書では、Windows® 7/Windows Vista® の通常表示モード（コントロールパネルホーム）を前提に記載しています。

パソコンとの接続を確認する（Windows® 7/Windows Vista®）

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［イーサネット　アダプター ローカル エリア接続：］が表示され、IPv4アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxxは2～254の数字です）

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Web ブラウザの設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

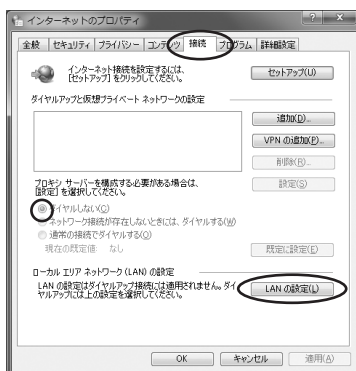
以下は、Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 を使用している場合の例です。

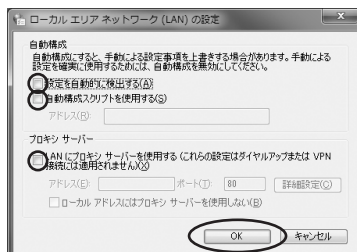
1 **［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する**

2 **［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする**

> **Windows® XP の場合**
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

3 **［接続］タブをクリックし、リストにダイヤルアップの設定がある場合は「ダイヤルしない」を選択する**

4 **［LAN の設定］をクリックする**

5 **［設定を自動的に検出する］、［自動構成スクリプトを使用する］、［LAN にプロキシサーバーを使用する］のチェックを外し、［OK］をクリックする**

プロバイダからプロキシの設定指示があった場合は、したがってください。

6 **［OK］をクリックする**

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

JavaScript™ の設定をする（Windows® 共通）

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。
※Web ブラウザの設定でセキュリティを「高」に設定した場合、本商品の設定が正しく行えない場合があります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 を使用している場合の例です。

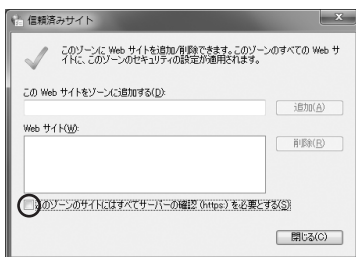
1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

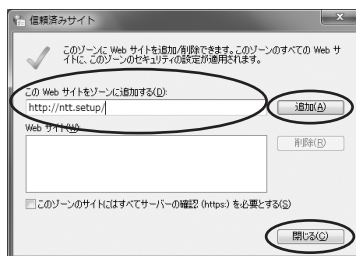
2 ［ネットワークとインターネット］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックする

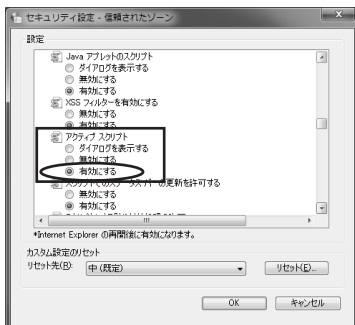
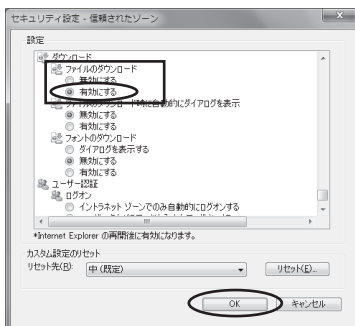
> **Windows® XP の場合**
> ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［インターネットオプション］をクリックします。

3 ［セキュリティ］タブをクリックし、［信頼済みサイト］をクリックする

4 ［サイト］をクリックする

5 ［このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認（https:）を必要とする］のチェックを外す

6 ［この Web サイトをゾーンに追加する］に「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を入力して［追加］をクリックし、［閉じる］をクリックする

> **Windows® XP の場合**
> ［次の Web サイトをゾーンに追加する］に「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を入力して［追加］をクリックし、［OK］をクリックします。

7 ［レベルのカスタマイズ］をクリックする

8 画面をスクロールし、［アクティブ スクリプト］を［有効にする］に変更する

9 画面をスクロールし、［ファイルのダウンロード］を［有効にする］に変更し、［OK］をクリックする

10 警告ダイアログが表示された場合は［はい］をクリックする

11 ［OK］をクリックする

4-3 本商品の設定をする

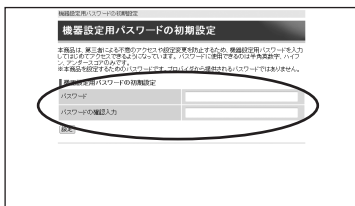
本商品のインターネット接続の設定は、Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を使って「Web 設定」を起動して行います。

■「Web 設定」で設定する

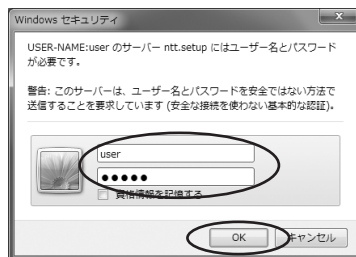
あらかじめ本商品とパソコンなど使用する機器の接続をしておきましょう。設定画面が開けない場合には、「4-1　設定の流れ」（☛4-2 ページ）をご覧のうえ、パソコンの設定を確認してください。

1 **Web ブラウザを起動し、「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）と入力し、「Web 設定」ページを開く**

2 **機器設定用パスワードの初期設定を行う**

パスワードに使用できる文字は 0 ～ 9、a ～ z、A ～ Z、-（ハイフン）、_（アンダースコア）です。
最大半角 64 文字まで設定できます。

> **!**
> 機器設定用パスワードは、本商品を設定する場合に必要となりますので、控えておいてください。
>
> | 機器設定用パスワード |
> | --- |
> | |
>
> 機器設定用パスワードは上記の表に記入しておくことをお勧めします。
> 忘れた場合は、本商品を初期化して設定を初めからやり直してください。（☛11-10 ページ）
> 機器設定用パスワードは第三者に推測されにくいパスワードを登録してください。
> パスワードはお客様にて厳重に管理してください。

3 **［設定］をクリックする**

4 **ユーザー名に「user」を、パスワードに手順 2 で入力した機器設定用パスワードを入力し［OK］をクリックする**

5 利用タイプで［インターネット接続先を設定する］を選択する

※インターネットの接続先を設定しない場合は、［インターネット接続先を設定しない］を選択し、手順7へ進みます。

6 プロバイダ情報にしたがって接続先ユーザ名、接続パスワードを入力し、サービス情報サイトへの接続の設定を選択する

※Bフレッツをご利用の場合、［フレッツ・スクウェア接続］が表示されます。
（フレッツ 光ネクストをご利用の場合は表示されません。）

接続先ユーザ名：
プロバイダの資料にしたがって、接続先ユーザ名を入力します。
「接続先ユーザ名」はプロバイダによっては「認証ID」、「ユーザID」のように書かれている場合があります。
例： xxxxx@xxxxx.ne.jp

接続パスワード：
プロバイダの資料にしたがって、接続パスワードを入力します。
「接続パスワード」はプロバイダによっては「認証パスワード」、「パスワード」のように書かれている場合があります。

※接続先ユーザ名、接続パスワードに使用できるのは、半角の英数字と記号で最大128文字までです。
※「接続先ユーザ名」を入力した場合は、「接続パスワード」も入力してください。

フレッツ・スクウェア接続：
フレッツ・スクウェアへの接続をご利用になる場合は「設定する」を、ご利用にならない場合は「設定しない」を選択します。
（「4-5　サービス情報サイトに接続する」☛4-12ページ）
Bフレッツをご利用の場合に表示されます。

7 ［設定］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

9 「Web設定」のトップページが表示される

以上でインターネット接続の設定は終わりました。
Webブラウザを閉じて「Web設定」を終了してください。
PPPランプが点灯することを確認してください。
PPPランプが点灯しない場合は「10章　故障かな？と思ったら」（☛10-1ページ）を参照してください。

手順４で認証に失敗すると、下記の画面が表示されます。
［トップページへ戻る］をクリックし、再度ユーザー名、パスワードを入力してください。
※ご利用の環境によっては表示されない場合があります。

お知らせ

●本項の手順で設定された接続先ユーザ名、接続パスワードは「接続先 1」に設定されます。「接続先 1」の接続モードは「常時接続」に設定されています。
●プロバイダから DNS サーバアドレスを設定するよう案内されている場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
●［フレッツ・スクウェア接続］で「設定する」を選択した場合は、「接続先 3」に設定されます。設定を変更する場合は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
●本項の手順は本商品が工場出荷状態にある場合のみ実行可能です。初期設定後に、設定内容の確認や変更のため「Web 設定」を開く際は、手順 1 に続いて手順４の画面が表示されます。機器設定用パスワードの入力が必要となりますので、手順 2 で設定した機器設定用パスワードを入力してログインしてください。ログインすると、「Web 設定」のトップページが表示されます。
●説明に使用している画面表示は一例です。お使いの Web ブラウザやお使いの OS によって画面のレイアウトやボタン名称などが異なります。
●対応するブラウザについては「対応 OS の確認と Web ブラウザの準備」(☛1-10 ページ)をご覧ください。
●「Web 設定」の画面デザインは変更になることがあります。
●「Web 設定」を操作すると、ひかり電話の通話や内線通話、通信が切断される場合があります。
●「Web 設定」を行う際、「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「Web 設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度操作を行ってください。
●他の設定を実行中は、「Web 設定」での設定は行えません。

4-4 インターネットに接続する

Web ブラウザを使用してインターネットに接続してみましょう。

1 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する

本商品の PPP ランプが点灯していることを確認してから起動してください。

2 インターネット上のホームページを開く

お知らせ

- PPPoE ブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPP ランプは点灯しません。
- 接続モードを要求時接続に設定してる場合、無通信時には PPP ランプが消灯しています。
- インターネット接続用の接続先が接続されていなくても、他の接続先が接続されていれば PPP ランプは点灯しますのでご注意ください。
- 本商品では、PPPoE マルチセッション機能を利用して 1 回線で複数の接続先へ同時に接続することができます。設定方法の詳細については、「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 2 セッション以上接続中の場合、PPP ランプは橙点灯します。

4-5 サービス情報サイトに接続する

サービス情報サイトへの接続を設定した場合は次の手順で接続してみましょう。

1 Web ブラウザ（Internet Explorer® など）を起動する

2 「サービス情報サイト」の URL を入力し、ページを開く

■フレッツ 光ネクストに接続した場合※ 1

【IPv6 をご利用可能なお客様】

フレッツ・スクウェア ネクスト： http://flets-east.jp/

【IPv6 をご利用いただけないお客様】

フレッツ 光ネクスト サービス情報サイト： http://www.v4flets-east.jp/

※ 1 開通のご案内に記載されているお客様 ID の頭３文字が「CAF」と記載されているお客様
設定方法は、「機能詳細ガイド」の「設定例」－［サービス情報サイトを利用するには］を参照してください。

■ Bフレッツに接続した場合※ 2

【IPv6 をご利用可能なお客様】

サービス情報サイト： http://flets-v6.jp/　※ 3

【IPv6 をご利用いただけないお客様】

サービス情報サイト： http://www.flets/　※ 4

※ 2 開通のご案内に記載されているお客様 ID の頭３文字が「COP」と記載されているお客様
※ 3 サービス情報サイトの接続方法は当社のホームページ（http://flets.com/）などをご覧ください。
※ 4 サービス情報サイトの設定は設定ウィザードで行います。
設定ウィザードは、「Web 設定」を初めて行う場合にのみ起動します。設定を変更する場合は、「Web 設定」で行ってください。設定方法は、「機能詳細ガイド」の「設定例」－［サービス情報サイトを利用するには］を参照してください。

お知らせ

●提供条件、接続方法などの詳細は当社のホームページなどをご覧ください。
当社ホームページ： http://flets.com/

5 無線 LAN のご利用について

無線 LAN をご利用になる場合はこちらをご覧ください。

5-1 無線 LAN のご利用について

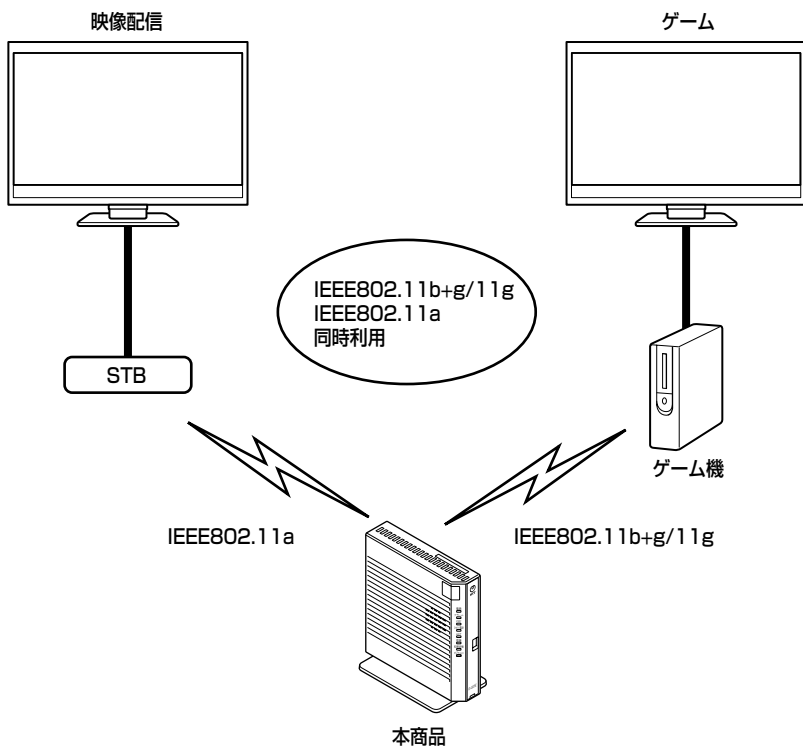
●本商品は、IEEE802.11a、IEEE802.11b および IEEE802.11g に準拠した無線機能を内蔵しております。
●本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、「11N-ADP」の装着が必要となります。詳しくは、「5-2　本商品への無線 LAN カードの取り付け」を参照してください。
●本商品の無線 LAN は、下記のいずれか一方の場合のみでご利用いただけます。また、ご利用になる無線 LAN を変更される場合は、新たに無線設定が必要となります。

本商品に内蔵の無線機能を使って無線接続をする場合

・IEEE802.11a/b/g のご利用
パソコンに無線 LAN カード「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを取り付けることにより、ご利用になれます。

・IEEE802.11n のご利用
本商品に内蔵の無線機能では IEEE802.11n での無線接続はご利用になれません。

※本商品に内蔵の無線機能では、IEEE802.11b+g または IEEE802.11g と IEEE802.11a の同時利用が可能です。

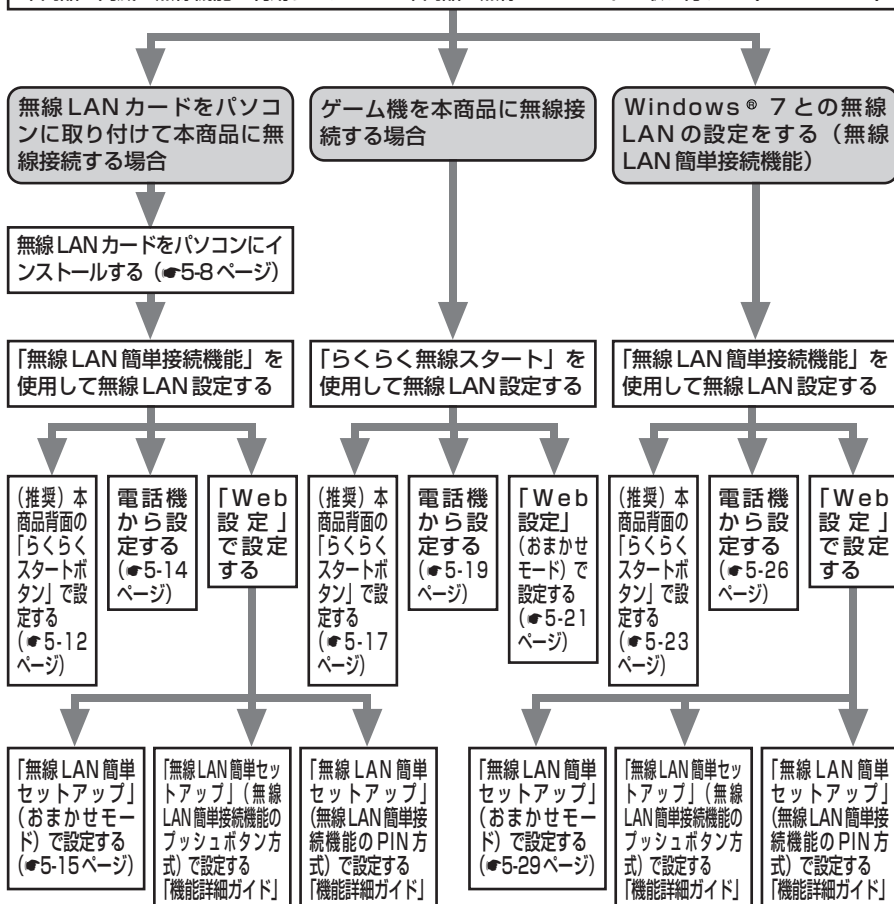
【利用例】

本商品に「SC-40NE」を取り付けて無線接続をする場合

・IEEE802.11b/gのご利用
パソコンに無線LANカード「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを取り付けることにより、ご利用になれます。

・IEEE802.11nのご利用
パソコンにIEEE802.11nに対応の無線LANカードを取り付けることにより、無線LAN機能をご利用になれます。

・IEEE802.11aのご利用
本商品に「SC-40NE」を取り付けた場合、IEEE802.11aでの無線接続はご利用になれません。

無線LAN設定の流れ

本商品で無線LANをご利用になるには次の手順で設定を行ってください。

おまかせモードを起動すると、設定する無線LAN端末の設定モードに合わせて、「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」または「らくらく無線スタート」で設定を開始します。本書では、おまかせモードを使用した設定方法を記載しています。

お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、下記を参照してください。
・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［IEEE802.11b+g/11g設定］もしくは［IEEE802.11a設定］
・SC-40NEをご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）］－［無線LAN設定］

5-2 本商品への無線LANカードの取り付け

本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合

本商品の拡張カードスロットに何も取り付けていない場合にご利用いただけます。

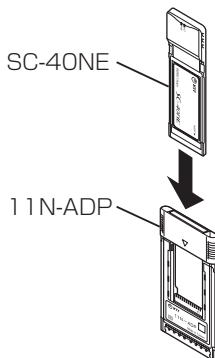
「SC-40NE」をご利用の場合

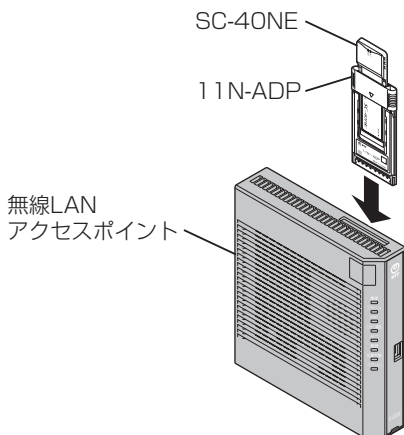
本商品の拡張カードスロットに「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」を取り付けることにより、無線LAN機能をご利用になれます。

- ●取り付けの際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。
- ●電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。
- ●電源を入れたまま「SC-40NE」や「11N-ADP」の取り付けや取り外しを行うと、本商品や「SC-40NE」、「11N-ADP」が故障する場合があります。
- ●本商品に取り付けることができる無線LANカードは「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」のみです。
- ●本商品で「SC-40NE」をご利用になる場合は、「11N-ADP」の装着が必要となります。
  また、「SC-40NE」をご利用になる前に、本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（☛9-1ページ）
- ●パソコンに無線LANカードを取り付けて本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。

1 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く

2 「SC-40NE」に、「11N-ADP」を装着する

「SC-40NE」のランプと「11N-ADP」の▽印が同じ面に見える方向で正しく装着してください。誤った方向で装着すると、「SC-40NE」や「11N-ADP」が破損する場合があります。

3　本商品の拡張カードスロットに「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」を取り付ける

「11N-ADP」を装着した「SC-40NE」を図のとおり、本商品のランプ側を右にして「SC-40NE」のランプが見える方向で正しく取り付けてください。誤った方向で取り付けると本商品や「SC-40NE」、「11N-ADP」が破損する場合があります。
※取り付けの際は、本商品の電源を切った状態で取り付けてください。

4　本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントに接続する

「SC-40NE」の PWR ランプと ACT ランプが同時に緑点滅することを確認してください。
※ランプが点滅しない場合は、本商品のファームウェアが最新でない可能性があります。
本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（☛9-1 ページ）

無線 LAN カードを取り外すときのご注意

本商品から無線 LAN カードを取り外すときは、本商品の電源を切った状態で「11N-ADP」も取り外してください。「SC-40NE」単体での取り外しは行わないでください。故障の原因となる場合があります。

5-3 パソコンへ無線LANカードの設定をする

パソコンに無線LANカード「SC-32NE」、「SC-32SE」、「SC-32KI」、「SC-32HI」のいずれかを取り付けることにより、無線LAN機能をご利用になれます。
ここでは、Windows® 7/Windows Vista® のパソコンに「SC-32NE」を接続してご使用になる場合を例に説明しています。

●パソコンに無線LANカードを取り付けて本商品で無線LAN機能を使用される場合には、パソコンのLANカードまたはLANボード機能を停止させないと無線LANカードが使用できない場合があります。無線LANカードの取扱説明書をご覧ください。

インストール

「SC-32NE」をパソコンで使用するには、「ドライバ」と「ユーティリティ」と呼ばれるソフトウェアをパソコンにインストールする必要があります。インストールは、「SC-32NE」に付属の「SC-32NE専用CD-ROM」(橙)をパソコンにセットして行います。「SC-32NE」に付属の「SC-32NE専用CD-ROM」(橙)では、「ドライバ」および「SC-32NE」を設定するための「SC-32設定用ユーティリティ」を同時にパソコンにインストールします。

1 Windows® 7またはWindows Vista®を起動する

この時点では、「SC-32NE」をパソコンのPCカードスロットに取り付けないでください。

2 付属の「SC-32NE専用CD-ROM」(橙)をCD-ROMドライブにセットする

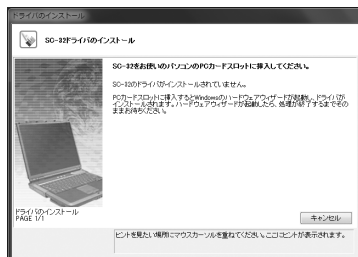
Windows® 7の場合
※[自動再生]画面が表示された場合は、[メディアからのプログラムのインストール/実行]に表示されたプログラムをクリックします。
※[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら[はい]をクリックします。

Windows Vista® の場合
※[自動再生]画面が表示された場合は、[プログラムのインストール/実行]に表示されたプログラムをクリックします。
※[ユーザーアカウント制御]画面が表示されたら[続行]をクリックします。

3 SC-32NE/SC-32SE/SC-32KI/SC-32HIのユーティリティやドライバをアンインストールする確認画面が表示された場合は[OK]をクリックする

4 ソフトウェア使用許諾契約書が表示されたら、内容をよくお読みのうえ、内容に同意される場合は[次へ]をクリックする

SC-32設定用ユーティリティのインストールが始まります。

5 SC-32設定用ユーティリティのインストールが完了すると、SC-32ドライバのインストール画面が表示されるので、パソコンのPCカードスロットに「SC-32NE」を取り付ける

[ドライバのインストール]画面が表示されている間はそのまましばらくお待ちください。
ドライバのインストールが完了します。

お知らせ

●ドライバとは、SC-32NEをパソコン上で正しく動作させるためのソフトウェアです。
●ユーティリティとは、無線ネットワーク名（SSID）または暗号化などの無線通信の設定を行うソフトウェアのことです。SC-32NEのユーティリティの名称は、「SC-32設定用ユーティリティ」です。

お願い

●無線LANをご利用の場合、現在までご利用の無線LANカードドライバのアンインストールを実施してください。無線LANカードドライバのアンインストールは、各製品の取扱説明書などをご参照ください。
●Windows® 7、Windows Vista®およびWindows® XPでは、管理者権限を持つユーザ（Administratorなど）でログオンしてください。それ以外のユーザ名でログオンすると、正常にインストールできません。
●インストール時に起動中のソフトウェアがある場合は、データなどを保存してから、そのソフトウェアを終了させてください。
●インストール時にSC-32設定用ユーティリティ以外の無線ユーティリティが起動している場合は、その無線ユーティリティを終了のうえ、アンインストールしてください。

インストール完了の確認

ここでは、ドライバとユーティリティが正しくインストールされたかを確認する方法を説明します。

1 ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］を選択する

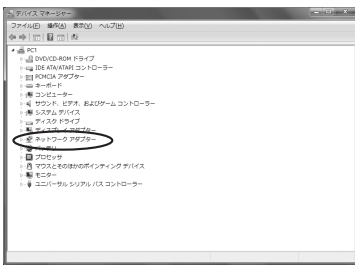
2 ［システムとセキュリティ］をクリックする

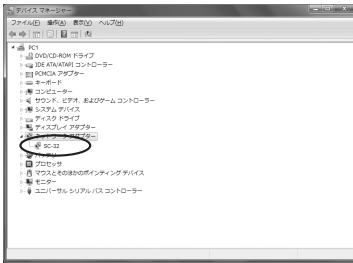
Windows Vista® の場合
［システムとメンテナンス］をクリックし、［システム］をクリックします。

Windows® XP の場合
［パフォーマンスとメンテナンス］－［システム］の順にクリックし、［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャー］をクリックする

※Windows® 7、Windows Vista® の場合は、［ユーザーアカウント制御］画面が表示されたら、［はい］または［続行］をクリックします。

4 「ネットワークアダプター」をダブルクリックする

「SC-32」が表示されます。

5 「SC-32」をダブルクリックする

6 「このデバイスは正常に動作しています。」と表示されていることを確認する

7 ［OK］をクリックする

以上でインストールの確認は終了です。

5-4 パソコンに取り付けた無線LANカードとの無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

「無線LAN簡単接続機能」を使用して、無線LANカードを取り付けたパソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛下記）
●電話機から設定する（☛5-14ページ）
●「Web設定」で設定する
  ・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN簡単接続機能）（☛5-15ページ）
  ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
  ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）

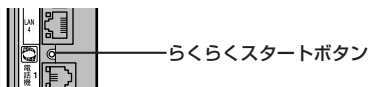
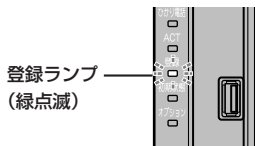
※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については、下記を参照してください。
  ・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
    「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］
  ・SC-40NEをご利用の場合：
    「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）］－［無線LAN簡単セットアップ］

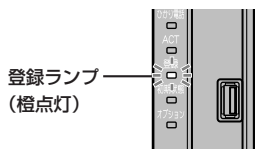
> ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
> ●「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
> ●本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。
> ●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際は、［無線LAN簡単セットアップ動作モード］で［IEEE802.11b+g/11g固定］または［IEEE802.11a固定］に設定した場合に無線LAN端末側の無線LAN動作モードが本商品と異なると、設定ができない場合があります。詳細は「機能詳細ガイド」を参照してください。
> ●「SC-40NE」は本商品以外には使用できません。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す

「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。(設定によっては橙点滅する場合があります。)

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-16ページ)

3 本商品のスピーカから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-16ページ)

おまかせモード(無線LAN簡単接続機能)での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

お知らせ

●「Web設定」の[詳細設定]－[内蔵スピーカ音量設定]で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

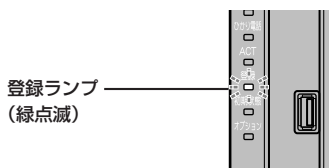
1 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

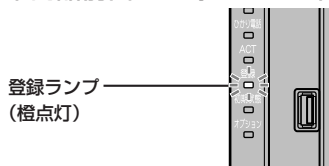
起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

2 電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

> ！ 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-16ページ)

4 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

> ！ 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-16ページ)

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

5 ハンドセットを置く

お知らせ

- ●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- ●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- ●電話機からの設定については、5-36ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web設定」で設定する

無線LAN端末から設定を行っている場合には、［おまかせモード］をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く

2
- 本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
  メニューの［無線設定］－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する
- SC-40NEをご利用の場合：
  メニューの［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する

3 パソコンにインストールした無線LANカードのユーティリティから「無線LAN簡単接続機能（プッシュボタン方式）」を起動する

起動方法は、無線LANカードの取扱説明書などを参照してください。

4 「Web設定」の［おまかせモード］をクリックする

（次ページに続く）

5 「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の設定が完了しました。」と表示されることを確認する

おまかせモード（無線 LAN 簡単接続機能）での無線 LAN 設定が完了します。

お知らせ

●無線 LAN 簡単セットアップ実行中に「Web 設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web 設定」画面が正常に表示されない場合があります。

お願い

●手動で無線 LAN 設定を行う手順については、下記を参照してください。
・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線 LAN 設定］－［IEEE802.11b+g/11g 設定］もしくは［IEEE802.11a 設定］
・ SC-40NE をご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定（SC-40NE をご利用の場合）］－［無線 LAN 設定］
●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際は、接続する無線 LAN 端末の無線 LAN 動作モードに合わせて「Web 設定」の［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］の［無線 LAN 簡単セットアップ動作モード］を設定してください。

！「無線 LAN 簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面で「無線 LAN 端末の検出に失敗しました。」「無線 LAN 簡単接続による設定に失敗しました。」などと表示されたり、本商品のスピーカから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れた場合は、設定に失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。
「10-2　ご利用開始後のトラブル」（☛10-12 ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順 1 から設定を行ってください。

5-5 ゲーム機との無線LANの設定をする（らくらく無線スタート）

「らくらく無線スタート」を使用して、ゲーム機と本商品を無線接続するための設定を行います。
本商品の「らくらく無線スタート」の起動方法には、以下の方法があります。
●「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
●電話機から設定する（☛5-19 ページ）
●「Web 設定」で設定する
・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN 簡単接続機能）（☛5-21 ページ）

●本商品に無線の暗号化が設定されていることを確認してください。
（ただし、WPA2-PSK は「らくらく無線スタート」ではご利用になれません。）
設定されていない場合は電話機から設定することもできます。（☛5-32、5-33 ページ）
●接続するゲーム機が本商品の暗号化方式や暗号化強度に対応していることを確認してください。対応状況に関してはゲーム機の取扱説明書などをご確認ください。
●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線 LAN 簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
●本商品の無線の暗号化が「WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）」の状態で「らくらく無線スタート」を使用した場合、自動的に無線 LAN 端末を下記の暗号化に設定します。
・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合： WPA-PSK（TKIP）
・ SC-40NE をご利用の場合： WPA-PSK（AES）
●「らくらく無線スタート」での設定中は他の無線接続はいったん切断されます。
●「らくらく無線スタート」設定中の無線 LAN アクセスポイント（本商品）のランプ名称やランプの状態は、ご利用のゲーム機の説明書などに記載されている内容と異なる場合があります。本商品との無線 LAN 設定にあたっては、本書の記載内容に読み替えてください。
●本機能で 2 台以上の無線 LAN 端末を同時に設定することはできません。1 台ずつ設定を行ってください。
●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際は、[無線 LAN 簡単セットアップ動作モード] で [IEEE802.11b+g/11g 固定] または [IEEE802.11a 固定] に設定した場合に無線 LAN 端末側の無線 LAN 動作モードが本商品と異なると、設定ができない場合があります。詳細は「機能詳細ガイド」を参照してください。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

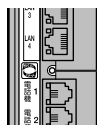
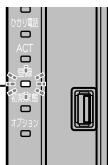
1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

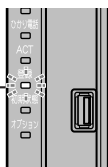
（次ページに続く）

5 無線LANのご利用について

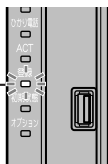
2 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す

「らくらく無線スタート」の通信が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

> **!** 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-22ページ)

3 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始します。

※30秒以内に次の手順に進んでください。30秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

> **!** 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-22ページ)

4 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが橙点灯したら放す

設定が完了すると、「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

> **!** 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-22ページ)

「らくらく無線スタート」での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

 お知らせ

- 「Web設定」の[詳細設定]－[内蔵スピーカ音量設定]で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。

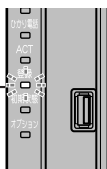
電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

2 本商品に接続した電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

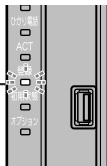
3 電話機のダイヤルボタンを「＊ ＊ ＊ 0 0」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-22 ページ）

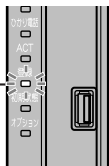
4 本商品前面の登録ランプが橙点滅することを確認する

「らくらく無線スタート」での設定が開始し、「ププ、ププ」と聞こえます。

※30 秒以内に次の手順に進んでください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-22 ページ）

（次ページに続く）

5 電話機のダイヤルボタン「㊎」を押す

設定が完了すると「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯します。

> **!**
> 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。(☛5-22 ページ)

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 電話機のハンドセットを置く

お知らせ

- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 電話機からの設定については、5-36 ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web 設定」で設定する

無線 LAN 端末から設定を行っている場合には、[おまかせモード］をクリックしたあと、無線 LAN 接続が切断される場合があります。
おまかせモードを使用する場合は、有線 LAN 端末から設定を行ってください。

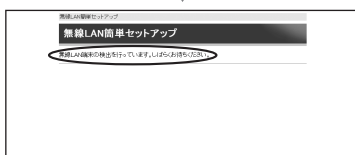
1 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く

2
・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
　メニューの［無線設定］－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］を選択する
・SC-40NE をご利用の場合：
　メニューの［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］を選択する

3 ゲーム機の「らくらく無線スタート」を起動する

ゲーム機の設定方法の詳細についてはゲーム機の取扱説明書などを参照してください。

※「らくらく無線スタート」を起動後 1 分以内に次の手順に進んでください。1 分以上たつと自動的にキャンセルされます。

4 「Web 設定」の［おまかせモード］をクリックする

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の検出を行っています。・・・。」と表示されます。

「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の検出に失敗しました。」と表示された場合は、設定に失敗しています。
（☛5-22 ページ）

（次ページに続く）

5 ［設定開始］をクリックする

※30 秒以内にクリックしてください。30 秒以上たつと自動的にキャンセルされます。

「Web 設定」画面に「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」と表示された場合は、設定に失敗しています。（☛ 下記）

設定が完了すると「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の設定が完了しました。」と表示されます。
「らくらく無線スタート」での無線 LAN 設定が完了します。

STOP お願い

●手動で無線 LAN 設定を行う手順については、下記を参照してください。
・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線 LAN 設定］－［IEEE802.11b+g/11g 設定］もしくは［IEEE802.11a 設定］
・ SC-40NE をご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線 LAN 設定（SC-40NE をご利用の場合）］－［無線 LAN 設定］

●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際は、接続する無線 LAN 端末の無線 LAN 動作モードに合わせて「Web 設定」の［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線 LAN 設定］－［無線 LAN 簡単セットアップ］の［無線 LAN 簡単セットアップ動作モード］を設定してください。

!「らくらく無線スタート」での設定に失敗した場合

**設定中にアラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合や「Web 設定」画面に「無線 LAN 端末の検出に失敗しました。」「らくらく無線スタートによる設定に失敗しました。」などと表示されたり、本商品のスピーカから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れた場合は、設定に失敗しています。
電話機から設定している場合は、ハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。**

本商品の SSID-1 または SSID-3 の暗号化を「なし」に設定した状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると暗号化を「なし」に設定した SSID は設定に失敗し、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅します。その場合、本商品はセキュリティ確保のため、自動的に、本商品の無線の暗号化を設定します。設定に失敗した場合は、アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。

2 回目以降も失敗する場合は、他の原因により設定に失敗しています。「10-2　ご利用開始後のトラブル」（☛10-14 ページ）を確認してください。

自動的に設定される設定値については、「① SSID-1 に設定した場合」および「③ SSID-3 に設定した場合」（☛5-34、5-35 ページ）を参照してください。

5-6 Windows® 7との無線LANの設定をする（無線LAN簡単接続機能）

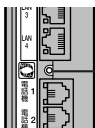
「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を無線接続するための設定を行います。本商品の「無線LAN簡単接続機能」の起動方法には、以下の方法があります。

- 「らくらくスタートボタン」で設定する（☛ 下記）
- 電話機から設定する（☛5-26ページ）
- 「Web設定」で設定する
  - ・おまかせモード（らくらく無線スタート&無線LAN 簡単接続機能）（☛5-29ページ）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式）
  - ・「無線LAN簡単接続機能」（PIN方式）

  ※「無線LAN簡単接続機能」（プッシュボタン方式／PIN方式）については、下記を参照してください。
  - ・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
    「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］
  - ・SC-40NEをご利用の場合：
    「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）］－［無線LAN簡単セットアップ］

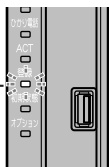
- 本機能で無線LANの設定が可能ですが、接続を保証するものではありません。
- 他の無線LAN端末のユーティリティやドライバがインストールされていると、Windows® 7の無線LAN接続に失敗する場合があります。その場合は、他の無線LAN端末のユーティリティやドライバをアンインストールしてください。
- 「無線LAN簡単接続機能」を使用して、Windows® 7搭載の無線LAN内蔵パソコンと本商品を接続する場合、本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）」を「しない」に設定する必要があります。（☛5-32、5-33ページ）
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定が行えない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから設定を行ってください。
- 「無線LAN簡単接続機能」での設定中は他の無線接続はいったん切断される場合があります。
- 本機能で2台以上の無線LAN端末を同時に設定することはできません。1台ずつ設定を行ってください。
- 本商品に内蔵の無線機能をご利用の際は、［無線LAN簡単セットアップ動作モード］で［IEEE802.11b+g/11g固定］または［IEEE802.11a固定］に設定した場合に無線LAN端末側の無線LAN動作モードが本商品と異なると、設定ができない場合があります。詳細は「機能詳細ガイド」を参照してください。

「らくらくスタートボタン」で設定する（推奨）

1 本商品背面の「らくらくスタートボタン」を1秒以上押し、本商品前面の登録ランプが緑点滅したら放す

（次ページに続く）

5 無線LANのご利用について

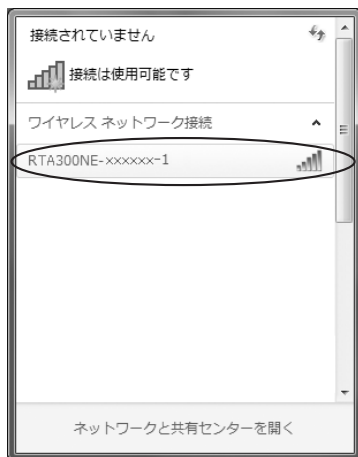
「無線LAN簡単接続機能」での設定が開始されると、本商品前面の登録ランプが緑点滅します。（設定によっては橙点滅する場合があります。）

!

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-31ページ）

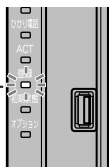
2 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

3 本商品のSSID-1またはSSID-3に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、5-35ページを参照してください。

4 ［接続］をクリックする

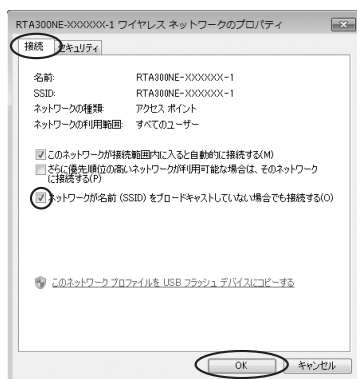
5 **本商品のスピーカから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する**

!

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-31ページ）

おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

6 **通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする**

7 **手順3で選択した無線ネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする**

8 **［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする**

5 無線LANのご利用について

お知らせ

●「Web設定」の［詳細設定］－［内蔵スピーカ音量設定］で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。

電話機から設定する

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1

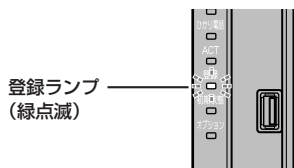
電話機のハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

2

電話機のダイヤルボタンを「⊛ ⊛ ⊛ ⓪ ⓪」と押す

本商品前面の登録ランプが緑点滅します。(設定によっては橙点滅する場合があります。)

!

設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。 **(☛5-31 ページ)**

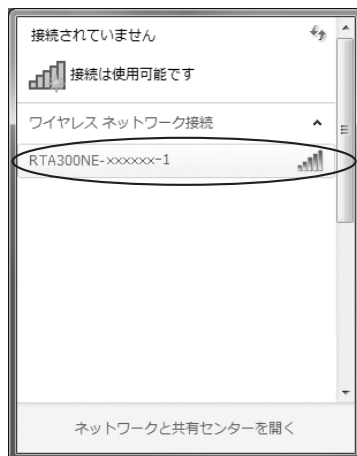
3

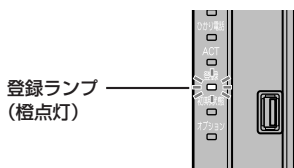
通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※[スタート]（Windows ® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

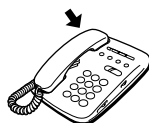
4

本商品の SSID-1 または SSID-3 に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、5-35 ページを参照してください。

5 ［接続］をクリックする

6 本商品前面の登録ランプが橙点灯することを確認する

! 設定中に「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れ、アラームランプが最大10秒間赤点滅した場合は、設定に失敗しています。（☛5-31ページ）

設定が完了すると、電話機のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。
おまかせモード（無線LAN簡単接続機能）での無線LAN設定が完了し、登録ランプは橙点灯後、緑点灯に変わります。

7 ハンドセットを置く

8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 手順4で選択した無線ネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする

（次ページに続く）

10 ［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする

お知らせ

●設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
●間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
●電話機からの設定については、5-36ページの「お知らせ」も参照してください。

「Web設定」で設定する

> **!**
> 無線LAN端末から設定を行っている場合には、［おまかせモード］をクリックしたあと、無線LAN接続が切断される場合があります。
> おまかせモードを使用する場合は、有線LAN端末から設定を行ってください。

1 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く

2
- 本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
  メニューの［無線設定］－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する
- SC-40NEをご利用の場合：
  メニューの［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］を選択する

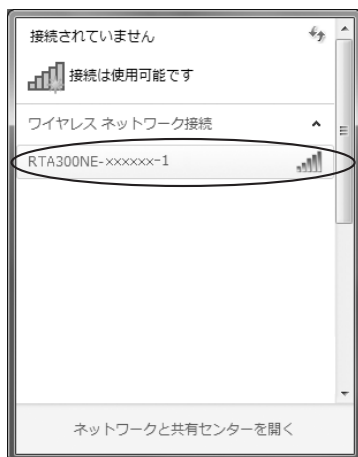
3 「Web設定」の［おまかせモード］をクリックする

4 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンをクリックする

※［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［ネットワークに接続］をクリックする方法もあります。

（次ページに続く）

5 本商品のSSID-1またはSSID-3に設定している無線ネットワーク名（SSID）をクリックする

※本商品の工場出荷状態での無線ネットワーク名（SSID）は、本商品側面を確認するか、5-35ページを参照してください。

6 ［接続］をクリックする

7 「Web設定」画面に「無線LAN端末の設定が完了しました。」と表示されることを確認する

8 通知領域（タスクトレイ）もしくは「隠れているインジケーター」の中に表示されているワイヤレスネットワーク接続のアイコンを再度クリックする

9 **手順5で選択した無線ネットワーク名（SSID）を右クリックし、［プロパティ］をクリックする**

10 **［接続］タブをクリックし、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」にチェックを入れ、［OK］をクリックする**

お知らせ

●無線LAN簡単セットアップ実行中に「Web設定」や「らくらくスタートボタン」からの設定を行うと、「Web設定」画面が正常に表示されない場合があります。

お願い

●手動で無線LAN設定を行う手順については、下記を参照してください。
・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［IEEE802.11b+g/11g設定］もしくは［IEEE802.11a設定］
・SC-40NEをご利用の場合：
「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）］－［無線LAN設定］
●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際は、接続する無線LAN端末の無線LAN動作モードに合わせて「Web設定」の［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［無線LAN簡単セットアップ］の［無線LAN簡単セットアップ動作モード］を設定してください。

「無線LAN簡単接続機能」での設定に失敗した場合

設定中にアラームランプが最大10秒間赤点滅した場合や「Web設定」画面で「無線LAN端末の検出に失敗しました。」「無線LAN簡単接続による設定に失敗しました。」などと表示されたり、本商品のスピーカから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れた場合は、設定に失敗しています。
電話機から設定している場合はハンドセットから「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。
「10-2　ご利用開始後のトラブル」（☛10-12ページ）を確認後、アラームランプが消灯してから再度手順1から設定を行ってください。

5-7 電話機から無線LANの設定を変更する

電話機から無線LANの次の設定を変更することができます。
なお、本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。
・無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定
・無線LAN動作モード、使用チャネル範囲

●電話機からの暗号化設定により、「無線ネットワーク名（SSID）」、「暗号化方式」、「暗号化キー」は上書きされます。
→すでに無線LAN接続されている機器がある場合、本商品と同じ設定に変更する必要がありますのでご注意ください。

1 ハンドセットを取りあげる

「ツー」という音を確認します。

2 電話機のダイヤルボタンを押す

＜本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合＞

【無線LAN設定】

機能	設定内容	操作
無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定 ※1	SSID-1の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 1 ＃ ＃
	SSID-2の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 2 ＃ ＃
	SSID-3の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 3 ＃ ＃
	SSID-4の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 4 ＃ ＃
IEEE802.11b+g/11g設定の無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）※2	する	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 1 1 ＃ ＃
	しない	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 1 2 ＃ ＃
IEEE802.11a設定の無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）※2	する	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 2 1 ＃ ＃
	しない	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 2 2 ＃ ＃
IEEE802.11b+g/11g設定の無線LAN動作モード ※3	IEEE802.11g/IEEE802.11b互換にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 3 1 ＃ ＃
	IEEE802.11g固定にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 3 2 ＃ ＃
IEEE802.11a設定の使用チャネル範囲 ※4 ※5	W52にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 1 ＃ ＃
	W52/W53にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 2 ＃ ＃
	W52/W53/W56にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 3 ＃ ＃

※1 無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定の設定内容については、5-34、5-35ページを参照してください。
※2 初期値は、無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）をしないになっています。
※3 IEEE802.11b+g/11g設定の無線LAN動作モードの初期値は、IEEE802.11g/IEEE802.11b互換です。
※4 IEEE802.11a設定の使用チャネル範囲の初期値はW52です。
※5 W52は5.2GHz帯、W53は5.3GHz帯、W56は5.6GHz帯の周波数を使用しています。

<無線 LAN カード（SC-40NE）をご利用の場合>

【無線 LAN 設定】

機能	設定内容	操作
無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定 ※1	SSID-1 の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 1 # #
	SSID-2 の設定	＊ ＊ ＊ 0 1 ＊ 2 # #
無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）※2	する	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 1 # #
	しない	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 2 # #
無線 LAN 動作モード ※ 3	IEEE802.11b/g/n 互換にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 3 # #
	IEEE802.11b/g 互換にする	＊ ＊ ＊ 0 2 ＊ 4 # #

※ 1 無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定の設定内容については、5-34、5-35 ページを参照してください。
※ 2 初期値は、無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）をしないになっています。
※ 3 無線 LAN 動作モードの初期値は、IEEE802.11b/g/n 互換です。

「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れ、設定値が反映されます。

3 **ハンドセットを置く**

【電話機から設定する場合の無線ネットワーク名（SSID）と暗号化の設定内容】

電話機から設定した場合、設定される無線ネットワーク名（SSID）、暗号化方式、事前共有キー（PSK）、WEP キーは次のとおりです。

＜本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合＞

① SSID-1 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RTA300NE-xxxxxx-1 （xxxxxx は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下６桁）
無線の暗号化方式	WPA-PSK（TKIP）
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

② SSID-2 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RTA300NE-xxxxxx-2 （xxxxxx は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下６桁）
無線の暗号化方式	WEP（128bit）
使用する WEP キー（キーインデックス）	WEP キー 1
WEP キー 1	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

③ SSID-3 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RTA300NE-xxxxxx-3 （xxxxxx は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下６桁）
無線の暗号化方式	WPA-PSK（TKIP）
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

④ SSID-4 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RTA300NE-xxxxxx-4 （xxxxxx は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下６桁）
無線の暗号化方式	WPA-PSK（TKIP）
WEP キー 1	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

<無線 LAN カード（SC-40NE）をご利用の場合>

① SSID-1 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RTA300NE-xxxxxx-1 （xxxxxx は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下６桁）
無線の暗号化方式	WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）
事前共有キー（PSK）	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

② SSID-2 に設定した場合

無線ネットワーク名（SSID）	RTA300NE-xxxxxx-2 （xxxxxx は本商品の WAN 側の MAC アドレスの下６桁）
無線の暗号化方式	WEP（128bit）
使用する WEP キー（キーインデックス）	WEP キー 1
WEP キー 1	○○○○○○○○○○○○ Z （○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

本商品の工場出荷状態では①②③④の値がそれぞれ SSID-1、SSID-2、SSID-3、SSID-4 に設定されています。

!

- **事前共有キー（PSK）および WEP キーをお客様自身で設定する場合、第三者に推測されにくいキーを登録してください。また暗号化キーおよび品名紙記載の情報は、お客様にて厳重に管理してください。WEP をご利用の際は、より強固なセキュリティとするため MAC アドレスフィルタリングを併用してください。（詳しくは「機能詳細ガイド」の［MAC アドレスフィルタリング］を参照してください。）**
- **電話機から WEP（128bit）に設定した場合、お客様自身で設定した WEP キー 2 ～ 4 は消去されますのでご注意ください。**

※本商品の無線ネットワーク名（SSID）、MAC アドレスは本商品側面に記載されています。

SSID-1（初期値）：RTA300NE-xxxxxx-1
SSID-2（初期値）：RTA300NE-xxxxxx-2
SSID-3（初期値）：RTA300NE-xxxxxx-3
SSID-4（初期値）：RTA300NE-xxxxxx-4

※実際のデザインは、イラストと異なる場合があります。

MACアドレス
○○：○○：○○：○○：○○：○○
⇩
事前共有キー（PSK）・WEPキー
○○○○○○○○○○○○ Z
（○○○○○○○○○○○○は、本商品の WAN 側の MAC アドレス 12 桁、Z は半角大文字）

お知らせ

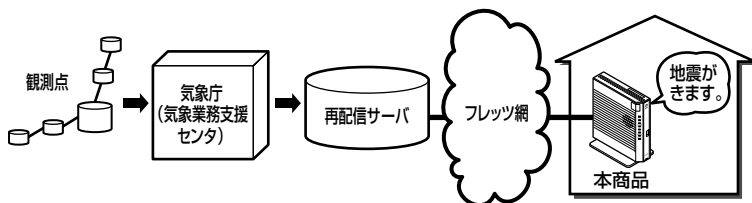
- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。（「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書などをご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1 台の電話機で設定中に 2 台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえるか、「設定に失敗しました。再度設定してください。」と音声ガイダンスが流れます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など）、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。
- 本商品を IEEE802.11a（W52 、W53）で使用する場合、屋外での使用は法令により禁止されています。
- IEEE802.11a（W53）または IEEE802.11a（W56）を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。
  - ・各チャネルの通信開始前に、1 分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
  - ・通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS 機能により自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。
  - ・DFS 機能により自動的にチャネルを変更した場合は W52 のチャネルに再設定します。
- 使用チャネル範囲を変更するとご利用になるチャネルは自動的に設定されますので、ご利用の無線 LAN 端末によっては接続ができなくなる場合があります。

6 緊急地震速報サービスのご利用について

この章では、本商品の緊急地震速報サービスの利用方法について説明しています。

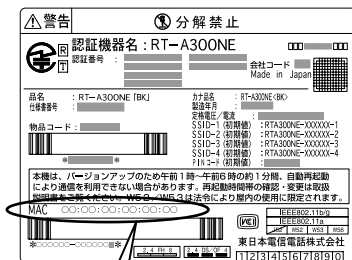
※緊急地震速報サービスをご利用いただくためには、地震速報配信サービスのご契約が必要です。

6-1 緊急地震速報サービスの紹介

緊急地震速報サービスは、気象庁から通知される「地震速報」を受信し、地震に関する情報（予測震度、到達猶予時間など）をスピーカから音声で通知します。

緊急地震速報サービスをご利用するためには、あらかじめ、IPv6 アドレスが利用できるフレッツ回線（フレッツ 光ネクストまたは Bフレッツの契約が必要です。）と下記の配信サービスのご契約が別途必要となります。

緊急地震速報サービスの配信サービス内容の詳細については、以下のホームページをご確認ください。
　緊急地震速報 フレッツタイプ（NTT コミュニケーションズ）
　http://506506.ntt.com/internet/jishin/

MAC アドレスの確認方法

緊急地震速報サービスのご契約の際には、本商品の MAC アドレスの登録が必要です。
本商品の MAC アドレスは本商品側面に貼付の品名ラベルでご確認ください。

お知らせ

●品名ラベルに記載されている MAC アドレスは WAN 側の MAC アドレスです。

ご利用上の注意点

- 緊急地震速報サービス起動中は、定期的に地震速報配信サーバと通信しています。ACT ランプが緑点灯または緑点滅していることを確認してください。ACT ランプが消灯している場合は、「2-1　設置・接続」の「回線に接続する」（☛2-7 ページ）をご覧のうえ、配線の確認をしてください。
- 「Web 設定」の［緊急地震速報設定］－［速報通知設定］－［速報通知音設定］で［通知音量］を「消音」に設定すると、地震速報を受信したときの音声が本商品のスピーカから出力されません。
- 「Web 設定」の［緊急地震速報設定］－［速報通知設定］－［通信異常時の通知音設定］で［通知音量］を「消音」に設定すると、地震速報が受信できないことをお知らせする通知音が本商品のスピーカから出力されません。
- 地震の到達猶予時間が－５秒より小さい場合は通知されません。

6-2 緊急地震速報サービスの設定手順

気象庁から通知される「地震速報」を受信し、地震に関する情報（予測震度、到達猶予時間など）をスピーカから音声で通知します。
※地震その他の災害に伴う混乱、事故、損害については本サービスとは無関係であり、当社はいかなる場合も一切の責任を負わないものとします。

緊急地震速報設定

1 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く

2 メニューの［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］を選択する

3 緊急地震速報サービス機能（NTTコミュニケーションズ提供）の「使用する」にチェックをし［設定］をクリックする

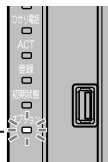
4 〈ご注意〉を十分に理解したうえで［OK］をクリックする

5 ［入力方法］を選択する
（工場出荷状態は「緯度・経度」です。）

6 ［緯度］、［経度］を入力する
入力は小数点で入力してください。
「緯度・経度」の検索方法については、当社ホームページをご確認ください。
http://flets.com/jishin/index.html

7 ［地盤増幅度］を入力する
地盤増幅度は以下の当社ホームページをご確認のうえ、適切な数値を入力してください。
http://flets.com/jishin/index.html

8 ［設定］をクリックする

9 本商品前面のオプションランプが橙点灯することを確認する
本商品のスピーカから「緊急地震速報サービスが利用できます。」と音声ガイダンスが流れます。
※橙点灯するまで時間がかかる場合があります。

お知らせ

- 地盤増幅度は設置場所に応じて正しく設定してください。
- 地盤増幅度は気象庁により変更されることがあります。本商品を適切にお使いいただくには、定期的に地盤増幅度を確認してください。
  ※旧データなど不適切な使用により生じた損害に関しては責任を負いかねます。

デモンストレーション

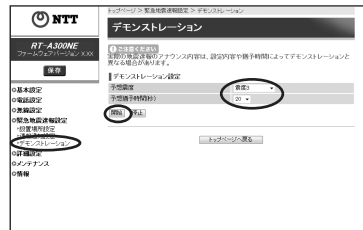
地震速報受信時のデモンストレーションを行います。

1 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く

2 メニューの［緊急地震速報設定］－［デモンストレーション］を選択する

3 ［予想震度］を選択する
（工場出荷状態は「震度３」です。）

4 ［予想猶予時間（秒）］を選択する
（工場出荷状態は20秒です。）

5 ［開始］をクリックする
「緊急地震速報のデモンストレーションを開始します。」と音声ガイダンスが流れ、地震速報受信時のデモンストレーションを開始します。
※［停止］をクリックすると、地震速報受信時のデモンストレーションを停止します。

6
緊急地震速報サービスのご利用について

お知らせ

●実際にサービスを利用する場合は、必ずデモンストレーションを実施し、ガイダンスの内容・音量などをご確認ください。

6-3 地震速報を受信した場合の動作

本商品が地震速報を受信すると、本商品のスピーカから音声で、地震に関する情報（予測震度、到達猶予時間など）を通知し、本商品前面のオプションランプが橙色の速い点滅をします。
なお、地震の到達猶予時間や設定内容によって通知内容が異なる場合があります。

音声例：

例1）震度6強、到達猶予時間10秒の地震が発生した場合（工場出荷設定時）

本商品が地震速報を受信すると下記のような音声ガイダンスが流れます。

約10秒前：ポーン（サイン音）
震度6強の地震がきます（繰り返す）
地震発生：揺れがおさまるまで身をまもってください。
あわてて外に飛び出さないようにしてください。
揺れがおさまったら火の元を確認し安全な場所に避難してください。
報道機関や自治体からの情報に注意して冷静に行動しましょう。

例2）震度3、到達猶予時間33秒の地震が発生した場合（工場出荷設定時）

本商品が地震速報を受信すると下記のような音声ガイダンスが流れます。

約30秒前：ポーン（サイン音）
30秒後に震度3の地震がきます
揺れがおさまるまで身をまもってください
約20秒前：20秒後に震度3の地震がきます
揺れがおさまるまで身をまもってください
約10秒前：プッ、10、9、8、7、6、5、4、3、2、1
地震発生：揺れがおさまるまで身をまもってください。
あわてて外に飛び出さないようにしてください。
揺れがおさまったら火の元を確認し安全な場所に避難してください。
報道機関や自治体からの情報に注意して冷静に行動しましょう。

※本商品の設定内容によっては、通知内容が上記とは異なる場合があります。

お知らせ

- 地震速報を受信した時のメッセージと音量は、「Web設定」で設定できます。設定方法の詳細については「機能詳細ガイド」をご覧ください。
- 地震速報を受信して地震速報を通知中には、本商品の設定や再起動、バージョンアップは行えません。

6-4 緊急地震速報サービスの停止手順

緊急地震速報サービスを停止するには、次の手順を行ってください。

1 「Web設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時))を開く

2 メニューの［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］を選択する

3 ［緊急地震速報サービス機能］の「使用する」のチェックを外す

4 ［設定］をクリックする

お知らせ

- 「Web設定」の［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］で［緊急地震速報サービス機能］のチェックが入っていても、緊急地震速報サービスのご契約をされていない場合や、ご契約を解除した場合は、緊急地震速報サービスはご利用になれません。
- 緊急地震速報サービスに未加入の場合は、「Web設定」の［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］で［緊急地震速報サービス機能］の「使用する」のチェックを外してください。「使用する」にチェックがあると常にオプションランプが遅く橙点滅します。

6-5 通信異常時の動作

緊急地震速報サービス起動中は、定期的に地震速報配信サーバと通信しています。
地震速報配信サーバとの通信が一定時間遮断されると、通知音とオプションランプでお知らせします。
※フレッツ回線の工事を実施した場合にも地震速報配信サーバとの通信が一定時間遮断されると、通信異常時の通知音でお知らせします。

通信異常時の通知音の設定

通信異常時の通知音については以下の設定が可能です。
設定方法については「機能詳細ガイド」をご覧ください。
・通信異常時の通知機能を使用するか使用しないか。
・通知音量の設定（大、中、小、消音）
・ナイトモード機能（毎日同じ時間を指定して、通信異常時の通知音を消音する機能）

7 USB 機能のご利用について

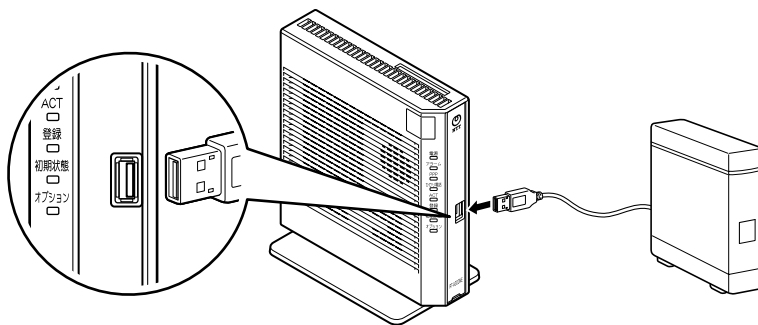
この章では、USB 機器の利用について説明しています。

7-1 USB ポートに USB 機器を取り付ける

ここでは、USB 機器の取り付けかた、取り外しかたについて説明しています。

USB 機器を取り付けるとき

USB 機器を取り付ける場合は、下記のことにご注意ください。

- ・必ず本商品本体を押さえて取り付けてください。
- ・コネクタ部分に手を触れないようにしてください。
- ・コネクタの向きに注意して、無理に押し込まないようにしてください。
- ・複数の USB 機器を接続する場合は、USB-HUB を介して接続してください。
- ・USB-HUB は、最大２段まで接続できます。
- ・USB-HUB は、１段目の USB-HUB を含め最大５個まで接続できます。
- ・本商品の USB ポートに接続した USB 機器（外付けハードディスクなど）を取り外した場合は、10 秒以上たってから取り付けてください。

※正常に認識されると「USB ポートに機器が見つかりました。」と音声ガイダンスが流れ、オプションランプが青色に３回点滅したあと、２秒間点灯します。

STOP お願い

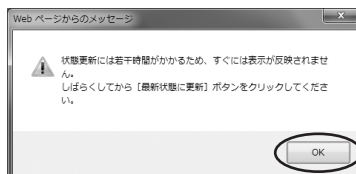
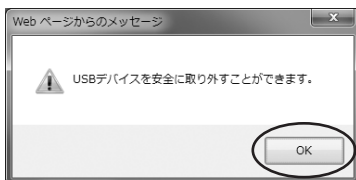
- ●外付けハードディスクやプリンタを接続する際は、セルフパワー方式（外部から給電する方式）でご使用ください。（USB-HUB もセルフパワー方式でご使用ください。）
- ●本商品に接続する USB 機器（外付けハードディスクなど）はお客様でご用意ください。
- ●お客様でご用意された USB 機器（外付けハードディスクなど）に保存したデータは定期的にバックアップを取り、紛失・破損などが起こった場合のデータの消失防止措置をおとりください。保存されたデータの破損・消失などにつきましては使用形態にかかわらず、いかなる保証もいたしかねます。
- ●本商品に接続した USB 機器（USB-HUB を含む）の数だけ音声ガイダンスが流れます。
- ●以下の仕様を満たしたハードディスクでご利用いただけます。
  インタフェース：USB2.0/1.1、フォーマット：FAT32、電源：セルフパワー
- ●USB ポートに接続した USB 機器内のファイルへアクセス中に、USB 機器を本商品から外したり、本商品の電源を切ったりすると、アクセス中のデータが壊れる場合がありますので、ご注意ください。
- ●パソコンから USB ポートに接続した USB 機器内のファイルへデータを書き込み中に、パソコンを本商品から外すと、データが正常に書き込まれない場合がありますので、ご注意ください。
- ●USB ポートに USB 機器を取り付けた際に、「USB ポートの異常を検出しました。」と音声ガイダンスが流れ、本商品前面のアラームランプが最大 10 秒間赤点滅した場合は、USB 機器が正しく検出されていません。その場合は、10-3 ページをご確認ください。
- ●USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流となった場合、自動的に給電を遮断します。その場合は USB 機器がご利用になれませんのでご注意ください。
- ●「Web 設定」の［詳細設定］－［内蔵スピーカ音量設定］で音量を「消音」に設定している場合は本商品のスピーカから音声ガイダンスは流れません。

USB 機器を取り外すとき

ファイルサーバ、メディアサーバ機器の取り外しについて

USB 機器を取り外す場合は下記の手順にしたがって取り外してください。

1. 「Web 設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時))を開く
2. メニューの［メンテナンス］－［ストレージ機器メンテナンス］を選択する
3. 取り外す USB 機器の［取り外し］をクリックする

4. ［OK］をクリックする

5. ［OK］をクリックする

6. USB 機器を取り外す

!
本商品の USB ポートに接続した USB 機器（外付けハードディスクなど）を取り外した場合は、10 秒以上たってから取り付けてください。

プリンタサーバ機器の取り外しについて

プリンタの取り外しは、プリンタの電源を切ってから、USB ケーブルを抜き差ししてください。

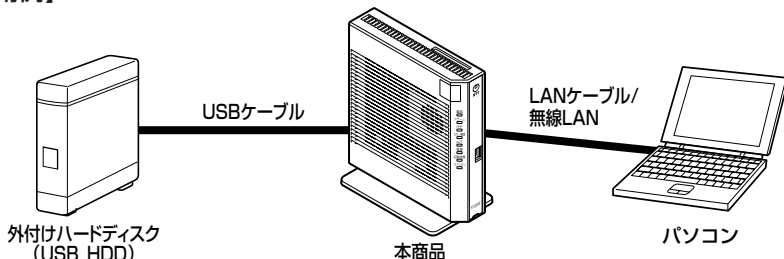
その他の USB 機器の取り外しについて

その他の USB 機器の取り外しについては、それぞれの USB 機器に付属している取扱説明書などをご確認ください。

7-2 各種サーバ機能について

ファイルサーバ

本商品のUSBポートに接続した外付けハードディスクをファイルサーバとして利用することができます。ファイルサーバのデータには、本商品のLAN側に接続されたパソコンからアクセスします。
本機能は、Mac OSの場合Mac OS X 10.5、10.6にのみ対応しています。

【利用例】

お知らせ

- 複数のファイルを同時に処理（コピー、貼り付けなど）できる数には限りがあります。エラーが表示された場合には、実行中の処理が終了してからやり直してください。
- 外付けハードディスクは1台のみ認識します。
- 本商品に接続した外付けハードディスクに複数のパーティションがある場合は、プライマリパーティションのみを認識します。
- 本商品から認識できるファイルサーバのファイルシステムはFAT32/FAT16/FAT12です。他のファイルシステムは認識できませんのでご注意ください。
- FAT32/FAT16/FAT12のファイルシステムの機器を接続した場合、フォーマット形式には「FAT32」と表示されます。
- ファイルサーバは「Web設定」でフォーマットすることができます。フォーマット後のファイルシステムは「FAT32」になります。
  複数のパーティションがある場合は、プライマリパーティションのみフォーマットされます。
- USB機器をフォーマットした場合は、USB機器に保存されているデータ（複数のパーティションがある場合はフォーマット対象のパーティションのデータ）は消去されますのでご注意ください。
- ネットワーク上の共有名（ファイルサーバ名）は「Web設定」で変更できます。（工場出荷状態は「RT-A300NE」です。）

お願い

- 外付けハードディスク内のファイルを開いているときは、本商品のバージョンアップを行うことができない場合があります。（☛9-4ページ）
  利用しないときは必ずファイルを閉じてください。
- USB機器の取り付けかた、取り外しかたは、「7-1　USBポートにUSB機器を取り付ける」（☛7-2ページ）を参照してください。
- 複数のファイルのコピーなど、並行して操作できるタスク数には限りがあります。エラーが表示された場合はいったんタスクが終了するのを待って、同時に操作しているタスクの数を減らしてからやり直してください。
- ファイルサーバ機能を使用中でも、ファームウェアの自動バージョンアップ機能により本商品が再起動する場合があります。ただし、ファイルの編集中、移動中、コピー中には自動バージョンアップ機能は動作しません。

ファイルサーバへのアクセス方法（Windows® 7/Windows Vista® の場合）

Windows® 7/Windows Vista® をご利用の場合、ファイルサーバのデータには、次の手順でアクセスします。
以下は、Windows® 7/Windows Vista® を使用している場合の例です。
※ Windows® XP をご利用の場合のアクセス方法については「機能詳細ガイド」を参照してください。

1　［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［コンピューター］－［ネットワーク］を選択する

> **Windows Vista® の場合**
> ［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［ネットワーク］を選択します。

2　［RT-A300NE］のアイコンをダブルクリックする

ファイルサーバ内のフォルダが表示されます。※

※「RT-A300NE」のアイコンが表示されない場合は、アドレスバーに「¥¥RT-A300NE」と入力し、表示を更新してください。

お知らせ

- ●アイコンが表示されるまでしばらく時間がかかる場合があります。
- ●アクセス制限が「使用する」に設定されている場合は、ログイン画面が表示されます。アクセス制限の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

お願い

- ●Windows® 7 をご利用の場合は、パソコンの［コントロールパネル］－［ネットワークとインターネット］－［ネットワークと共有センター］－［共有の詳細設定の変更］で、［ネットワーク探索］と［ファイルとプリンタの共有］を有効にしてください。
- ●Windows Vista® をご利用の場合は、パソコンの［コントロールパネル］－［ファイルの共有の設定］で、［ネットワーク探索］と［ファイル共有］を［有効］にしてください。

ファイルサーバへのアクセス方法（Mac OS X の場合）

Mac OS X 10.5、10.6 をご利用の場合、USB 機器内のファイルへは、次の手順でアクセスします。

1 ［移動］－［サーバへ接続］を選択する

2 ［サーバへ接続］ダイアログが表示されるので、［サーバアドレス］に「smb://ntt.setup」もしくは「smb://192.168.1.1」（工場出荷時）を入力する

3 ［接続］をクリックする

4 「名前」にユーザ名が入っていることを確認し［接続］をクリックする

※「詳細設定」－「ファイルサーバ設定」－「共有フォルダ設定」でアクセス制限をかけている場合は、設定したユーザ名とパスワードを入力して［接続］をクリックしてください。

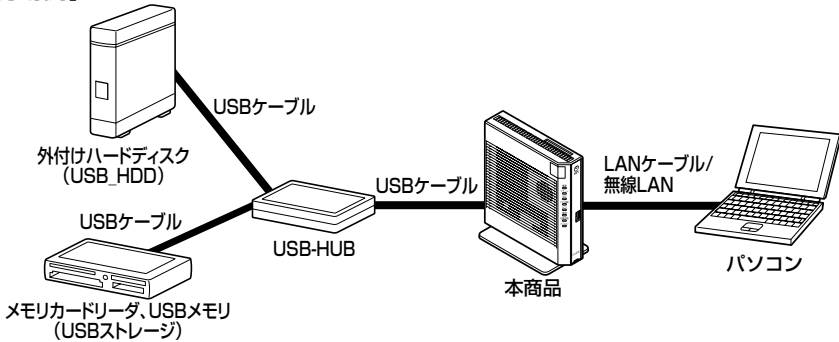
5 マウントするボリュームを選択し、［OK］をクリックする

フォルダ内のファイルなどが表示されます。

●アクセス制限が「使用する」に設定されている場合は、ログイン画面が表示されます。アクセス制限の詳細については「機能詳細ガイド」を参照してください。

データ自動コピー機能を利用してデータをコピーする

「データ自動コピー機能」を利用して、本商品に接続されたメモリカードを挿入したメモリカードリーダやUSBメモリから外付けハードディスクに、自動でデータをコピーすることができます。

【利用例】

■データ自動コピー機能を利用してデータをコピーする

1 本商品のUSBポートにUSB-HUBを接続する

2 USB-HUBにコピー先の外付けハードディスクを接続する

3 「Web設定」で［詳細設定］－［ファイルサーバ設定］－［データ自動コピー］－［データ自動コピー］の「データ自動コピー機能」を「使用する」に設定する

4 ［設定］をクリックする

接続した外付けハードディスクが、データの受信側機器として本商品に登録されます。

5 ［受信側機器選択］の「USB_HDD」が「登録済」と表示されていることを確認する

6 データの送信元となるメモリカードリーダもしくはUSBメモリをUSB-HUBに接続する

メモリカードリーダを接続した場合は、メモリカードを挿入してください。本商品がデータ送信元としてメモリカードを挿入したメモリカードリーダやUSBメモリを自動認識し、データ自動コピーを開始します。データ自動コピー実行中は本商品のオプションランプが速く青点滅します。

※［中止］をクリックするとデータ自動コピーを中止します。

※データをコピー中に、データ自動コピー機能の「使用する」のチェックを外し、［設定］をクリックした場合、直ちにデータ自動コピーを中止します。

■コピー先に指定する外付けハードディスクを変更する場合

外付けハードディスクを変更する場合は、本商品の［受信側機器選択］の登録を削除してから、変更する外付けハードディスクを登録してください。
※登録されているUSB機器のみファイルサーバとして利用できます。

1. **「Web設定」で［メンテナンス］－［ストレージ機器メンテナンス］で［取り外し］をクリックして、現在使用している外付けハードディスクを取り外す**
2. **［詳細設定］－［データ自動コピー］－［受信側機器選択］で取り外すストレージ機器の［解除］をクリックする**
3. **変更する外付けハードディスクをUSB-HUBに接続する**
4. **接続しているメモリカードリーダにメモリカードを挿入するか、USBメモリを接続する**

お知らせ

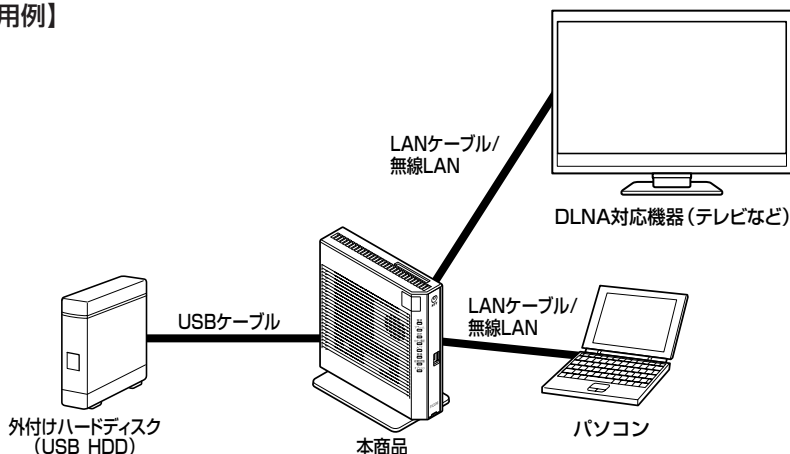
- ●外付けハードディスクおよびメモリカードを挿入したメモリカードリーダは、ファイルシステムがFAT32/FAT16/FAT12のみ認識します。他のファイルシステムは認識できません。
- ●本機能は、起動（または再起動）してから使用可能な状態になるまで約2分間かかります。コピー元のデータがあるメモリカードを挿入したメモリカードリーダやUSBメモリは使用可能な状態になってから接続してください。
- ●「データ自動コピー機能」を「使用する」に設定したあと、コピー元のデータがあるメモリカードリーダもしくはUSBメモリを接続してください。
- ●コピー先に使用する外付けハードディスクを本商品に登録していない状態で、複数の外付けハードディスクを接続し、本商品を起動または再起動した場合、最初に認識した機器1台のみコピー先として登録します。
- ●データ自動コピー実行中は再起動および自動バージョンアップは行えません。
- ●本商品のデータ自動コピー機能が「使用しない」に設定されていると、コピーできません。「機能詳細ガイド」を参照して「使用する」に設定してください。（初期値は「使用しない」に設定されています。）
- ●データ自動コピー機能を利用して、外付けハードディスクに保存されたデータは、メディアサーバ機能を利用してDLNA対応機器に表示できます。詳細は、「メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する」（☛7-10ページ）を参照してください。
- ●「Web設定」画面を開いた状態で、USB機器を接続しても画面は更新しません。画面を更新する場合はメニューの［詳細設定］－［ファイルサーバ設定］－［データ自動コピー］をクリックしてください。

STOP お願い

- ●メモリカードリーダ、USBメモリを取り外す場合は、オプションランプが青く点滅（データ自動コピー実行中）していないかを確認してください。
- ●データ自動コピー実行中（オプションランプ青点滅中）にコピー元のメモリカードを挿入したメモリカードリーダやUSBメモリの取り外しはしないでください。コピーができない場合があります。
- ●USB-HUBは最大2段まで接続できます。
- ●コピー先（外付けハードディスク）と、コピー元（メモリカードを挿入したメモリカードリーダやUSBメモリ）は各1台ずつのみ認識します。
- ●コピーしたデータのファイル名が長すぎると、本商品に接続したパソコンでファイルの操作ができない場合があります。
- ●データのコピーに失敗した場合、本商品のアラームランプが10秒間赤点滅します。
- ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「データ自動コピー」が実行できない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから実行してください。

メディアサーバ

本商品のUSBポートに接続した外付けハードディスクに保存されたコンテンツを、本商品のLAN側に接続したDLNA対応機器で視聴することができます。

【利用例】

メディアサーバ機能を利用してコンテンツを視聴する

1 本商品のUSBポートに外付けハードディスクを接続する

2 本商品のLAN側に接続したパソコンから、外付けハードディスク内のメディアサーバ用のフォルダ「media-HDD¥contents」にコンテンツを保存する

外付けハードディスクへのコンテンツ保存フォルダは「media-HDD¥contents」（メディアサーバ用フォルダ）となります。

3 本商品のLAN側に接続したDLNA対応機器でコンテンツを視聴する

お知らせ

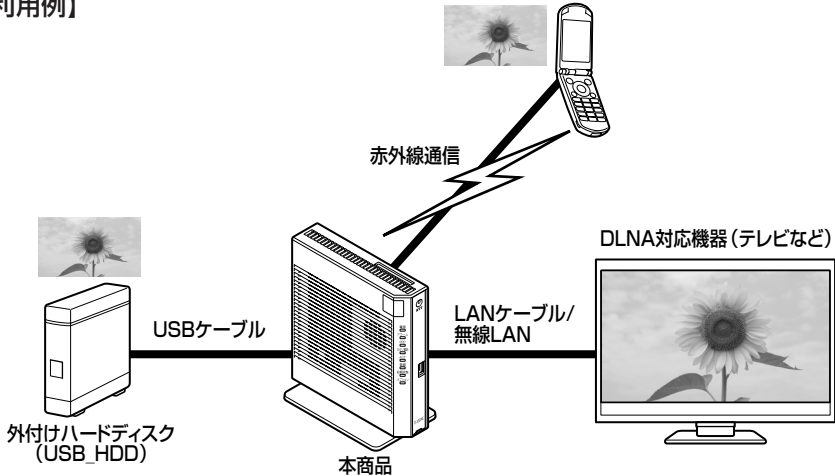
●本商品のメディアサーバ機能が「使用しない」に設定されていると、DLNA対応機器でコンテンツを視聴することができません。「機能詳細ガイド」を参照して「使用する」に設定してください。（工場出荷状態は「使用する」に設定されています。）

お願い

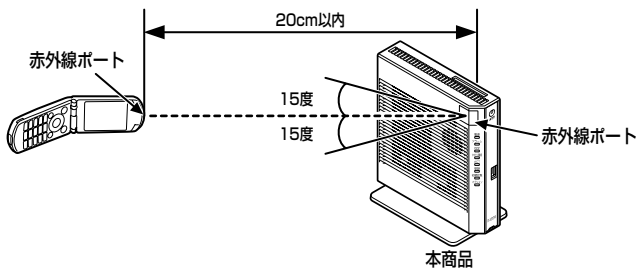
●保存できるコンテンツの数には限りがあります。
●表示できるコンテンツの件数は最大1000件です。
●メディアサーバ機能使用中でも、ファームウェアの自動バージョンアップ機能により本商品が再起動する場合があります。
●コンテンツ視聴中にファイルサーバ機能を利用してファイルサーバへファイルなどのアップロードを同時にした場合、視聴映像が乱れる場合があります。

赤外線受信機能を利用する

本商品の赤外線受信機能を利用して、携帯電話から送信された画像データを、本商品のUSB ポートに接続した外付けハードディスクに保存することができます。
本機能をご利用いただく場合は、外付けハードディスクが必要となります。

【利用例】

携帯電話の画像データを USB 機器に送信する

1 **携帯電話に保存されている画像データを赤外線で送信する**

赤外線通信の通信距離は 20cm 以内にしてください。赤外線放射角度は中心から 15 度以内です。
赤外線通信は、本商品の赤外線ポート側に向けてデータを送信してください。
送信方法の詳細については、各携帯電話の取扱説明書などでご確認ください。

7
USB機能のご利用について

データの受信を確認する

1 受信データが外付けハードディスク内の「media-HDD¥contents」フォルダに保存されていることを確認する

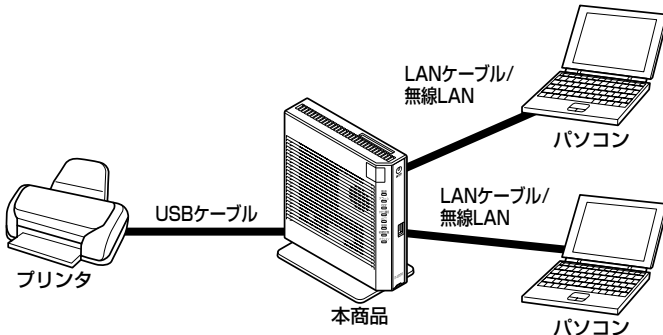
受信データは、外付けハードディスク内のメディアサーバ用フォルダ「media-HDD¥contents」に自動的に保存されます。

お知らせ

●赤外線受信機能はすべての携帯電話による動作を保証するものではありません。
●直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常にできない場合があります。
●本商品は、IrSimple™/IrSS™通信および従来の赤外線通信に対応しております。

プリントサーバ

本商品のUSBポートに接続したプリンタを本商品のLAN側に接続した複数のパソコンから利用することができます。

【利用例】

プリントサーバの設定をする

ここでは、Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XPの場合を例に説明しています。

1　プリンタの取扱説明書を参照して、プリンタドライバをパソコンにインストールする

2　プリンタをパソコンから外し、本商品のUSBポートに接続する

他のUSB機器（外付けハードディスクなど）と合わせてご使用の場合は、本商品のUSBポートにUSB-HUBを接続してからプリンタを接続してください。

3　[スタート]（Windows® のロゴボタン）－[コントロールパネル] －[ハードウェアとサウンド]を選択し、[デバイスとプリンター]をクリックする

> **Windows Vista® の場合**
> [スタート]（Windows® のロゴボタン）－[コントロールパネル] －[ハードウェアとサウンド]を選択し、[プリンタ]をクリックします。

> **Windows® XPの場合**
> [スタート] －[コントロールパネル]を選択し、[プリンタとその他のハードウェア] －[プリンタとFAX]を選択します。

4　インストールしたプリンタのドライバアイコンがあることを確認する

※パソコンからプリンタを外すとプリンタが「オフライン」になる場合があります。その場合は、プリンタのアイコンを右クリックし、「印刷ジョブの表示」を選択します。メニューの[プリンター]をクリックし、「プリンターをオフラインで使用する」のチェックを外してください。

> **Windows Vista®/Windows® XPの場合**
> プリンタのアイコンを右クリックし[プリンタをオンラインで使用する]をクリックしてください。

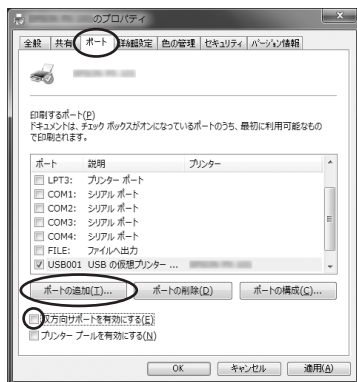
（次ページに続く）

5 インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、[プリンターのプロパティ]をクリックする

> **Windows Vista®/Windows® XPの場合**
> インストールしたプリンタのアイコンを右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

6 [ポート]タブをクリックする

7 [双方向サポートを有効にする]のチェックを外す

8 [ポートの追加]をクリックする

9 [Local Port]を選択し、「新しいポート」をクリックする

10 プリントサーバのポート名に「¥¥ファイルサーバ名¥lp」を入力する

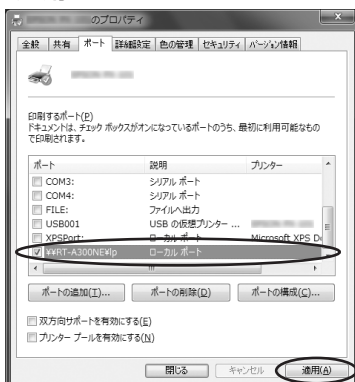
初期値：「¥¥RT-A300NE¥lp」

11 [OK]をクリックする

画面に「ネットワークパスが見つかりません。」と表示されたときは、入力した内容が、間違っています。[OK]をクリックし、文字列を正確に入力し直してください。

12 「プリンタポート」画面を閉じる

13 手順10で入力したポート名が登録されて、チェックマークがついていることを確認する

14 [適用]をクリックする

15 [全般]タブをクリックして、[テストページの印刷]をクリックする

テストページが印刷されたら、印刷に必要な設定はすべて完了です。

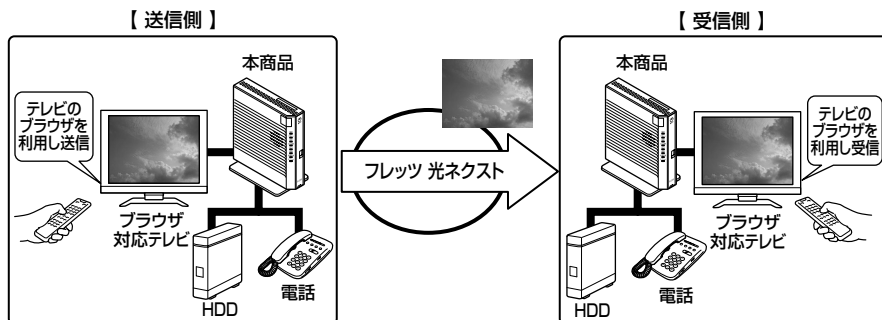
STOP お願い

- プリントサーバ機能は、Windows® 7、Windows Vista® および Windows® XPのみに対応しています。Mac OSからは、プリントサーバ機能はご利用になれません。
- 本商品にプリンタを接続した状態では、プリンタの設定が変更できない場合があります。プリンタの設定が変更できない場合は、プリンタを本商品から外しパソコンに接続して設定の変更を行ってください。設定の変更終了後、本商品にプリンタを接続してください。
- プリンタは、1台のみ認識します。
- プリントサーバ機能では、プリンタの状態（インク残量など）の確認や複合機のスキャナ機能などはご利用になれません。
- プリンタの取り付け・取り外しは、プリンタの電源を切ってからUSBケーブルを抜き差ししてください。
- プリントサーバ機能を使用して印刷をしている場合は、「Web設定」などでの本商品の再起動を伴う操作は行えない場合があります。

8 写真共有機能

写真共有機能をご利用になる場合は、こちらをご覧ください。

8-1 写真共有機能の紹介

写真共有機能とは、本商品の USB ポートに接続した外付けハードディスクに保存している写真を、テレビを利用して通話しながら簡単に相手に送信できる機能です。
受信側にも本商品の USB ポートに外付けハードディスクが接続されていれば、受信した写真を外付けハードディスクに保存することができます。

お知らせ

●本機能を利用するためには、送信側・受信側の両方に「データコネクト」のお申し込みが必要です。
●本機能を利用するためには、送信側、受信側の両方にひかり電話ルータ無線 LAN タイプを設置する必要があります。
●本機能は、JavaScript™ に対応していないブラウザではご利用になれません。
●本機能は、送信側、受信側ともにひかり電話ルータ無線 LAN タイプの電話機ポートに接続されたアナログ端末で通話している場合にご利用になれます。その他の電話機で通話中に本機能をご利用になる場合、通話が切断される場合があります。
●データ通信時の料金は、テレビ電話料金が適用されます。詳細は当社ホームページでご確認ください。(http://flets.com)
●本機能を利用する場合、電話発信側課金となります。(電話着信側から電話発信側に対してデータを送信した場合でも、電話発信側の課金となります。)
●本機能はアナログ端末２つで同時に通話している場合はご利用になれません。
●本機能を利用中は内線転送をご利用になれません。
●本機能を利用して写真などのデータを受信する場合に、通話相手からの受信を許容するか・許容しないかを設定することができます(☛3-18 ページ)
●Web ブラウザの「戻る」、「進む」、「更新」ボタンは使用しないでください。

8-2 写真共有機能を利用する

写真を送信する

1 **写真を送信したい相手に電話をかける（写真を送信したい相手から電話を受ける）**

※手順５の［送信］をクリックする前に、あらかじめ写真を送信する相手と通話してください。

※送信側、受信側ともにひかり電話ルータ無線 LAN タイプの電話機ポートに接続されたアナログ端末で通話してください。

2 **テレビのブラウザを起動し、以下のアドレスを入力する**

http://ntt.setup:8888/ t /photo_transfer/

もしくは http://192.168.1.1:8888/ t /photo_transfer/

※テレビのブラウザにブックマークを登録すると便利です。

3 **「見る/送る」をクリックする**

4 **送信したい写真を選択する**

※写真を大きく表示したい場合は［大きく表示］をクリックしてください。

（次ページに続く）

5 ［送信］をクリックする

画面上に「送信中です・・・しばらくお待ちください」と表示されます。

送信が完了すると「送信が完了しました」と表示されます。
※ご利用のテレビによっては自動的に表示されない場合があります。その際は［再読込］をクリックしてください。

お知らせ

●1 回の通話で送受信できる写真は 1 枚ずつ 3 枚（送信と受信の合計）までです。4 枚以上の写真を送受信する場合は、一度通話を終了し電話をかけ直してからご利用ください。
●写真を複数枚送信する場合は、1 枚ずつ送信が完了するのを待って送ってください。
●本商品の USB ポートに接続した外付けハードディスクの「media-HDD」フォルダ内の写真のみ送信することが可能です。
●送信できるファイル形式は JPEG です。（プログレッシブ JPEG は非対応です。）
●送信にあたって写真の解像度が変更される場合があります。ただし、送信側の外付けハードディスクの写真ファイル自体の変更はありません。
●送信側、受信側の両方またはいずれかがひかり電話ルータ無線 LAN タイプの電話機ポートに接続されたアナログ端末以外の電話機で通話している場合には、［送信］をクリックしたあと、通話が切断される場合があります。

写真を受信する

1 **写真を送信して欲しい相手に電話をかける（写真を送信して欲しい相手から電話を受ける）**

※写真を受信する前に、あらかじめ写真を受信する相手と通話してください。
※送信側、受信側ともにひかり電話ルータ無線 LAN タイプの電話機ポートに接続されたアナログ端末で通話してください。

2 **テレビのブラウザを起動し、以下のアドレスを入力する**

http://ntt.setup:8888/ t /photo_transfer/
もしくは http://192.168.1.1:8888/ t /photo_transfer/
※テレビのブラウザにブックマークを登録すると便利です。

3 **相手に写真を送ってもらう**

4 **写真を受信する**

受信を開始すると、画面上に「受信中です・・・しばらくお待ちください」と表示されます。
※ご利用のテレビによっては自動的に表示されない場合があります。その際は［再読込］をクリックしてください。

受信が完了すると「受信が完了しました」と表示され、自動的に受信した写真が表示されます。
※ご利用のテレビによっては自動的に表示されない場合があります。その際は［再読込］をクリックしてください。

お知らせ

●受信した最新の 1 枚のみが表示されます。また本商品を再起動すると写真は消去されます。
●本商品の USB ポートに接続した外付けハードディスクが接続されている場合は、受信した写真は自動的に外付けハードディスクの「media-HDD」フォルダ内に保存されます。接続されていない場合は、保存されません。
●本商品を再起動もしくは「見る/送る」をクリックすると、画像表示は消去されます。
●受信できるファイル形式は JPEG です。（プログレッシブ JPEG は非対応です。）
●受信にあたって写真の解像度が変更される場合があります。
●ご利用のブラウザによっては、画像が正常に表示されない場合があります。その際は［再読込］をクリックしてください。
●送信側、受信側の両方またはいずれかがひかり電話ルータ無線 LAN タイプの電話機ポートに接続されたアナログ端末以外の電話機で通話している場合には、［送信］をクリックしたあと、通話が切断される場合があります。

お願い

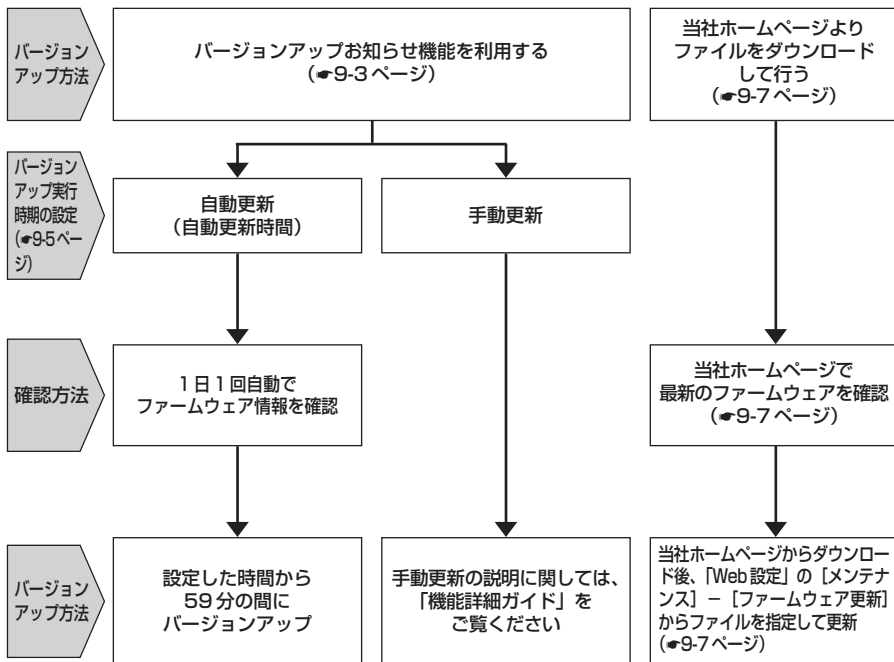
●複数台のテレビから写真共有のトップページを表示すると、写真が自動的に表示されない場合があります。その際は［再読込］をクリックしてください。

9 本商品のバージョンアップ

本商品のファームウェアを更新(バージョンアップ)します。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。

9-1 本商品のバージョンアップの流れ

本商品のバージョンアップは以下の手順で行います。
※本商品の初期値は、「自動更新」に設定されています。初期値のままご利用になることをお勧めします。自動更新の説明については 9-5 ページを参照してください。

9-2 バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップする

本商品のファームウェアを更新（バージョンアップ）します。
本商品を最適にご利用いただくために、最新のファームウェアに更新してご利用いただきますようお願いいたします。

※ファームウェアとは、本商品を動かすソフトウェアのことです。
※指定した URL から、本商品の現在のバージョンや更新種別を確認することができます。（☛9-8 ページ）

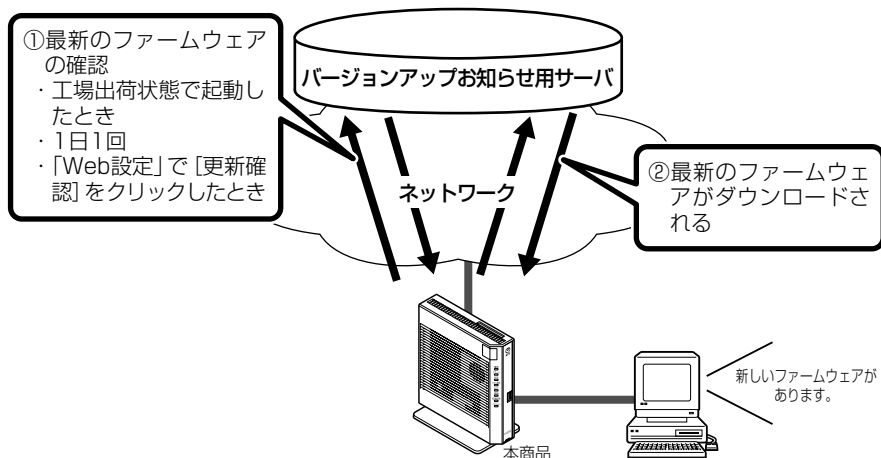
バージョンアップ方法には以下の２とおりの方法があります。

●バージョンアップお知らせ機能を利用する（☛ 下記）
1.バージョンアップお知らせ機能の機能概要
2.バージョンアップ実行時期を設定する
3.最新のファームウェアがあるか確認し、ダウンロードする
4.バージョンアップ方法

●当社ホームページよりファイルをダウンロードして行う（☛9-7 ページ）

バージョンアップお知らせ機能の機能概要

バージョンアップお知らせ機能は、当社バージョンアップお知らせ用サーバと通信を行い、最新のファームウェアの有無を自動確認する機能です。
最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードします。
この機能は、本商品を工場出荷状態で起動したとき（機能動作には、ひかり電話サービス契約が必要です。）、定期的に１日１回（機能動作には、ひかり電話サービス契約、またはインターネット接続の設定が必要です。）、および「Web 設定」で［更新確認］をクリックしたときに動作します。
最新のファームウェアが提供されている場合は、以下の方法で確認することができます。

●本商品の「Web 設定」にて確認する
（「新しいファームウェアがあります。・・・。」と表示されます。）

お願い

- 本商品は自動的に最新のファームウェアの有無を確認し、最新のファームウェアが提供されている場合は自動的にダウンロードを行います。回線の接続状態などにより、ダウンロードに失敗した場合は、ファームウェア更新を実行するときにダウンロードも行います。なお、この機能の動作にはひかり電話サービス契約、またはインターネット接続の設定が必要です。
- 本商品に最新のファームウェアがダウンロードされた状態で、本商品を再起動すると、自動的に最新のファームウェアに更新されます。
- 本商品を工場出荷状態で起動したときに、最新のファームウェアが提供されている場合は、自動的に最新のファームウェアへ更新されます。最新のファームウェアをダウンロード後、本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービス契約が必要です。
- 緊急を要するファームウェアが提供された場合は、「ファームウェア更新種別」や「自動更新時間」の設定にかかわらず、ファームウェア更新が行われることがあります。本商品が再起動しますので、しばらくお待ちください。
- 本商品のバージョンアップによる再起動後一定期間は、緊急地震速報以外の音声ガイダンスが流れません。
- ファイルサーバ機能を利用し、USB 機器（外付けハードディスクなど）内のファイルを開いているときは、本商品のバージョンアップを行うことができない場合があります。その場合は、ファイルを閉じてから、再度ファームウェアの更新を行ってください。
- ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品のバージョンアップを行うことができない場合があります。ひかり電話使用終了後一定時間たってから再度、ファームウェアの更新を行ってください。
- バージョンアップを行うと本商品が再起動し通信は切断されます。バージョンアップを行う前に、LAN 側につないだパソコンなどの通信は終了させてください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
- ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）は、本商品のアラームランプが赤点灯し、初期状態ランプが橙点灯します。その後、アラームランプと初期状態ランプは消灯し、通常のランプ表示に戻ります。なお、この機能の動作には、ひかり電話サービス契約または、インターネット接続の設定が必要です。
- バージョンアップ中は、本商品の電源を切らないでください。
- お使いの本商品用以外のファームウェアを使ってバージョンアップを行うことはできません。無理にバージョンアップを行うと本商品が動作しなくなります。
- このバージョンアップは、すべての機能のバージョンアップを保証するものではありません。
- バージョンアップする前に現状の設定値を保存しておくことをお勧めします。
- 本商品の機能がバージョンアップされ、取扱説明書などの記載事項に変更・追加が生じた場合、取扱説明書などもバージョンアップされ、当社ホームページに公開されます。
最新の取扱説明書などが必要なときは、こちらもあわせてダウンロードしてください。

ファームウェアの自動更新

ファームウェアの更新種別を「自動更新」に設定した場合、最新のファームウェアが確認されると、あらかじめ設定された時間帯（初期値は午前１時〜午前５時のいずれか）にあわせて自動的にファームウェアの更新を行います。

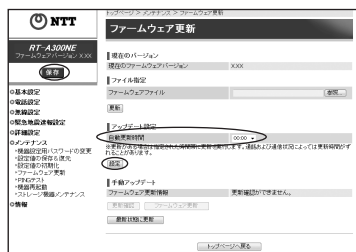
●「自動更新時間」を設定する

自動更新時間が『05:00』に設定されている場合は、「05:00 〜 05:59」の間に自動的にファームウェアの更新（再起動）を行います。

※再起動中は１〜２分程度、ひかり電話やインターネット、映像コンテンツ視聴などの各サービスがご利用いただけません。

※お客様のご利用状況によっては、設定された時間内にファームウェアの更新（再起動）が行われない場合があります。

<「Web 設定」で設定する場合>

1. 「Web 設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く
2. メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する
3. ［自動更新時間］を設定する
4. ［設定］をクリックし、［保存］をクリックする

＜電話機で設定する場合＞

本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

1 **電話機のハンドセットを取りあげる**

「ツー」という音を確認します。

2 **電話機のダイヤルボタンを「⊛ ⊛ ⊛ ⑧ ⑧ ② ⊛ 設定値 ⊕ ⊕」と押す**

設定値
24時間を2桁で入力します。 (00～23の2桁) 例）9時の場合：⓪ ⑨

設定が完了すると、電話中のハンドセットから「設定が完了しました。」と音声ガイダンスが流れます。

3 **ハンドセットを置く**

お知らせ

- 電話機から設定する場合は、電話機の電話回線ダイヤル種別を「PB」に設定してください。(「PB」にできない電話機からは、設定できません。）電話機の電話回線ダイヤル種別の設定方法は、電話機の取扱説明書をご覧ください。
- 設定を中止するにはハンドセットを置いてください。
- 1台の電話機で設定中に2台目の電話機から設定することはできません。
- 間違った番号をダイヤルすると、「ピピ、ピピ」とエラー音が聞こえます。いったんハンドセットを置いて、初めから設定をやり直してください。
- 本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。
- 電話機からの設定を行うと、ひかり電話の通話や内線通話、着信音（着信中のナンバー・ディスプレイ表示など)、通信が切断される場合があります。
- ひかり電話が使用できない場合は、電話機からの設定および内線通話がご利用になれません。
- 本商品を「手動更新」に設定している場合に、最新のファームウェアがあると、電話機のハンドセットを取りあげたときに「ピーピーピーピー」という音が「ツー」の前に聞こえます。この場合も通常と変わらず電話をかけられます。そのままダイヤルしてください。「⊛ ⊛ ⊛ ① ①」をダイヤルして本商品のファームウェア更新を行うと、「ピーピーピーピー」という音は停止します。

9-3 当社ホームページよりファイルをダウンロードしてバージョンアップする

「Web設定」の［メンテナンス］－［ファームウェア更新］からファイルを指定してバージョンアップする

ファームウェアを指定して本商品のバージョンアップを行うことができます。バージョンアップファームウェアは、当社の通信機器商品のご案内ホームページにアップロードしていく予定です。ダウンロード方法など、詳しくは、以下のホームページをご覧ください。

当社ホームページ　　http://web116.jp/ced/

バージョンアップファームウェアをダウンロードしたあと、更新を行います。
以下の手順にしたがってバージョンアップを行ってください。

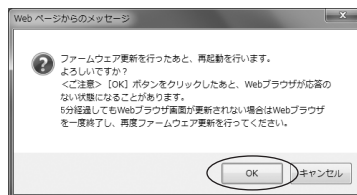
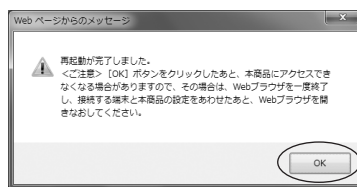
1 最新のファームウェアを当社ホームページよりダウンロードする

2 「Web設定」ページ（「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時））を開く

3 メニューの［メンテナンス］－［ファームウェア更新］を選択する

4 ［ファイル指定］の［参照］をクリックし、ダウンロードしたファームウェアのファイルを指定する

［現在のバージョン］には、本商品の現在のファームウェアバージョンが表示されています。

5 ［更新］をクリックし、［OK］をクリックする

6 ［OK］をクリックする

9-4 ファームウェア情報を確認する

本商品に接続されたパソコンのWebブラウザで「機器情報」ページ（http://ntt.setup/info/）を開くと、ユーザー名やパスワードを入力せずに、本商品の現在のファームウェアバージョンや更新種別などを確認できます。

本商品のファームウェアバージョンやファームウェア更新種別を確認する

Webブラウザのアドレスに、指定したURLを入力することで、現在のファームウェアバージョン、更新種別をお知らせします。

1 Webブラウザを起動する

2 Webブラウザのアドレスに「http://ntt.setup/info/」と入力後、パソコンの［Enter］キーを押す

本商品のIPアドレスを入力して開くこともできます。
（工場出荷時は192.168.1.1です。）
例：http://192.168.1.1/info/

10 故障かな？と思ったら

トラブルが起きたときや疑問点があるときは、まずここを読んで対処してください。
該当項目がない場合や対処をしても問題が解決しない場合は、本商品を初期化し、初めから設定し直してください。

10-1 設置に関するトラブル

本商品のご利用方法に合わせてどこまで設置、設定できているのか現在の症状をご確認のうえ、その原因と対策をご覧ください。

確認事項	いいえの場合
本商品前面の電源ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（a 参照）
↓はい	
本商品前面のアラームランプは消灯していますか？	→いいえ（b 参照）
↓はい	
本商品前面の ACT ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（c 参照）
↓はい	
本商品前面の登録ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（d 参照）
↓はい	
本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯していますか？ ※	→いいえ（e 参照）
↓はい	
ひかり電話が使えますか？ ※	→いいえ（f 参照）
↓はい	
本商品背面の LINK ランプは緑点灯していますか？	→いいえ（g 参照）
↓はい	
パソコンの IP アドレスが設定されていますか？ （IP アドレスの確認方法は、4-4 ページ、11-4 ページ、11-5 ページをご覧ください）	→いいえ（h 参照）
↓はい	
Web ブラウザで本商品の「Web 設定」ページが表示されますか？	→いいえ（i 参照）
↓はい	
設定後、本商品前面の PPP ランプが点灯していますか？	→いいえ（j 参照）
↓はい	
インターネットに接続できましたか？	→いいえ（k 参照）
↓はい	
上記以外の症状が発生していますか？	→はい（l 参照）

※ひかり電話をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

a.本商品前面の電源ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
電源ランプが緑点灯しない	●電源アダプタ（電源プラグ）が壁などの電源コンセントから外れていないか確認してください。 ●電源コンセントに他の電気機器を接続して電気がきているか確認してください。 ●電源アダプタ（電源プラグ）がパソコンの電源に連動した電源コンセントに差し込まれている場合は、壁などの電源コンセントに直接接続してください。（パソコンの電源が切れると、本商品に供給されている電源も切れてしまいます。） ●電源アダプタ（電源プラグ）のコードが破損していないか確認してください。破損している場合はすぐに電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜き、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

b.本商品前面のアラームランプが消灯していない

症　状	原因と対策
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約 15 分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10 秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
USB 機器を接続したときに、アラームランプが最大 10 秒間赤点滅する	●接続方法が間違っている可能性がある →該当する USB 機器を取り外し、再度接続してください。 ●本商品で取り扱えない USB 機器（あるいはフォーマット形式の異なる機器）が接続されている可能性がある →本商品で取り扱える機器か、当社ホームページでご確認ください。

c.本商品前面の ACT ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ACT ランプが緑点灯しない	●本商品と回線終端装置（ONU）、または VDSL モデムの両方に電源が入っていることを確認してください。（直接 RJ-45 モジュラージャックにつないでいる場合は、本商品の電源が入っていることを確認してください。） ●LAN ケーブルが本商品の WAN ポートと回線終端装置（ONU）、または VDSL モデム、壁のモジュラージャックの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか、確認してください。

d.本商品前面の登録ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
登録ランプが消灯または緑点滅している	●本商品にひかり電話の設定を行っています。しばらくお待ちになり、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。数回再起動を行うことがありますが、電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。 ●ひかり電話開通日前に本商品を接続した場合には、登録ランプが消灯または緑点滅します。
登録ランプが赤点灯している	●自動設定サーバとの接続に失敗（認証エラー）しました。当社のサービス取扱所にご連絡ください。
登録ランプが赤点滅している	●本商品のWAN側を中心に接続構成を確認してください。 WANポートにLANケーブルが正しく接続されていることや、回線終端装置（ONU）/VDSLモデムなどに電源が入っていることを確認してください。 ●自動設定サーバとの通信中にエラー（その他のエラー）が発生しました。しばらくお待ちになったあとで、本商品の電源を入れ直し、ひかり電話ランプと登録ランプが緑点灯することを確認してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ●初期状態ランプが橙点滅しているか確認してください。初期状態ランプが橙点滅している場合は、LAN側IPアドレス（サブネット）がひかり電話のIPアドレス（サブネット）と重複しています。「Web設定」の［詳細設定］－［DHCPv4サーバ設定］の［LAN側IPアドレス］を変更して設定してください。

e.本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
ひかり電話ランプが消灯している	●本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。 ●本商品はWANポートに回線終端装置（またはVDSL宅内装置）を直接接続し、LANポートにパソコンを接続していただくようお願いします。本商品と回線終端装置（またはVDSL宅内装置）の間にハブ（またはルータなど）を接続している場合、ひかり電話を正常にご利用いただくことができない場合があります。 ※複数台のパソコンを利用するためハブを設置する必要がある場合は、ハブは本商品のLANポートに接続してご利用ください。

f.ひかり電話が使えない

症　状	原因と対策
ひかり電話が使えない	●本商品背面の電話機ポートと電話機が電話機コードで接続されていることを確認してください。 ●ひかり電話でかけられない番号があります。「接続可否番号一覧」（☛3-4ページ）をご確認ください。最新の情報については、当社ホームページでご確認ください。 ●使用する電話機がホームテレホンの内線電話機やISDN対応電話機などである場合、または電話機のACR機能などが動作している場合はひかり電話が正しくご利用いただけません。 ●電源を切ってすぐに電源を入れた場合、6分～10分程度ご利用になれない場合があります。そのまましばらくお待ちいただき、改善しない場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。

g.本商品背面の LINK ランプが緑点灯しない

症　状	原因と対策
LINK ランプが緑点灯しない	●本商品とパソコンの両方に電源が入っていることを確認してください。 ●LAN ボードまたは LAN カードがパソコンに正しく設定されているかを確認してください。 ●LAN ケーブル（付属品／緑色）が本商品の LAN ポートとパソコンの両方に「カチッ」と音がするまで差し込まれているか確認してください。 ●本商品に付属している LAN ケーブル（付属品／緑色）をお使いください。 ●「Web 設定」の［詳細設定］－［高度な設定］で［LAN 側 MDI/MDI-X モード］を「自動設定」に設定してみてください。（初期値は「MDI-X 固定」です。） ●再度本書の「2-1　設置・接続」（☛2-2 ページ）をご覧のうえ配線の確認をしてください。また、パソコンが LAN ボードまたは LAN カードを認識しているかを確認してください。 ●パソコンのネットワーク接続でご利用になる LAN ポートが有効になっていることを確認してください。確認方法はパソコンの取扱説明書などを参照してください。 ● 1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。

h.パソコンの IP アドレスが設定されていない

症　状	原因と対策
パソコンの IP アドレスが「192.168.1.xxx」に設定されていない	●パソコンの設定が「IP アドレスを自動取得する」もしくは「DHCP サーバを参照」になっていることを確認してください。 パソコンの IP アドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に起動されて装置内部の処理が完了している必要があります。下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れてください。 起動後、「11-1　パソコンのネットワーク設定」（☛11-2 ページ）をご覧のうえ再度パソコンの IP アドレスを確認してください。 b.「11-1　パソコンのネットワーク設定」（☛11-2 ページ）をご覧のうえ、パソコンのネットワークの設定を行ってください。

i.Webブラウザで本商品の「Web設定」ページが表示されない

症　状	原因と対策
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが表示されない	●パソコンのネットワーク設定が間違っていないかどうか、「11-1 パソコンのネットワーク設定」（☛11-2ページ）をご覧のうえ確認してください。 ●WebブラウザやOSの設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、本商品の「Web設定」ページが表示されないことがあります。（☛4-5ページ） ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの［インターネットオプション］の［接続］で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認してください。（☛4-5ページ） ●本商品の［ポートセパレート］を「使用する」に設定していると、本商品に無線LAN接続された端末で「Web設定」ページを表示できない場合があります。 本商品の「ポートセパレート」の設定を確認してください。詳細は、「機能詳細ガイド」をご覧ください。 ●複数固定IPサービスをご利用の場合、グローバルIPアドレスを割り付けたパソコンから本商品を設定するには「http://ntt.setup/」と入力しても「Web設定」ページは表示されません。Webブラウザのアドレスに、プロバイダから割り当てられた本商品のグローバルIPアドレス（例えばhttp://200.200.200.1/）を入力してください。 ●ファイアウォール、ウイルスチェックなどのソフトウェアが終了されていることをご確認ください。 ●お客様のご利用環境によっては、「http://ntt.setup/」を入力しても「Web設定」ページが表示されない場合があります。 表示されない場合は、本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」（工場出荷時）を入力してください。 ●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
Webブラウザで、本商品の「Web設定」ページが正常に表示されない または操作が正常にできない	●お使いのWebブラウザの設定で「JavaScript™」を有効に設定してください。（☛4-6ページ、11-6ページ） ●お使いのWebブラウザが本商品に対応しているか「対応OSの確認とWebブラウザの準備」（☛1-10ページ）をご覧のうえ確認してください。

j.本商品前面のPPPランプが点灯しない

症　状	原因と対策
PPPランプが消灯している	●「Web設定」の［基本設定］－［接続先設定］で接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックし、接続したい接続先の情報（接続先ユーザ名、接続パスワード）が正しく入力されているか確認してください。 ●「Web設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックし、［接続モード］を「要求時接続」に設定している場合、パソコンからインターネット接続を開始するまで、PPPランプは消灯したままです。無通信時にはPPPランプが消灯しています。 ●PPPoEブリッジ機能でのみ接続している場合は、PPPランプは点灯しません。

k.インターネットに接続できない

症　状	原因と対策
インターネット上のホームページが開けない	●ネームサーバ（DNS サーバ）アドレスが間違っている →自動取得できないプロバイダの場合は、プロバイダから指定されたネームサーバ（DNS サーバ）アドレスをプロバイダからの情報にしたがって「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックし、DNS サーバアドレスの欄に入力してください。 ●Web ブラウザや OS の設定で「プロキシサーバーを使用する」になっている場合、ホームページが表示されないことがあります。 ●Bフレッツでフレッツ・オフィスやフレッツ・グループアクセスなどを利用して、プライベートネットワークを構築する場合で、そのネットワーク内に 192.168.1.xxx の IP アドレスがあると、正しく通信できないことがあります。このような場合は、本商品の LAN 側 IP アドレスを他と重複しないアドレスに設定変更してください。 ●ダイヤルアップの設定がある場合は、パソコンの「インターネットオプション」の［接続］で「ダイヤルしない」が選択されていることを確認します。（☛4-5 ページ） ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で、接続したい接続先の［接続可］にチェックが入っているかを確認してください。 ●「Web 設定」のトップページで、接続したい接続先の［状態］が「回線接続中」となっていることを確認してください。 ●「Web 設定」で設定した場合は、必ず画面左上の［保存］をクリックしてください。［保存］をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合があります。

l.上記以外の症状が発生している

症　状	原因と対策
上記以外の症状が発生している	●最新のファームウェアが適用されているか確認してください。（☛9-8 ページ） ●本商品の初期化および再設定を行ってください。改善しない場合は、当社のサービス取扱所にご連絡ください。

10-2 ご利用開始後のトラブル

以降の対策を行ってもトラブルが解決しない場合は、本商品のファームウェアのバージョンを確認し、最新のファームウェアに更新することを推奨します。

症　状	原因と対策
インターネットへのアクセスが遅い	●接続先サーバが混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてから、アクセスしてください。 ●接続先のプロバイダやインターネット上の経路が他の通信で混んでいる可能性があります。しばらく時間をおいてからアクセスしてください。
LAN ポートで通信速度が出ないまたは接続できない	● 1Gbps（1000Mbps）に対応していない LAN ケーブルの場合、通信速度が遅くなる場合や接続できなくなる場合があります。 お客様で LAN ケーブルをご用意いただく場合、LAN ポートで 1Gbps（1000Mbps）の通信をご利用になるときは 1Gbps（1000Mbps）に対応した LAN ケーブルをご用意ください。
使用可能状態において突然「IP アドレス 192.168.1.xxx は、ハードウェアのアドレスが....と競合していることが検出されました。」というアドレス競合に関するエラーが表示された	●LAN 内に手動で設定している IP アドレスがあるかどうか確認してください。 ● ［OK］をクリックして次の手順で IP アドレスを取り直してください。なお、このエラーが表示された場合、もう 1 台のパソコンで同様のエラーが表示されることがあります。その場合はエラー表示されたすべてのパソコンで下記手順を行ってください。 〈Windows ® 7、Windows Vista ® および Windows ® XP の場合〉 ①［スタート］（Windows ® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」を入力して［Enter］キーを押します。 ③IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［Ethernet］を選択し、［詳細...］をクリックして［TCP/IP］タブをクリックします。 ③［DHCP リースを更新］をクリックします。 ④ IPv4 アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.4 の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵 Ethernet のチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵 Ethernet のチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵 Ethernet」にして、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。

症　状	原因と対策
前回はできたのにインターネット接続ができない	●本商品の電源を切ったあと、すぐに電源を入れないでください。 10秒以上の間隔を空けてから電源を入れてください。 パソコンにIPアドレスが自動的に設定されるためには、パソコンよりも本商品の方が先に電源が立ち上がって装置内部の処理が完了している必要があります。 下記のどちらかの方法で確認してください。 a.パソコンの電源を切り、再度パソコンの電源を入れます。 起動後、「11-1　パソコンのネットワーク設定」（☛11-2ページ）をご覧のうえ再度パソコンのIPアドレスを確認してください。 b.次の手順でIPアドレスを取り直してください。 〈Windows® 7、Windows Vista® およびWindows® XPの場合〉 ①［スタート］（Windows® のロゴボタン）－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］をクリックします。 ②「ipconfig /renew」と入力して、［Enter］を押します。 ③IPアドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.5の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［Ethernet］を選択し、［詳細...］をクリックして［TCP/IP］タブをクリックします。 ③［DHCPリースを更新］をクリックします。 ④IPv4アドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 〈Mac OS X 10.4の場合〉 ①［アップルメニュー］から［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択します。 ②［TCP/IP］タブをクリックして［表示］を［ネットワークポート設定］にして、内蔵Ethernetのチェックを外し、［今すぐ適用］をクリックします。 ③再度、内蔵Ethernetのチェックを入れ、［今すぐ適用］をクリックします。 ④［表示］を「内蔵Ethernet」にして、IPアドレスが［192.168.1.xxx］になることを確認します。 ●「Web設定」で設定した場合は、必ず画面左上の［保存］をクリックしてください。［保存］をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合があります。
初期状態ランプが橙点滅する	●LAN側IPアドレス（サブネット）がひかり電話のIPアドレス（サブネット）と重複しています。 「Web設定」の［詳細設定］－［DHCPv4サーバ設定］の［LAN側IPアドレス］を変更して設定してください。
「Web設定」の［詳細設定］－［DHCPv4サーバ設定］の［LAN側IPアドレス］設定変更時に、IPアドレスが重複していると表示され、設定できない	●LAN側IPアドレス（サブネット）がひかり電話または接続先のIPアドレス（サブネット）と重複しています。 ［LAN側IPアドレス］を変更して設定してください。
「Web設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックして、［IPアドレス］の設定を変更するときに、IPアドレスが重複していると表示され、設定できない	●LANのIPアドレスと重複していると表示されている場合、接続先のIPアドレス（サブネット）がLANのIPアドレス（サブネット）と重複しています。 「Web設定」の［詳細設定］－［DHCPv4サーバ設定］の［LAN側IPアドレス］を変更して設定してください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックして、［IP アドレス］の設定を変更するときに、IP アドレスが重複していると表示され、設定できない （つづき）	●ひかり電話または接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（Bフレッツでフレッツ・グループアクセスをご利用の場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックして、IP アドレスを変更して設定してください。
「Web 設定」のトップページに IP アドレスが重複していると表示される	●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］の［状態］に、LAN の IP アドレスと重複していると表示されている場合、LAN の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］の［LAN 側 IP アドレス］を変更して設定してください。 ●「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］の［状態］に、ひかり電話または他の接続先の IP アドレスと重複していると表示されている場合、接続先の IP アドレス（サブネット）がひかり電話または他の接続先の IP アドレス（サブネット）と重複しています。 接続先 IP アドレス管理者（Bフレッツでフレッツ・グループアクセスをご利用の場合はグループ管理者）にお問い合わせのうえ、「Web 設定」の［基本設定］－［接続先設定］で［接続先名］をクリックして、重複している接続先の IP アドレスを変更して設定してください。
Web 設定できない	●「工事中のため、設定変更はできません。」と表示された場合は、当社のひかり電話設備の工事中のため本商品の設定はできません。
ハンドセットを取りあげると「ピーピーピーピー」と音がする	●最新のファームウェアがあることを通知しています（正常動作）。「＊＊＊11」とダイヤルしてファームウェアの更新を行ってください。
ハンドセットを置いたあとすぐに着信音が鳴る	●内線転送で、転送先の方が応答する前に外の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。 ●キャッチホンサービスやダブルチャネル／複数チャネルで、先にかかってきた電話とお話し中にかかってきた電話とを切り替えて通話しているときに、一方の相手の方との通話を保留したままハンドセットを置いた場合は、着信音が鳴ります（呼び返し）。ハンドセットを取りあげると、保留していた相手の方とお話しできます。
ひかり電話の音声品質が安定しない	●「Web 設定」の［電話設定］－［ひかり電話共通設定］の［音声優先モード］を「優先」または「最優先」に設定します。
優先着信ポートと指定着信機能を同時に利用する設定ができない	●電話機 1、2 ポートで同一の着信番号が 1 つの場合、指定着信機能の設定を行ってから、優先着信ポートの設定を行ってください。
停電復旧後、ひかり電話が利用できない	●本商品前面のひかり電話ランプが緑点灯しているか確認してください。ひかり電話ランプが消灯、登録ランプが赤点滅している場合は、ひかり電話のご利用ができませんので、電源を入れ直してください。ひかり電話の設定が完了すると、本商品前面のひかり電話ランプ、登録ランプが緑点灯します。
電話機からの設定がエラーとなる	●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中、他の設定を実行中は、本商品の設定は行えません。 ●設定値によっては電話機からの設定がエラーとなる場合があります。詳しくは、3-33 ページの「お知らせ」を参照してください。

症　状	原因と対策
発信時、設定した通知番号が相手先に通知されない	●本商品に接続するIP端末によっては、本商品の「通知番号」の設定にかかわらず、IP端末で「通知番号」に設定した電話番号が相手先に通知されることがあります。 IP端末の機能および「通知番号」の設定方法は、IP端末の取扱説明書などをご覧ください。
ファームウェアの更新ができない	●ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、本商品へのバージョンアップを行うことができない場合があります。その場合は、ひかり電話使用終了後一定時間たってから、再度ファームウェアの更新を行ってください。 ●本商品のファームウェアの更新中や、本商品の再起動を行っている場合、当社のひかり電話設備の工事中は、本商品へのバージョンアップ操作は行えません。
ファームウェア更新が突然実行される	●ネットワーク上の当社のサーバからの緊急のバージョンアップを要するファームウェアが提供された場合「ファームウェア更新種別」の設定にかかわらず、強制的に最新のファームウェアへの更新を行います。 電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
アラームランプが赤点灯する	●初期状態ランプも橙点灯している場合は、ファームウェアの更新中（手動更新またはファイル指定）です。ファームウェアの更新中は、本商品の電源を切らないでください。 ●本商品で異常が発生しています。約15分間待ってもアラームランプが赤点灯している場合は、本商品の電源を入れ直してください。電源を入れ直す際は、10秒以上の間隔を空けてください。電源を入れ直しても復旧しない場合は、当社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
アラームランプが赤点滅する	●「無線LAN簡単セットアップ」に失敗しています。 「「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない」を参照してください。（☛10-12ページ） ●USB機器が正しく検出されていません。 USBポートからUSB機器を取り外し、再度、USB機器を取り付けてください。 ●本商品の拡張カードスロットに、「11N-ADP」のみが取り付けられています。 本商品の拡張カードスロットには、「SC-40NE」を装着した「11N-ADP」を取り付けてください。
突然、再起動した	●当社のひかり電話設備の工事に伴い、自動的に再起動されることがあります。電源を抜いたりせず、そのまましばらくお待ちください。
無線LAN通信ができない	●暗号化方式でWEPをご利用になる場合、使用するWEPキー（キーインデックス）およびWEPキー（WEPキー1～4）の設定は本商品と接続する無線LAN端末との間で同じ設定にしてください。 （☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。） ・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［IEEE802.11b+g/11g設定］の［使用するWEPキー（キーインデックス）］ ・SC-40NEをご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）］－［無線LAN設定］の［使用するWEPキー（キーインデックス）］

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
無線LAN通信ができない (つづき)	●「SC-40NE」をご利用中の場合、本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく取り付けられているか「5-2　本商品への無線LANカードの取り付け」(☛5-6ページ)をご覧のうえ、確認してください。 ●本商品と接続する無線LAN端末の使用チャネルが一致していることを確認してください。使用する無線LAN端末によっては、IEEE802.11g/bの12ch、13chやIEEE802.11a(W53、W56)は使用できない場合があります。自動設定でつながらない場合は無線LAN端末の設定を確認して、使用チャネルの設定を変更してください。 (☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。) ・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合: 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－[無線設定(本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合)]－[無線LAN設定]－[IEEE802.11b+g/11g設定]もしくは[IEEE802.11a設定] ・SC-40NEをご利用の場合: 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－[無線LAN設定(SC-40NEをご利用の場合)]－[無線LAN設定] ●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際、W53(52/56/60/64ch)またはW56(100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。 ・各チャネルの通信開始前に、1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。 ・通信中にレーダー波を検出した場合は、DFS機能により自動的にチャネルを変更しますので、通信が中断されることがあります。 ・DFS機能により自動的にチャネルを変更した場合はW52のチャネルに再設定します。 ●「Web設定」で設定した場合は、必ず画面左上の[保存]をクリックしてください。[保存]をクリックしないと本商品のファームウェアバージョンアップや再起動の際に設定が消えてしまう場合があります。 ●MACアドレスフィルタリングが「使用する」になっている →本商品のMACアドレスフィルタリングが「使用する」となっている場合、無線LAN端末のMACアドレスをMACアドレスエントリに登録する必要があります。(☛「機能詳細ガイド」の「Web設定」－[無線設定]－[MACアドレスフィルタリング]－[接続を許可する無線LAN端末のMACアドレス編集]) ●本商品にIEEE802.11n方式対応の無線LAN端末を接続する際、無線LAN端末の暗号化方式をWPA-PSK(TKIP)またはWPA2-PSK(TKIP)に設定していると接続できない場合があります。無線LAN端末の暗号化方式をWPA-PSK(AES)またはWPA2-PSK(AES)に変更するか、動作モードをIEEE802.11g方式またはIEEE802.11b方式に変更して使用してください。 ●本商品に最新のファームウェアが適用されているか確認してください。(☛9-8ページ) ●以上を確認しても、無線LAN通信ができない場合は無線LANカードの取扱説明書を参照してください。
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない	●「SC-40NE」をご利用中の場合、本商品の拡張カードスロットに無線LANカードが正しく取り付けられているか「5-2　本商品への無線LANカードの取り付け」(☛5-6ページ)をご覧のうえ、確認してください。

症　状	原因と対策
「無線LAN簡単セットアップ」が成功しない（つづき）	●MACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっている →本商品のMACアドレスフィルタリングのすべてのエントリが登録済みになっていると「無線LAN簡単セットアップ」の設定ができません。「Web設定」の［無線設定］－［MACアドレスフィルタリング］で本商品のMACアドレスフィルタリングの設定を確認してください。 ●無線LAN端末で使用している無線LAN動作モードが本商品では使用しない設定になっている →無線LAN端末で使用している無線LAN動作モードが本商品では使用しない設定になっていると接続できません。「Web設定」で本商品の無線LAN動作モードで無線LAN端末の無線LAN動作モードを「使用する」に設定してください。 ●本商品に内蔵の無線機能をご利用の際、本商品を「Web設定」の［無線LAN簡単セットアップ］－［無線LAN簡単セットアップ動作モード］で固定モードを指定した場合、無線LAN端末で使用している無線LAN動作モードが一致しない →本商品を「IEEE802.11a固定」に設定し、無線LAN端末の無線LAN動作モードがIEEE802.11b+g/11gの場合、「無線LAN簡単セットアップ」の設定が成功しません。 （本商品を「IEEE802.11b+g/11b固定」に設定し、無線LAN端末の無線LAN動作モードがIEEE802.11aの場合、「無線LAN簡単セットアップ」の設定が成功しません。） 本商品の「無線LAN簡単セットアップ動作モード」と無線LAN端末の無線LAN動作モードを一致させてください。 ●本商品の使用するWEPキー（キーインデックス）がWEPキー1になっていない →無線LAN端末でWEPキー2～4は対応していない場合があります。本商品の無線の暗号化設定を確認してください。 （☛「機能詳細ガイド」の下記を参照してください。） ・本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線設定（本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合）］－［無線LAN設定］－［IEEE802.11b+g/11g設定］の［マルチSSID設定（SSID-2を選択した場合）］の［使用するWEPキー（キーインデックス）］ ・SC-40NEをご利用の場合： 「機能詳細ガイド」の「無線機能の使いかた」－［無線LAN設定（SC-40NEをご利用の場合）］－［無線LAN設定］の［マルチSSID設定（SSID-2を選択した場合）］の［使用するWEPキー（キーインデックス）］ ●本商品と無線LAN端末で使用可能な暗号化方式や暗号化強度が一致していない →無線LAN端末の取扱説明書などで使用可能な暗号化方式や暗号化強度を確認し、本商品に設定してください。 ●本商品に他の設定を行っている →本商品の設定中は「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。 他の設定が終了してから行ってください。 ●ひかり電話使用中、および使用後一定時間内に設定を行っている →ひかり電話使用中、および使用後一定時間は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えない場合があります。 ひかり電話使用後一定時間たってから行ってください。 ●登録ランプが緑点灯していない →登録ランプが緑点灯していない場合は、「無線LAN簡単セットアップ」での設定は行えません。「10-1　設置に関するトラブル」（☛10-2ページ）を参照してください。 設定中の「無線LAN簡単セットアップ」が完了していない場合は、登録ランプが緑点灯してから設定を行ってください。

（次ページに続く）

症　状	原因と対策
「無線 LAN 簡単セットアップ」が成功しない（つづき）	●2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している →2 台以上のパソコンで無線 LAN 簡単接続機能を起動している場合は、「無線 LAN 簡単セットアップ」の設定に失敗します。1 台ずつ設定を行ってください。 ●Windows ® 7 搭載の無線 LAN 内蔵パソコンが接続できない →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）」を「しない」に設定する（☛5-32、5-33 ページ）、またはパソコンで、「ネットワークが名前（SSID）をブロードキャストしていない場合でも接続する」の設定（☛5-25、5-28、5-31 ページ）を行ってください。
「らくらく無線スタート」が成功しない	●本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている →本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で、「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。本商品の無線の暗号化が「なし」に設定されている状態で設定に失敗した場合、「らくらく無線スタート」には、自動的に、本商品の無線の暗号化を設定する機能があります。アラームランプが消灯してから、もう一度、「らくらく無線スタート」を実行してください。 自動的に設定される設定値については、「① SSID-1 に設定した場合」および「③ SSID-3 に設定した場合」（☛5-34、5-35 ページ）を参照してください。 ●本商品に無線の暗号化が WPA2-PSK に設定されている →本商品の無線の暗号化が WPA2-PSK に設定された状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。無線 LAN 動作モードが IEEE802.11a 方式、IEEE802.11g 方式、および IEEE802.11n 方式に対応したゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-1 および SSID-3 の無線の暗号化設定を確認してください。 無線 LAN 動作モードが IEEE802.11b 固定のゲーム機と接続する場合は、本商品の SSID-2 の無線の暗号化設定を確認してください。 ●インターネットに接続できていない →本商品前面の PPP ランプが消灯している場合は、インターネットに接続できません。「無線 LAN 簡単セットアップ」で無線 LAN 設定後、ゲーム機からのインターネット接続の確認に失敗する場合は、「10-1　設置に関するトラブル」（☛10-2 ページ）を参照して、本商品の接続や設定を確認してください。 ●本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）」を「する」に設定し、SSID-1 を「******」に設定している →本商品の「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）」を「する」に設定し、SSID-1 を「******」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。「無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）」を「しない」に設定するか、SSID-1 を「******」以外に設定してください。 ●本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している →本商品の SSID-2 を「使用しない」に設定している状態で「らくらく無線スタート」を実行すると設定に失敗します。SSID-2 を「使用する」に設定してください。
地震速報が受信できない	●オプションランプが消灯している →［緊急地震速報設定］の設定を確認してください。 「Web 設定」の［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］で［緊急地震速報サービス機能］の「使用する」にチェックが入っていることを確認してください。 ※緊急地震速報サービスのご利用は契約が必要です。 →回線の接続を確認してください。 回線を接続しない状態で「Web 設定」の［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］で［緊急地震速報サービス機能］の「使用する」にチェックを入れてもオプションランプは消灯したままになります。

症　状	原因と対策
地震速報が受信できない（つづき）	●オプションランプが遅く橙点滅する →下記をご覧ください。
オプションランプが遅く橙点滅する	●接続方法が間違っている可能性がある →各ケーブルの接続が正しいか確認してください。（☛2-7、2-10、2-13ページ） ●設定方法が間違っている可能性がある →［緊急地震速報設定］の設定を確認してください。（☛6-4ページ） ※緊急地震速報サービスに未加入の場合は、「Web設定」の［緊急地震速報設定］－［設置場所設定］で［緊急地震速報サービス機能］の「使用する」のチェックを外してください。「使用する」にチェックがあると常にオプションランプが遅く橙点滅します。（☛6-7ページ） ●当社回線設備の工事を実施している可能性がある →当社の工事情報を確認してください。オプションランプが橙点灯すると正常に地震速報を受信できます。
スピーカから音声ガイダンスが流れない	●音声ガイダンスの音量を「消音」に設定していると、音声ガイダンスが流れません。音量を「消音」以外に設定してください。 ●再起動を伴うバージョンアップ後一定時間は、音声ガイダンスが流れません。 ●最新のファームウェアを取得していない状態での再起動時には音声ガイダンスは流れません。
スピーカからアラーム音が鳴る	●接続方法が間違っている可能性がある →各ケーブルの接続が正しいか確認してください。（☛2-7、2-10、2-13ページ） ●設定方法が間違っている可能性がある →［緊急地震速報設定］の設定を確認してください。（☛「機能詳細ガイド」） ●当社回線設備の工事を実施している可能性がある →当社の工事情報を確認してください。オプションランプが橙点灯すると正常に地震速報を受信できます。
地震がきたのにスピーカから音が鳴らない	●震度設定が間違っている可能性がある →本商品では通知する予測震度を設定することができます。（初期値では震度2以上のときに通知するように設定。）再度設定内容をご確認ください。設定方法は「機能詳細ガイド」をご覧ください。 ●「Web設定」の［緊急地震速報設定］－［速報通知設定］－［速報通知音設定］で［通知音量］を「消音」に設定すると、地震速報を受信したときの音声が本商品のスピーカから出力されません。
地震速報を受信した場合のスピーカからの通知文言が場合によって異なる	●到達猶予時間や予測震度の通知方法の設定が異なる可能性がある →本商品では地震の到達猶予時間や予測震度の通知方法は、「直接表現」「曖昧表現」から選択可能です。またサイン音は2パターンから選択可能です。設定内容により通知文言が異なります。（☛「機能詳細ガイド」） また、地震の到達猶予時間によって通知文言が異なる場合があります。（☛6-6ページ）
地震の到達猶予時間、予測震度が正確に通知されない	●緊急地震速報は技術的限界があり、通知する予測震度や到達猶予時間の正確性や確実性を保証するものではありません。 ●緯度経度、地盤増幅度が正確に設定されていない可能性がある →緯度経度、地盤増幅度の設定内容を確認してください。（☛6-4ページ） ※地盤増幅度は気象庁により変更されることがあります。本商品を適切にお使いいただくには、定期的に地盤増幅度を確認してください。

症　状	原因と対策
Web 設定画面の地震速報受信履歴で、震源地が正確に表示されない	●地域の統廃合等の気象庁で管理しているコード値が変更となった場合は、震源地が表示されない場合があります。
音声ガイダンスの音量がかわらない	●設定方法が間違っている可能性がある →緊急地震速報サービスとそれ以外の音声ガイダンスの音量の設定は異なります。それぞれの音量を設定してください。（☛「機能詳細ガイド」）
USB ポートが利用できない	● USB ポートからの給電が停止している可能性がある →USB ポートは過電流監視機能を搭載していますので、本商品から給電される電流が過電流となった場合、自動的に給電を遮断します。USB ポートから USB 機器を取り外してください。 ●本商品に接続している USB 機器の接続台数が制限台数を超えている可能性がある →USB-HDD の接続が 1 台であることを確認してください。 →プリンタの接続が 1 台以下であることを確認してください。 ●本商品に接続している USB-HUB の接続台数が制限台数を超えている可能性がある →USB-HUB の段数が 2 段以下になっていることを確認してください。 →USB-HUB の接続台数が 5 台以下になっていることを確認してください。
ファイルサーバ機能でフォルダにアクセスできない	●設定方法が誤っている可能性がある →ワークグループの設定をご確認ください。（☛「機能詳細ガイド」） →アクセスしているフォルダのアクセス制限を確認してください。（☛「機能詳細ガイド」）
メディアサーバのコンテンツが閲覧できない	●設定方法が誤っている可能性がある →メディアサーバ機能を有効にしてください。（☛「機能詳細ガイド」） ● メディアが対象外の可能性がある →閲覧したいコンテンツのメディアが本商品の対応メディアかどうかを確認してください。 →閲覧したいコンテンツのメディアが DLNA 対応機器の対応メディアかどうかを確認してください。ご利用の DLNA 対応機器の取扱説明書をご確認ください。
携帯電話から送信したデータを本商品の赤外線機能で受信できない	●USB 機器が接続されていない可能性がある →USB 機器が正常に接続されているか確認してください。 ●携帯電話と本商品の距離や角度が適切でない可能性がある →携帯電話と本商品の距離や角度を確認してください。（☛7-11 ページ）
プリントサーバの設定で新しいポートの設定ができない	● プリントサーバのポート名が間違っている →「Web 設定」の［詳細設定］－［ファイルサーバ共通設定］の［ファイルサーバ名］を確認し、プリントサーバのポート名（「¥¥ ファイルサーバ名 ¥lp」）の「ファイルサーバ名」と一致しているかを確認してください。
プリントサーバ機能を使用して印刷ができない	●設定が間違っている可能性がある →「Web 設定」の［詳細設定］－［プリントサーバ設定］の［プリントサーバ機能］を「使用する」に設定してください。 ●接続が間違っている可能性がある →プリンタの電源を切って本商品の USB ポートからプリンタを外し、再度接続してください。
他の対策を実施しても、改善が見られない	●電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜いたあと、10 秒以上たってからもう一度差し込んでください。

付録

11-1 パソコンのネットワーク設定

■パソコンのネットワーク設定と接続確認

本商品に接続するパソコンのネットワーク設定について説明します。
パソコンが初期状態の場合は、パソコンのネットワーク設定は必要ありません。
本章の設定画面は、DHCP サーバ機能を使用する場合の設定例です。
DHCP サーバ機能は工場出荷時に「有効にする」になっています。

・Windows® 7/Windows Vista® をご利用の場合
→ 4-3 ページをご覧ください。

・Windows® XP をご利用の場合
→ 11-3 ページをご覧ください。

・Mac OS X をご利用の場合
→ 11-5 ページをご覧ください。

パソコンに設定されている IP アドレスを確認することで、本商品とパソコンの接続を確認します。
本商品の IP アドレスは、初期状態で「192.168.1.1」に設定されています。
IP アドレスを変更する場合は、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」の［詳細設定］－［DHCPv4 サーバ設定］をご覧ください。

■ Web ブラウザの設定（Windows® のみ）

Web ブラウザの接続設定を「ダイヤルしない」、「プロキシサーバーを使用しない」に設定します。

・Windows® をご利用の場合
→ 4-5 ページをご覧ください。

■ JavaScript™ の設定確認

Web ブラウザで設定を行うには、JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。

・Windows® をご利用の場合
→ 4-6 ページをご覧ください。

・Mac OS をご利用の場合
→ 11-6 ページをご覧ください。

Windows® XPをご利用の場合

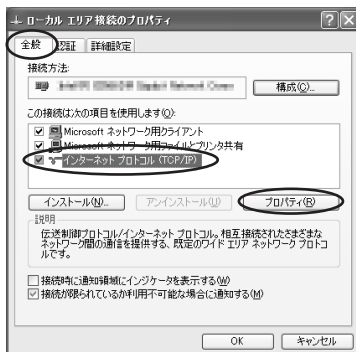
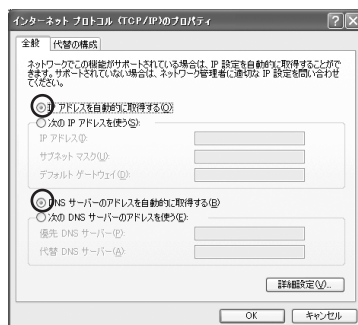
■パソコンのネットワークの設定をする

Windows® XPの設定により表示内容が異なる場合があります。

1 ［スタート］－［コントロールパネル］を選択する

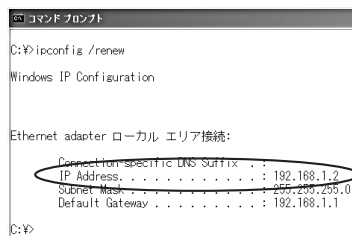
2 ［ネットワークとインターネット接続］をクリックし、［ネットワーク接続］をクリックする

3 ［ローカルエリア接続］アイコンを右クリックし、［プロパティ］をクリックする

4 ［全般］タブをクリックし、［インターネットプロトコル(TCP/IP)］を選択し、［プロパティ］をクリックする

5 ［IPアドレスを自動的に取得する］と［DNSサーバーのアドレスを自動的に取得する］を選択する

6 ［OK］をクリックする

7 ［OK］または［閉じる］をクリックする

お知らせ

●本書では、Windows® XPの通常表示モード（カテゴリー表示）を前提に記載しています。

■IP アドレスの確認－パソコンとの接続を確認する

1 本商品背面のLINKランプが緑点灯していることを確認する

2 パソコンの［スタート］－［すべてのプログラム］－［アクセサリ］－［コマンドプロンプト］を実行する

3 ［コマンドプロンプト］の画面が表示されたら、「ipconfig /renew」と入力し、［Enter］キーを押す

4 ［Ethernet adapter ローカルエリア接続：］が表示され、IP アドレス（IP Address）が［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxx は 2～254 の数字です）

5 「exit」と入力し、［Enter］キーを押す

Mac OS X をご利用の場合

■パソコンのネットワークの設定をする

1 アップルメニューの［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

2 ［Ethernet］を選択し、［構成］を［DHCP サーバを使用］にする

> **Mac OS X 10.4 の場合**
> ［表示］を［内蔵 Ethernet］にし、［TCP/IP］タブをクリックして、［IPv4 の設定］を［DHCP サーバを参照］にします。

3 ［DNS サーバ］は表示されたまま変更せず、［検索ドメイン］を空白にする

> **Mac OS X 10.4 の場合**
> ［DHCP クライアント ID］と［DNS サーバ］、［検索ドメイン］を空白にします。

4 ［適用］をクリックし、ウィンドウを閉じる

> **Mac OS X 10.4 の場合**
> ［今すぐ適用］をクリックし、ウィンドウを閉じます。

以上でパソコンのネットワークの設定は完了です。

■IP アドレスの確認 － パソコンとの接続を確認する

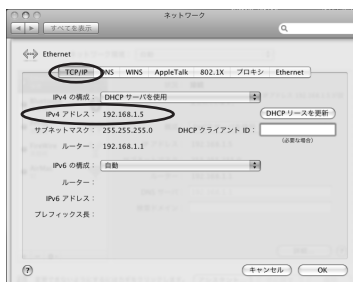
1 本商品背面の LINK ランプが緑点灯していることを確認する

2 アップルメニューから［システム環境設定］を開き、［ネットワーク］アイコンを選択する

3 ［Ethernet］を選択して、［詳細...］をクリックし、［TCP/IP］タブをクリックして、IPv4 アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認する（xxx は 2 ～ 254 の数字です）

> **Mac OS X 10.4 の場合**
> ［TCP/IP］タブをクリックし、IP アドレスが［192.168.1.xxx］になっていることを確認します。

4 ウィンドウを閉じる

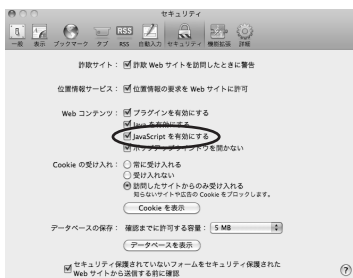
11 付録

JavaScript™ の設定をする（Mac OS）

Web ブラウザで設定を行うには JavaScript™ の設定を有効にする必要があります。以下は Mac OS をご利用の場合です。Windows® をご利用の場合は、4-6 ページをご覧ください。

※Web ブラウザの設定で、本商品の機器設定用パスワードの設定ができないことがあります。設定ができない場合は、以下の手順で JavaScript™ を「有効にする」に設定してください。

以下は、Mac OS X 10.6 で Safari 5.0 を使用している場合の例です。

1. Safari を起動する
2. メニューバーの［Safari］－［環境設定］をクリックする
3. ［セキュリティ］をクリックする
4. ［JavaScript を有効にする］にチェックを入れる

5. ウィンドウを閉じる

11-2 ひかり電話用無線 IP 端末などの設定をする

本商品の無線 LAN の設定情報を作成し、ひかり電話用無線 IP 端末などの無線 LAN の設定を行う際にご利用になれます。詳細は「超カンタン設定ガイド」をご参照ください。

11-3 設定値の保存・復元

「Web 設定」で現在の本商品の設定内容をファイルに保存および復元できます。
設定内容をパソコンのハードディスクにバックアップファイルとして保存しておくと、保存済みのバックアップファイルから本商品に設定内容を復元することも可能です。
以下は Windows® 7 で Internet Explorer® 9.0 を使用している場合の例です。

設定値の保存

1. 「Web 設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは本商品の IP アドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時))を開く
2. メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存＆復元］を選択する
3. ［ファイルに保存］をクリックする

4. 通知バーの［保存］の右の▼をクリックし、［名前を付けて保存］をクリックする
5. ファイルの保存先を指定し、［保存］をクリックする
6. 保存が完了すると、ダウンロード完了の通知バーが表示されます

!

ファイルは、自動的に機器設定用パスワードを使用してデータを暗号化して保存されます。
機器設定用パスワードは「設定値の復元」を行う場合に必要となります。

設定値の復元

1 「Web設定」ページ(「http://ntt.setup/」もしくは本商品のIPアドレス「http://192.168.1.1/」(工場出荷時))を開く

2 メニューの［メンテナンス］－［設定値の保存&復元］を選択する

3 ［参照］をクリックし、設定内容を保存したファイルを指定する

※［パスワード］は、現在、本商品に設定されている機器設定用パスワードです。

4 ［開く］をクリックする

5 ［パスワード］を入力する

「設定値の保存」で使用した機器設定用パスワードを入力します。

6 ［設定値の復元］をクリックする

「設定値の復元を行ったあと、再起動を行います。よろしいですか？」と表示されます。

7 ［OK］をクリックする

8 ［OK］をクリックする

お知らせ

- 機器設定用パスワードは復元されません。
- 以下の設定は復元されない場合があります。復元後に必ず設定内容を確認してください。
  - ・無線ネットワーク名（SSID）
  - ・事前共有キー（PSK）
  - ・WEPキー
  - ・無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）
  - ・ファームウェアの更新種別
- 本商品を再起動すると、通話・通信が切断されます。
- 「設定値の復元」を行う場合に必要なパスワードは、「設定値の保存」を行った時点で使用していた機器設定用パスワードです。
- 設定値を復元するときは、他機種のバックアップファイルを指定しないでください。正しく復元できません。
- ご契約の電話番号が変更・追加・削除になった場合、変更・追加・削除以前に保存した設定ファイルは使用しないでください。設定内容が正しく復元できない場合があります。
- お客様のご利用環境によっては設定値の保存・復元の際に時間がかかる場合があります。

11-4 本商品の初期化

初期化とは、本商品に設定した内容を消去して、工場出荷状態に戻すことをいいます。

本商品が正常に動作しない場合や機器設定用パスワードを忘れたり、IP アドレスを間違えたりして本商品にアクセスできなくなった場合には、本商品を初期化して初めから設定し直すことをお勧めします。
「Web 設定」で初期化することもできます。詳細は、「機能詳細ガイド」の「Web 設定」の［メンテナンス］－［設定値の初期化］をご覧ください。
初期化すると、それまでに設定した値はすべて消去され、工場出荷状態に戻りますので、設定内容をパソコンのハードディスクに保存しておくことを推奨します。
保存方法は「11-3　設定値の保存・復元」（☛11-8 ページ）を参照してください。

ひかり電話に関する設定もすべて消去されます。初期化後、本商品が起動すると、再度ひかり電話の自動設定が行われます。ひかり電話の利用が可能になると登録ランプ、ひかり電話ランプが緑点灯します。ランプの状態を確認してください。ひかり電話の自動設定が完了した状態でも初期状態ランプは橙点灯します。

■設定初期化について

本商品の初期化は、下記の手順で行います。

1. 本商品の電源アダプタ（電源プラグ）を電源コンセントから抜く
2. 10 秒以上たってから、電源アダプタ（電源プラグ）を差し込む
3. 本商品前面の全ランプが点灯している間に、本商品背面の初期化スイッチを押す（初期状態ランプが橙点灯するまで押し続ける）

   起動後、初期状態ランプが橙点灯になれば、初期化完了です。

※初期化が完了するまで本商品の電源アダプタは絶対に抜かないでください。
　故障の原因となることがあります。

お知らせ

●本商品に設定する接続先ユーザ名や接続パスワードは重要な個人情報です。情報を盗まれると悪用される可能性がありますので、情報の管理には十分ご注意ください。本商品を当社に返却する場合など、本商品の利用をやめる際は、必ず初期化を行い、設定された情報を消去してください。

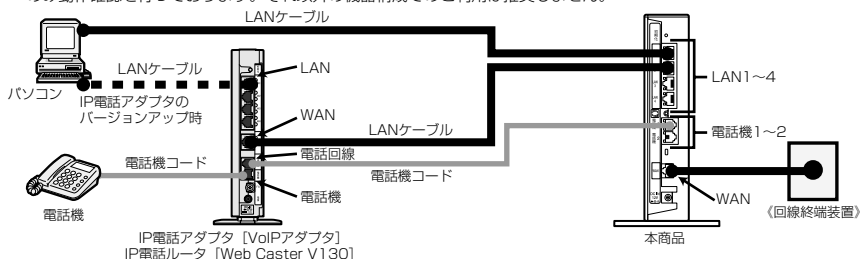
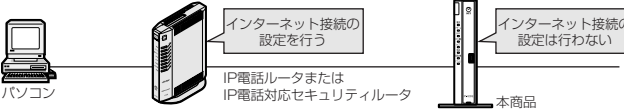
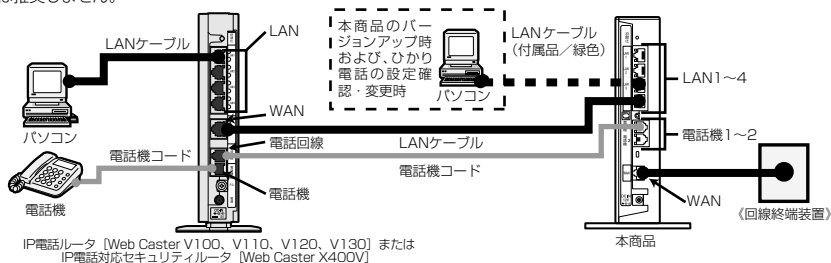
11-5 ひかり電話以外のサービスとの同時利用方法について

050IP 電話との同時利用方法について

ひかり電話と050IP電話サービスを同時にご利用いただく場合

プロバイダが提供するIP電話サービス（050番号を利用するIP電話サービス。以下、「050IP電話」と略します）とひかり電話を同時利用する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますので、必ず次ページの内容をご確認ください。

①IP電話アダプタをご利用の場合　　機器構成 ①

※IP電話アダプタ（VoIPアダプタ）、IP電話ルータ（Web Caster V130）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

②IP電話ルータ・IP電話対応セキュリティルータをご利用の場合　　機器構成 ②

※IP電話ルータ（Web Caster V100／V110／V120／V130）、IP電話対応セキュリティルータ（Web Caster X400V）と本商品を下記の機器構成で接続した場合のみ動作確認を行っております。それ以外の機器構成でのご利用は推奨しません。

【ご利用上の注意事項】

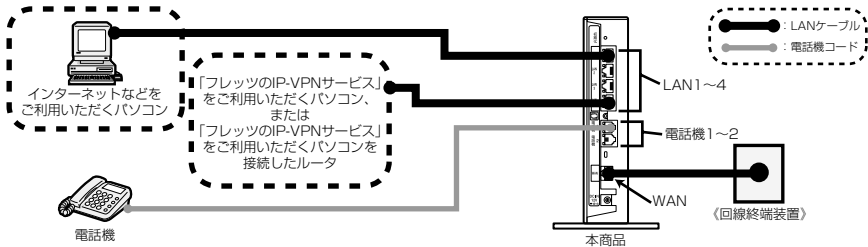
前ページの構成でひかり電話と050IP電話をご利用いただく場合、以下の点にご注意ください。ご利用の機器構成ごとにご注意いただく事項が異なりますので、下記「対象となる機器構成」欄にてご利用の機器構成をご確認いただき、「★」が記載されている場合に該当する注意事項をご確認ください。

対象となる機器構成		注意事項
①	②	
	★	**（1）インターネット接続の設定方法に注意してください。** インターネット接続の設定（プロバイダから提供される接続先ユーザ名・接続パスワードなど）は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータにて行ってください。本商品には設定しないでください。 （図：パソコン ― IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータ（インターネット接続の設定を行う） ― 本商品（インターネット接続の設定は行わない）） ※インターネット接続の方法は、IP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータの設定ガイドをご覧ください。 ※パソコンはIP電話ルータまたはIP電話対応セキュリティルータに接続してください。（本商品に接続したパソコンからはインターネットに接続できません。）
★	★	**（2）本商品の「バージョンアップお知らせ機能」の一部がご利用いただくことができません。** 050IP電話と同時利用する場合は、電話機から本商品のバージョンアップ通知音は聞こえません。IP電話アダプタおよびIP電話ルータ／IP電話対応セキュリティルータのファームウェアのバージョンアップお知らせのみとなります。 本商品の［ファームウェア更新種別］を「自動更新」に設定するなどしてバージョンアップを実施することをお勧めします。 ※①の機器構成の場合、IP電話アダプタのファームウェア更新があるときは、更新作業時のみIP電話アダプタにパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成） ※②の機器構成の場合、パソコンからバージョンアップするときは更新作業時のみ本商品にパソコンをつなぎ替えてください。（図の点線部の構成）
★	★	**（3）「ひかり電話」と「050IP電話」の使いわけにご注意ください。（050IP電話ご利用時）** 050IP電話で接続できない番号（110・119など）以外は、すべて050IP電話での発信となります。「ひかり電話」からの発信をご希望の場合は、相手先電話番号の前に「0000」をダイヤルして発信してください。その他の050IP電話ご利用上の注意については、IP電話アダプタおよびIP電話ルータ／IP電話対応セキュリティルータの取扱説明書などをご確認ください。（「加入電話」と記載されている部分を「ひかり電話」と読み替えてください。）
	★	**（4）本商品の「PPPoEブリッジ」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっております。本機能の設定変更は行わないでください。
★		**（5）本商品の「UPnP機能」の設定変更は行わないでください。** 本商品は、初期設定時に「UPnP機能」が「使用する」設定となっております。前ページの機器構成①にてご利用いただく場合は、本機能の設定変更は行わないでください。

「フレッツの IP-VPN サービス」※との同時利用方法について

「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」を同時にご利用いただく場合、または「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」、「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」に同時に接続する場合、下記の接続構成であればご利用可能です。ただし、ご利用上の注意事項がありますのでご確認ください。

※「フレッツのIP-VPNサービス」とはBフレッツでご利用のお客様専用のサービスの「フレッツ・グループアクセス（NTT東日本）」、「フレッツ・オフィス（NTT東日本）」、「フレッツ・アクセスポート（NTT東日本）」および、フレッツ光ネクストでご利用のお客様専用サービスの「フレッツ・VPNゲート（NTT東日本／NTT西日本）」、「フレッツ・VPNワイド（NTT東日本／NTT西日本）」の総称です。

「フレッツのIP-VPNサービス」では、セキュリティの高い拠点間通信をサービスコンセプトとしており、1台のルータ・パソコンでVPN接続とインターネット接続を同時に利用しないことを推奨しておりますので、ひかり電話をご利用の場合は、以下の接続設定を行ってください。

◆接続設定について

①「フレッツのIP-VPNサービス」の接続設定を行う

【1台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用いただくパソコンに接続先を設定してください。

【複数台のパソコンで「フレッツのIP-VPNサービス」をご利用の場合】

「フレッツのIP-VPNサービス」の接続先を設定したブロードバンドルータを、本商品の下部（LANポート）に接続し、そのブロードバンドルータ下部（LANポート）に「フレッツのIP-VPNサービス」ご利用のパソコンを接続してください。

②インターネットなどの接続設定を行う

Webブラウザの設定画面から、本商品に接続先を設定してください。

【ご利用上の注意事項】

・本商品は初期設定時には「PPPoEブリッジ」が「使用する」設定となっておりますので、本機能の設定変更は行わないでください。
・セッション数の上限は、お客様のご契約状況により異なります。

11-6 電話機からの設定一覧

電話機から設定する場合の機能番号一覧を紹介します。
本機能をご利用いただくためには、ひかり電話サービス契約が必要です。

【ひかり電話の設定】
電話機からひかり電話の設定ができます。

●ひかり電話共通設定

機能番号	設定項目 ⊛ 機能番号 ⊛	設定値・設定内容	操作終了
00	音声優先モード		
	⊛⊛⊛⑨⓪ ⊛ ⓪⓪ ⊛	①：使用しない ②：優先 ③：最優先	⊞⊞
01	優先着信ポート		
	⊛⊛⊛⑨⓪ ⊛ ⓪① ⊛	①：電話機 1 ポート ②：電話機 2 ポート ③：無効	⊞⊞
02	アナログポート無効化		
	⊛⊛⊛⑨⓪ ⊛ ⓪② ⊛	①：無効 ②：有効	⊞⊞
03	コールバック機能		
	⊛⊛⊛⑨⓪ ⊛ ⓪③ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞
04	コールバック着信許可番号		
	⊛⊛⊛⑨⓪ ⊛ ⓪④ ⊛	（許可する電話番号）	⊞⊞

●内線設定（アナログ端末）

機能番号	設定項目 ポート番号 ⊛ 機能番号 ⊛	設定値・設定内容	操作終了
91	ナンバー・ディスプレイ		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨① ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞
92	モデムダイヤルイン		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨② ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞
93	割込音通知		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨③ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞
94	着信番号		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨④ ⊛	（着信番号）	⊞⊞
95	指定着信機能		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨⑤ ⊛	（着信番号）⊛（指定着信番号）	⊞⊞
96	キャッチホン・ディスプレイ		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨⑥ ⊛	①：使用する ②：使用しない	⊞⊞

機能番号	設定項目　ポート番号 ⊛ 機能番号 ⊛	設定値・設定内容	操作終了
97	ダイヤル桁間タイマ		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨⑦ ⊛	④：４秒	#⃝#⃝
		⑤：５秒	
		⑥：６秒	
		⑦：７秒	
		⑧：８秒	
98	エコーキャンセラ		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⑨⑧ ⊛	①：使用する	#⃝#⃝
		②：使用しない	
00	通知番号		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⓪⓪ ⊛	（通知番号）	#⃝#⃝
01	内線番号		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⓪① ⊛	（内線番号）	#⃝#⃝
02	着信音選択		
	⊛⊛⊛⑨⑨ ①または② ⊛ ⓪② ⊛	（着信番号）⊛ ① IR	#⃝#⃝
		（着信番号）⊛ ② SIR	

【無線 LAN の設定】
電話機から無線 LAN の設定を変更することができます。

<本商品に内蔵の無線機能をご利用の場合>

機能番号	設定項目　⊛	設定値・設定内容	操作終了
―	無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定		
	⊛⊛⊛⓪① ⊛	①：SSID-1 の設定	#⃝#⃝
		②：SSID-2 の設定	
		③：SSID-3 の設定	
		④：SSID-4 の設定	
―	IEEE802.11b+g/11g 設定の無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）		
	⊛⊛⊛⓪② ⊛	①①：する	#⃝#⃝
		①②：しない	
―	IEEE802.11a 設定の無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）		
	⊛⊛⊛⓪② ⊛	②①：する	#⃝#⃝
		②②：しない	
―	IEEE802.11b+g/11g 設定の無線 LAN 動作モード		
	⊛⊛⊛⓪② ⊛	③①：IEEE802.11g/IEEE802.11b 互換にする	#⃝#⃝
		③②：IEEE802.11g 固定にする	
―	IEEE802.11a 設定の使用チャネル範囲		
	⊛⊛⊛⓪② ⊛	④①：W52 にする	#⃝#⃝
		④②：W52/W53 にする	
		④③：W52/W53/W56 にする	

<無線LANカード（SC-40NE）をご利用の場合>

機能番号	設定項目	⊛	設定値・設定内容	操作終了
―	無線ネットワーク名（SSID）と暗号化設定			
	⊛⊛⊛⓪①	⊛	①：SSID-1の設定	＃＃
			②：SSID-2の設定	
―	無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY接続拒否）			
	⊛⊛⊛⓪②	⊛	①：する	＃＃
			②：しない	
―	無線LAN動作モード			
	⊛⊛⊛⓪②	⊛	③：IEEE802.11b/g/n互換にする	＃＃
			④：IEEE802.11b/g互換にする	

●らくらく無線スタート、無線LAN簡単接続機能を起動する

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
―	おまかせモード（らくらく無線スタート＆無線LAN簡単接続機能）の起動		
	⊛⊛⊛⓪⓪	―	―

【バージョンアップの設定】
バージョンアップお知らせ機能を利用してバージョンアップすることができます。

●ファームウェア更新種別を設定する

機能番号	設定項目	更新種別	⊛	設定値・設定内容	操作終了
―	自動更新				
	⊛⊛⊛⑧⑧	②：一定量データ通信監視有効	⊛	⓪⓪～②③の2桁（24時間を2桁で入力します。）	＃＃
		③：一定量データ通信監視無効	⊛		
―	手動更新				
	⊛⊛⊛⑧⑧	⑨	⊛	①：再起動更新「有効」	＃＃
				②：再起動更新「無効」	

●バージョンアップ方法（「手動更新」の場合）

機能番号	設定項目	設定値・設定内容	操作終了
―	バージョンアップ		
	⊛⊛⊛①①	―	―

11-7 用語集

本書に出てくる通信・ネットワークに関する用語を中心に解説します。さらに詳しくは、「機能詳細ガイド」をご覧ください。

【アルファベット順】

用語	説明
AES	Advanced Encryption Standardの略。 WPA-PSKで使用する暗号化方式の1つ。AESはTKIPやWEPと比べて、より解読されにくいものになっている。
ANY接続拒否	無線LAN端末からのANY接続（どの無線LANアクセスポイントにも接続できる特殊なSSID）を拒否する機能。
CHAP	Challenge Handshake Authentication Protocolの略。 PPPで接続の際にユーザを認証するために利用する認証用プロトコル。PAPと異なり毎回パスワードを元に生成したビット列をネットワーク上でやりとりするため、安全性が高いという特徴がある。 RFC1994で仕様が公開されている。
DFS	Dynamic Frequency Selectionの略。 無線LANの通信が気象レーダーなどに影響を与えないよう、無線LANアクセスポイント側が使用周波数帯を変更する機能。5GHz帯の無線LANが使用する周波数帯域の一部（IEEE802.11a W53/56）は、既存の各種レーダーが使用する周波数帯域と重複している。この帯域に対応する無線LANアクセスポイントは、レーダーなどの干渉波を常にモニタし、検出次第無線LAN通信を別のチャネルに切り替える。
DHCP	Dynamic Host Configuration Protocolの略。 TCP/IPプロトコルを使用する各機器は、固有のIPアドレスを持つ必要がある。DHCPは、IPアドレスを各端末に自動的に割り振るためのプロトコル。DHCPサーバからIPアドレスを取得する場合、IPアドレスに加えて、デフォルトゲートウェイやドメイン名など、IPアドレス以外の情報も取得可能であり、ネットワークの設定、管理が簡単になる。
DHCPクライアント	DHCPサーバによりIPアドレスを割り当てられるシステム。
DHCPサーバ	DHCPを用いてIPアドレスなどの設定を配布・管理するシステム。
DMZ	DeMilitarized Zoneの略。 不正アクセスを防ぐファイアウォールの内側にあり、外部（WAN側）とも内部（LAN側）とも切り離された区域のこと。
DNS	Domain Name Systemの略。 IPアドレスではなく、ドメイン名による伝送経路選択をする機能。
DNSサーバ	ホスト名とIPアドレスとの対応表を持っており、ホスト名の問い合わせにIPアドレスを通知するサーバ。

IEEE802.11a	無線LANの規格の1つ。 5.2GHz、5.3GHz、5.6GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で54Mbps。
IEEE802.11b	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で11Mbps。
IEEE802.11g	無線LANの規格の1つ。 2.4GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で54Mbps。
IEEE802.11n	無線LANの規格の1つ。 2.4GHz、5GHzの周波数帯を利用し、伝送速度は最大で300Mbps。(アンテナ2本利用時) 本商品では2.4GHzのみ利用可能。
IP	Internet Protocolの略。 異なるネットワークの間でパケットの転送を行うための取り決めを表す。IPアドレスにより相手先を判断する。
IPアドレス	インターネット接続などのTCP/IPを使ったネットワーク上で、コンピュータなどを識別するための番号。32bitの値をもち、8bitずつ10進法で表した数値を、ピリオドで区切って表現する。(例: 192.168.1.10)
IPマスカレード	NAT(IPアドレス変換)機能の1つで、ポート番号を動的に割り当てることにより、1つのWAN側IPアドレスに対して複数のLAN側の端末を接続することが可能となる機能。
LAN	Local Area Networkの略。 1つの建物内などに接続された、複数のパソコンやプリンタなどで構成される小規模なコンピュータネットワーク。
MACアドレス	ネットワーク上で機器の区別をするためにハードウェア(LANカードなど)につけられた固有のアドレス。利用者がこのアドレスの値を決めることはできない。
MACアドレスフィルタリング	無線LAN通信において通信が可能な端末をMACアドレスで指定し、通信を受けたくない無線LAN端末などからの通信を防ぐ機能。
ONU	光ファイバ通信で、パソコンなどの端末機器をネットワークに接続するために使用する終端装置。光ファイバを流れてきた信号を対応機器で使用できる信号に変換する機能を持つ。
PAP	Password Authentication Protocolの略。 PPPリンクの接続を確立するときに認証するプロトコル。RFC1334で仕様が公開されている。
PING	「ピング」と呼ぶ。 端末間の接続が正常に行えるかどうかを試験するプログラム。

PPP	Point to Point Protocol の略。 遠隔地にある 2 台のコンピュータを接続するためのプロトコル。アナログ回線や INS ネット 64 回線を使ってインターネット接続するために使われる。
PPPoE	Point to Point Protocol over Ethernet の略。 ADSL などの常時接続型サービスで使用されるユーザ認証技術。Ethernet 上でダイヤルアップ接続（PPP 接続）と同じように利用者の接続先ユーザ名や接続パスワードのチェックを行う。
SIP	Session Initiation Protocol の略。 ひかり電話などに用いられる通話制御プロトコルの 1 つ。RFC3261 で仕様が公開されている。
TCP	Transmission Control Protocol の略。 データの転送を制御するプロトコル。送信先に接続してデータ送信する。受信側は受け取ったパケットの到達確認を行い、エラーを訂正する機能を持つので、信頼性の高い通信を実現できる。
TCP/IP	Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。 インターネットや LAN で一般的に使われているプロトコル。
TKIP	Temporal Key Integrity Protocol の略。 WPA-PSK/WPA2-PSK で使用する暗号化方式の 1 つ。TKIP は、WEP でも使用されている RC4 という暗号化アルゴリズムを採用している。
UPnP	Universal Plug and Play の略。 パソコンや周辺機器、AV 機器、電話、家電製品などの機器をネットワークを通じて接続し、相互に機能を提供しあうための技術仕様のこと。
USB	Universal Serial Bus の略。 キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ伝送路の規格の 1 つ。
VDSL	Very high-bit-rate Digital Subscriber Line または Very high-speed Digital Subscriber Line の略。 上り方向と下り方向の通信速度が非対称な高速データ通信で、利用者側は、すでに一般家庭に普及している電話回線を用意するだけでよいが、経路の一部に光ファイバを利用する。
VDSL モデム	コンピュータを VDSL 回線に接続する際に必要になる信号変換機。加入電話回線を通じて送られてくる VDSL 信号を Ethernet の信号に変換したり、その逆を行い、VDSL モデムとコンピュータの間は EthernetLAN で接続する。

VoIP	Voice over Internet Protocolの略。 インターネットやイントラネットのようなIPネットワーク上で音声通話を実現する技術のことを指す。 社内LANを使った内線電話やインターネット電話などに応用される。
VPN	Virtual Private Network の略。 インターネットを経由するにもかかわらず、拠点間を相互接続し、安全な通信を可能にするセキュリティ技術によって構築された、仮想プライベートネットワークのこと。
WAN	Wide Area Networkの略。 地理的に離れた地点にあるパソコン同士を電話回線や専用回線で接続し、データをやりとりするネットワーク。
Webブラウザ	ホームページを見るためのアプリケーション。 Internet Explorer® がよく使われている。
WEP	Wired Equivalent Privacy の略。 ユーザが指定した任意の文字列（WEPキー）を本商品と無線LAN端末に登録することによって、WEPキーが一致した場合のみ通信できるようになる。
WEPキー	WEPで用いられる秘密の鍵。送信者と受信者は同じ鍵を登録したうえで通信を行う。
WPA	Wi-Fi Protected Access の略。 通信暗号化方法「WEP」を置き換える、より強固な暗号化方法。
WPA2	Wi-Fi Protected Access2 の略。 WPAの新バージョンで、AES暗号化に対応したWPAより強固な暗号化方法。
WPA-PSK/WPA2-PSK	Wi-Fi Protected Access Pre-Shared Key/Wi-Fi Protected Access2 Pre-Shared Keyの略。 WPA/WPA2セキュリティ設定の認証方式の1つ。Pre-Shared Keyを使うと、認証サーバを用意しなくてもWPA/WPA2セキュリティ設定を使用できる。 WPA-PSK/WPA2-PSKには、AESやTKIPなどの暗号化がある。
10BASE-T	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、10Mbpsの伝送速度をもつ。
100BASE-TX	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、100Mbpsの伝送速度をもつ。
1000BASE-T	Ethernetの通信方式の1つで、ツイストペアケーブルを使い、1Gbps（1000Mbps）の伝送速度をもつ。

【あいうえお順】

【あ行】

用語	説明
イーサネット（Ethernet）	LANの通信方式。10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-Tなどの規格がある。
インフラストラクチャ通信	無線LAN端末から無線LANアクセスポイントを経由して行う無線LANの通信。
エコーキャンセラ	自分側の音声が、通信相手側の回線を介して反響するのを取り除くこと。

【か行】

用語	説明
回線終端装置	デジタル回線に端末装置を接続するための終端装置。フレッツ 光ネクスト／BフレッツではONU（Optical Network Unit）などを指す。
クライアント	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にサーバからの資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を受けるコンピュータ。
グローバルアドレス	インターネット上の通信相手を特定するために使用されるIPアドレスの1つ。 このアドレスは、インターネット上で重複することは許されていない。これとは別にプライベートでの使用に限って利用できるプライベートアドレスというものもある。
ゲートウェイ	プロトコルの異なるLAN同士やLANとWANとを接続する装置。

【さ行】

用語	説明
サーバ	LANなどを構成するコンピュータの中で、主にクライアントに資源やサービス（ファイル／データベース／メール／プリンタなど）を提供するコンピュータ。インターネット上ではWebサーバがホームページ情報を提供する。
サービス情報サイト	フレッツサービスをご利用のお客様専用のサイト。
サブネット	大きなネットワークを複数の小さなネットワークに分割して管理する際の管理単位となる小さなネットワーク。IPアドレスは、所属するサブネットのアドレス（ネットワークアドレス）と、サブネット内での端末のアドレス（ホストアドレス）から構成されており、ネットワークアドレスが上位何ビットかをサブネットマスク（ネットマスク）で指定する。
自動設定	本商品は電源投入時にひかり電話網に設置されている自動設定サーバから本商品の初期設定情報を取得し、初期設定することができる。
自動設定サーバ	本商品の初期設定情報を管理するひかり電話網に設置されたサーバ。

静的 IP マスカレード	IP マスカレード使用時に、設定したポート番号の変換を行わないようにする機能で、LAN 側の端末を特定する。ネットワークゲームを行うときなどに使用する。
セッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに接続している状態。例えば、ログインのことを「セッションの開始」といい、ログアウトのことを「セッションの終了」ともいい、接続してから切断するまでの状態をいう。

【た行】

チャネル	無線通信では、使用する周波数帯域を分割して、それぞれの帯域で異なる通信を行うことができる。チャネルとは、その分割された個々の周波数帯域のこと。複数の無線 LAN を狭いエリアで同時使用する場合は、それぞれに異なる周波数を割り当てないと、無線干渉が発生して、通信速度が遅くなる場合がある。その場合、なるべく各チャネル同士の帯域が重ならないような使用を推奨する。
ドメイン	「領地」を意味し、ネットワーク関連では各ネットワークにおけるひとまとまりの管理単位。

【は行】

パスワード	コンピュータ・システムの安全性や信頼性を維持するために利用される、数字や文字列による符号。 パスワードを設定する際は、名詞や単純な数字、文字は避け、文字、数字、記号を組み合わせて設定することや、定期的にパスワードを変更することが望ましい。
ひかり電話	NTT 東日本／NTT 西日本提供の IP 電話サービス。
ファームウェア	本商品を動作させるためのソフトウェア。
ファイアウォール	外部からの不正なアクセスを防ぐためのシステム。 LAN とインターネットの間で不正なアクセスの検出や遮断を実現している。
プロキシサーバ	各装置から SIP プロトコルメッセージを受け取り、相手先に代理送信することにより装置間の通話を確立させるサーバ。
プロトコル	通信規約。システム（コンピュータやネットワーク）同士が正しく通信できるようにするための約束ごと。
プロバイダ	インターネットの接続サービスを提供している事業者。

ポートセパレート	暗号化方式をWEPまたは暗号化なしで設定している無線LAN端末から、本商品の「Web設定」へのアクセス並びに本商品のLAN側に接続されている端末へのアクセスを制限する機能。
ポート番号	TCP/IPにおいて、ユーザやアプリケーションなどを識別するために利用する番号。

【ま行】

マルチセッション	ネットワークまたはリモートコンピュータに複数接続している状態。
無線LANアクセスポイント	有線LANとインフラストラクチャ通信に設定した無線LAN端末との通信の中継や、無線LAN端末同士の通信の管理を行う。
無線ネットワーク名(SSID)	SSIDはService Set Identifierの略。 無線通信する端末を論理的にグループ分けするための識別子。単一の無線ネットワークに属する端末には、すべて同じ無線ネットワーク名(SSID)を設定して使用する。

【ら行】

らくらく無線スタート	無線LANアクセスポイントとゲーム機との無線LAN設定を電話機やパソコン、らくらくスタートボタンから簡単に行うことができる機能。
ルータ	複数のネットワークを相互に接続し、データの転送先や経路を選択する装置。
ルーティング	パケットを宛先に届けるための経路を選択する機能。

11-8 索引

(CD-ROM) の付いている用語は「機能詳細ガイド」に記載されています。

11
付録

11-9 仕様一覧

■ RT-A300NE

■ ハードウェア仕様		
項　目		仕　様
WAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	1ポート
	規格	1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T (IEEE802.3ab／IEEE802.3u／IEEE802.3) オートネゴシエーション
LAN ポート	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック（RJ-45）
	ポート数	4ポート（スイッチングハブ内蔵）
	規格	1000BASE-T／100BASE-TX／10BASE-T (IEEE802.3ab／IEEE802.3u／IEEE802.3) オートネゴシエーション
無線LAN ポート※1	インタフェース	PC Card Standard（CardBus）Type II 準拠
	スロット数	1スロット
電話機 ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック（RJ-11）
	ポート数	2ポート
	供給電圧	約－48V（無負荷時）
ランプ表示※2	電源ランプ	電源通電時：緑点灯
	アラームランプ	装置障害時：赤点灯、「無線LAN簡単セットアップ」設定失敗時：最大10秒赤点滅、USB機器異常時：最大10秒赤点滅 データ自動コピー失敗時：10秒間赤点滅
	PPPランプ	1セッション接続中：緑点灯、2セッション以上接続中：橙点灯
	ひかり電話ランプ	ひかり電話利用可能時：緑点灯 ひかり電話通話中／着信中／呼び出し中：緑点滅
	ACTランプ	WAN回線利用可能時：緑点灯 WAN回線でデータ通信中：緑点滅
	登録ランプ	ひかり電話設定完了時：緑点灯 ひかり電話設定中：緑点滅 ひかり電話設定失敗時：赤点灯／赤点滅 「無線LAN簡単セットアップ」設定中：緑点滅／橙点滅 「無線LAN簡単セットアップ」設定完了時：最大10秒橙点灯
	初期状態ランプ	工場出荷状態：橙点灯、IPアドレス重複時：橙点滅
	オプションランプ	緊急地震速報利用可能時：橙点灯※3 緊急地震速報受信中：橙点滅（速い）※3 緊急地震速報が利用不可時：橙点滅（遅い）※3 USBポート機器接続時：青色（3回点滅→2秒点灯） データ自動コピー実行中：青点滅（速い）
USBポート	物理インタフェース	タイプAコネクタ
	規格	USB 2.0
	ポート数	1ポート

■ ハードウェア仕様

項　目		仕　様
赤外線ポート	規格	高速赤外線通信機能（IrSimple™機能）搭載
	ポート数	1ポート
スピーカ	型式	モノラルスピーカ
操作部	初期化	設定初期化用スイッチ
	らくらくスタート	無線LAN簡単セットアップ用など
筐体外観		縦置き壁掛け両用型
動作環境		温度：0～40℃　湿度：20～85%（結露しないこと）
外形寸法		約40（W）×175（D）×190（H）mm（突起部分を除く）
電源		AC100±10V　50/60Hz
消費電力		最大20W以下（電源アダプタ含む）
質量		約0.7kg（電源アダプタ含まず）
電磁妨害波規格		VCCIクラスB

※1　本商品専用の無線LANカード（SC-40NE）のみご利用いただける拡張カードスロットです。詳しくは「5-2　本商品への無線LANカードの取り付け」をご覧ください。
※2　節電機能動作時には、ランプ表示が異なります。1-7、3-2ページを参照してください。
※3　NTTコミュニケーションズが提供する「緊急地震速報 フレッツタイプ」の契約が必要です。

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様
ルータ機能	WANプロトコル	PPPoE（PPP over Ethernet）
	PPP認証	自動認証（CHAP/PAP）／CHAP固定／PAP固定
	PPP接続／切断	常時接続（自動接続）／要求時接続（無通信時切断）
	接続先数	登録：5箇所、同時接続：5箇所
	ルーティング方式	スタティックルーティング（最大40経路）
	DHCPサーバ機能	あり（最大255アドレス割当）
	Proxy DNS機能	あり（LAN側DNSサーバ指定可）
	NAT機能	IPマスカレード：最大4096セッション、静的NAT：最大64アドレス
	静的IPマスカレード機能	あり（ポート番号の範囲指定可）
	ユニバーサルプラグアンドプレイ（UPnP）機能	あり
	DMZホスト機能	あり（LAN側IPアドレス指定による）
	複数固定IPサービス対応機能	あり
	パケットフィルタ機能	フィルタ種別、送信元IPアドレス、宛先IPアドレス、プロトコル種別、送信元ポート、宛先ポート、方向指定可能
	セキュリティ保護機能	不正アクセス拒否機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）、不正アクセス検出機能（LAND攻撃、smurf攻撃、IP Spoofing攻撃）

■ ソフトウェア仕様

<table>
<tr><th colspan="2">項　目</th><th colspan="2">仕　様</th></tr>
<tr><td>ブリッジ機能</td><td>ブリッジ対象</td><td colspan="2">PPPoE パケット、IPv6 パケット（B フレッツをご利用の場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">VoIP 機能</td><td>接続手順</td><td colspan="2">SIP</td></tr>
<tr><td>音声 CODEC</td><td colspan="2">ITU-T G.711 μ-law</td></tr>
<tr><td>エコーキャンセラ</td><td colspan="2">ITU-T G.168</td></tr>
<tr><td rowspan="6">設定・保守機能</td><td>設定方法</td><td colspan="2">Web ブラウザ、電話機による設定・保守</td></tr>
<tr><td>状態表示機能</td><td colspan="2">回線状態、WAN 側 IP アドレス、バージョン情報他</td></tr>
<tr><td>時計機能</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td>ログ機能</td><td colspan="2">あり</td></tr>
<tr><td>設定値の保存・復元機能</td><td colspan="2">ファイルに保存、ファイルからの復元</td></tr>
<tr><td>ソフトウェアバージョンアップ機能</td><td colspan="2">Web ブラウザを使用、電話機を使用</td></tr>
<tr><td rowspan="13">無線 LAN 機能
（本商品に内蔵の無線機能を使用した場合）</td><td rowspan="5">IEEE802.11a</td><td rowspan="3">周波数帯域／チャネル</td><td>[W52]
5.2GHz 帯（5,150 ～ 5,250MHz）／
36/40/44/48ch ※屋内限定</td></tr>
<tr><td>[W53]
5.3GHz 帯（5,250 ～ 5,350MHz）／
52/56/60/64ch ※屋内限定</td></tr>
<tr><td>[W56]
5.6GHz 帯（5,470 ～ 5,725MHz）／
100/104/108/112/116/120/
124/128/132/136/140ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度 ※ 1</td><td>54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動切換）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11b</td><td>周波数帯域／チャネル</td><td>2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／
1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度 ※ 1</td><td>11/5.5/2/1Mbps
（自動切換）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">IEEE802.11g</td><td>周波数帯域／チャネル</td><td>2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／
1 ～ 13ch</td></tr>
<tr><td>伝送方式</td><td>OFDM（直交周波数分割多重）方式</td></tr>
<tr><td>伝送速度 ※ 1</td><td>54/48/36/24/18/12/9/6Mbps
（自動切換）</td></tr>
<tr><td>アンテナ</td><td colspan="2">ダイバーシティアンテナ（内蔵）</td></tr>
<tr><td>セキュリティ</td><td colspan="2">無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、
MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、
WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）、
WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）</td></tr>
</table>

■ ソフトウェア仕様

項　目		仕　様	
無線 LAN 機能（拡張カードスロットに無線 LAN カード（SC-40NE）を取り付けた場合）	IEEE802.11b	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	DS-SS（スペクトラム直接拡散）方式
		伝送速度 ※ 1	11/5.5/2/1Mbps （自動切換）
	IEEE802.11g	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式
		伝送速度 ※ 1	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps （自動切換）
	IEEE802.11n	周波数帯域／チャネル	2.4GHz 帯（2,400 ～ 2,484MHz）／1 ～ 13ch
		伝送方式	OFDM（直交周波数分割多重）方式 MIMO（空間多重）方式
		伝送速度 ※ 1	[HT20] 144.4/130/117/104/78/72.2/65/58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps [HT40] 300/270/243/216/162/150/135/121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps （自動切換）
	アンテナ	MIMO 送信 2 ×受信 2	
	セキュリティ	無線ネットワーク名（SSID）の隠蔽（ANY 接続拒否）、MAC アドレスフィルタリング、ポートセパレート、 WEP（128/64bit）、WPA-PSK（TKIP/AES）、 WPA2-PSK（TKIP/AES）、WPA-PSK/WPA2-PSK（TKIP/AES）	

※ 1　無線 LAN の規格値は、本商品と同等の構成を持った機器との通信を行ったときの理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度（実効値）を示すものではありません。

この取扱説明書は、森林資源保護のため、再生紙を使用しています。

当社ホームページでは、各種商品の最新の情報やバージョンアップサービスなどを提供しています。本商品を最適にご利用いただくために、定期的にご覧いただくことをお勧めします。

当社ホームページ：http://web116.jp/ced/

本商品について、不明な点などがございましたら、以下にお問い合わせください。

○本商品を利用した基本的なインターネット接続について

フレッツ光を新規にお申し込みいただいた際にお送りしております「設定用CD-ROM」のご利用により本商品の基本的なインターネット接続設定が簡単に実施が可能です。

ご利用には「設定用CD-ROM」が添付された冊子「超カンタン設定ガイド」をご覧いただくか、下記までお問い合わせください。

お問い合わせ先：**0120-275466**（10:00～18:00　年中無休）

※携帯電話からは下記までお問い合わせください。

0570-064074

（10:00～18:00　年中無休　PHS・050IP電話からはご利用いただけません。また通話料がかかります。）

●本商品のお取り扱いに関するお問い合わせ

お問い合わせ先：FREE フリーアクセス **0120-970413**（9:00～17:00）

携帯電話・PHS・050IP電話からご利用の場合

03-5667-7100（通話料金がかかります）

※年末年始12月29日～1月3日は休業とさせていただきます。

●故障に関するお問い合わせ

お問い合わせ先：**0120-000113**（24時間　年中無休※）

※17:00～翌日9:00までは、録音にて受付しており順次ご対応いたします。

※故障修理などの対応時間は9:00～17:00です。

お問い合わせ時には、フレッツ光を新規にお申込みいただいた際にお送りしております「開通のご案内」をご用意ください。
また、インターネット接続の設定をしている場合は、ご契約のプロバイダ資料についてもご用意ください。
なお、電話番号をお間違えにならないように、ご注意願います。

本2992-13（2012.11）
RT-A300NEトリセツ